

## ◆ 葛飾区 ◆

# 中小企業の景況

令和7年度第1・四半期

(令和7年4~6月)

### 目 次

都内中小企業の景況（令和7年4~6月期）	1
葛飾区内中小企業の景況（令和7年4~6月期）	2
葛飾区の業況動向	3
製造業	4
卸売業	8
小売業	12
サービス業	16
建設業	20
不動産業	24
日銀短観	28
東京都・葛飾区の企業倒産動向	29
東京都・葛飾区の新設法人	32
特別調査	
「SDGsに向けた取組等について」	34
中小企業景況調査 転記表	50

葛飾区 産業観光部 産業経済課

調査実施機関 株式会社 東京商工リサーチ

# 都内中小企業の景況（令和7年4～6月期）

**業況**：全体はやや改善。製造業で大幅に改善、小売業でやや改善、卸売業・サービス業で前期並。

**見通し**：全体はやや改善。サービス業・小売業で大幅に改善、卸売業でやや改善、製造業で今期同様に推移する見込み。



業況 DI（季節調整済み「良い」企業割合-「悪い」企業割合）は全体で▲24（前期▲28）と、やや改善した。

今後3か月間の見通しでは、今期比3ポイント増の▲21とやや改善する見通し。

	前期 (R7.3)	今期 (R7.6)	増減	今後3ヶ月間の 見通し
製造業	▲36	▲23	13	▲24
卸売業	▲20	▲19	1	▲16
小売業	▲39	▲36	3	▲30
サービス業	▲18	▲19	▲1	▲13
全体	▲28	▲24	4	▲21

都内中小企業の業況 DI を業種別にみると、製造業（▲23）は13ポイント増と大幅に改善、小売業（▲36）は3ポイント増とやや改善、卸売業（▲19）は1ポイント増、サービス業（▲19）は1ポイント減とともに前期並となった。

なお、仕入価格 DI（仕入単価が「上昇」とした企業割合-「低下」とした企業割合）をみると、製造業（19）は5ポイント減、卸売業（15）は3ポイント減とともにやや下降し、小売業（15）は12ポイント減と大幅に下降した。

販売価格 DI（販売単価が「上昇」とした企業割合-「低下」とした企業割合）をみると、製造業（1）は増減なく前期並、卸売業（8）、小売業（9）、サービス業（2）はいずれも3ポイント減とやや下降した。

今後3か月間の業況見通し DI を業種別にみると、小売業（▲30）、サービス業（▲13）はともに6ポイント増と大幅に改善、卸売業（▲16）は3ポイント増とやや改善、製造業（▲24）は1ポイント減と今期同様に推移すると見込まれている。

## 【注】

○D. I ディフュージョン インデックス (Diffusion Indexの略)

D. I（ディーアイ）は、増加（又は「上昇」「楽」など）したと答えた企業割合から、減少（又は「下降」「苦しい」など）したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらかの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

○（季節調整済）D. I

季節調整済とは、各期で季節的な変動を繰り返すD. Iを過去5年間まで遡り、季節的な変動を除去して加工したD. I値です。修正値ともいいます。

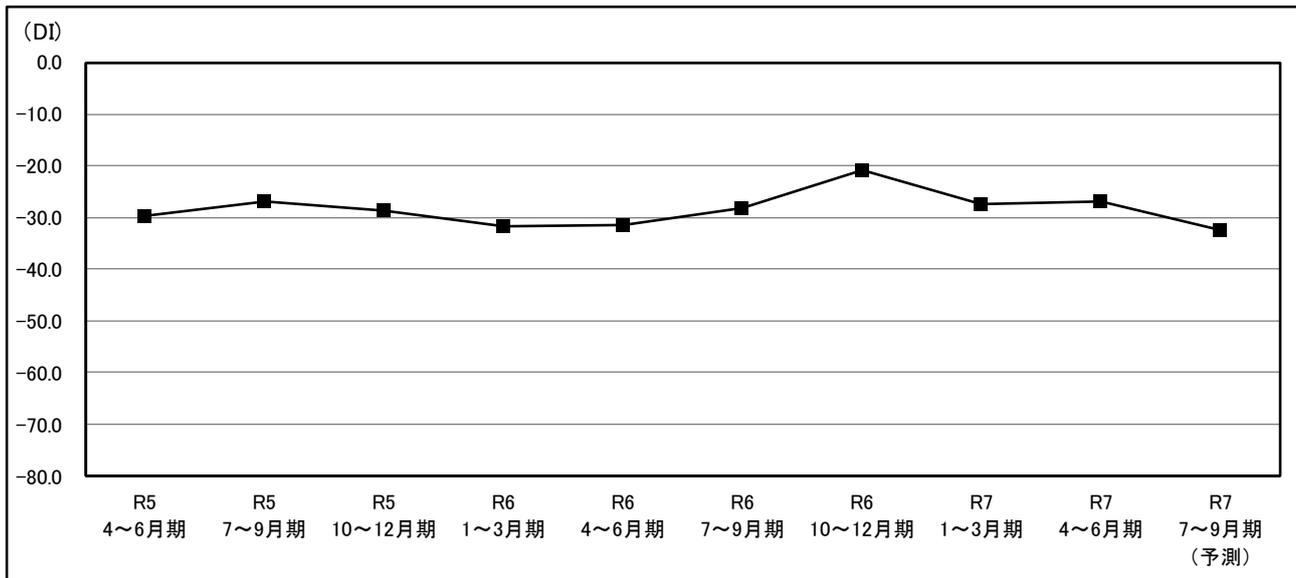
○傾向値

傾向値は、季節変動の大きな業種（例えば小売業）ほど有効で、過去の推移を一層なめらかにして景気の方角をみる方法です。

# 葛飾区内中小企業の景況（令和7年4～6月期）

業況：全体では前期並。小売業・サービス業は大きく改善、不動産業は前期並、製造業・卸売業はやや悪化、建設業は大きく悪化。

見通し：全体では大きく悪化。卸売業はやや改善、サービス業はやや悪化、小売業・建設業・不動産業・製造業は大きく悪化する見込み。



葛飾区内中小企業の業況 DI

	前期 (R6.1~3)	今期 (R7.4~6)	増減	今後3ヶ月間 の見通し
製造業	▲32	▲35	▲3	▲45
卸売業	▲35	▲40	▲5	▲37
小売業	▲51	▲38	13	▲44
サービス業	▲30	▲23	7	▲25
建設業	▲11	▲18	▲7	▲26
不動産業	▲10	▲9	1	▲19
全体	▲28	▲27	1	▲33

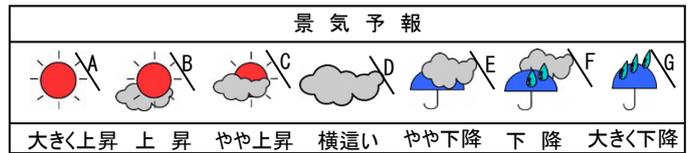
※小数点第1位を四捨五入した数値

## 《最近の景況動向》

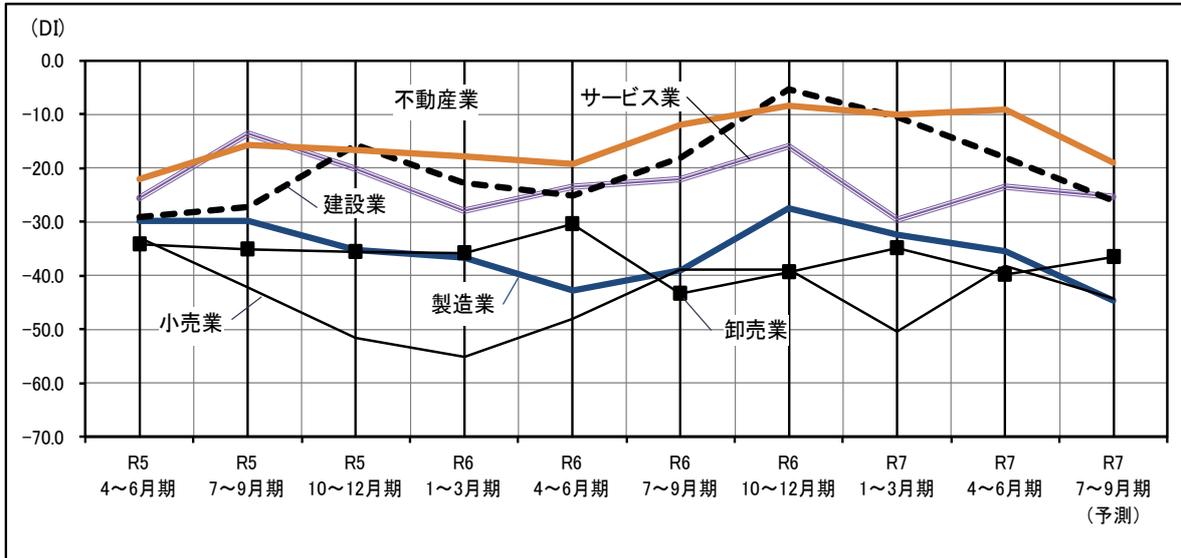
今期の葛飾区内中小企業全体の業況は▲27であった。来期（今後3か月間の見通し）においては、大きく低調感が強まる見通しとなっている。

業種別にみると、今期は、小売業・サービス業は大きく改善、不動産業は前期並、製造業・卸売業はやや悪化、建設業は大きく悪化となった。来期は、卸売業はやや改善、サービス業はやや悪化、製造業・小売業・建設業・不動産業は大きく悪化する見込みとなっている。

# 葛飾区の業況動向



## 各業種別業況の動き（実績）と来期の予測

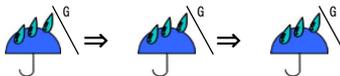


### 全体



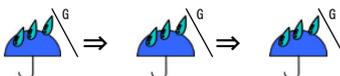
業況は前期並となった。来期の業況は大きく低調感が強まる見込み。

### 製造業



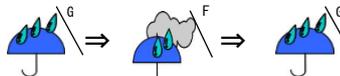
業況はやや低調感が強まった。来期の業況は大きく低調感が強まる見込み。

### 卸売業



業況はやや低調感が強まった。来期の業況はやや厳しさが和らぐ見込み。

### 小売業



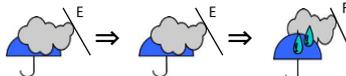
業況は大きく厳しさが和らいだ。来期の業況は大きく低調感が強まる見込み。

### サービス業



業況は大きく厳しさが和らいだ。来期の業況はやや低調感が強まる見込み。

### 建設業



業況は大きく低調感が強まった。来期の業況は大きく低調感が強まる見込み。

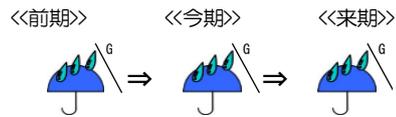
### 不動産業



業況は前期並となった。来期の業況は大きく低調感が強まる見込み。

## 『業種別』業況動向

### 製造業



( ) は、前期→今期

#### 売上・収益の動向と業況判断

業況(△32→△35)はやや低調感が強まった。売上額(△27→△28)は前期並となり、収益(△29→△36)は大きく減少幅が拡大した。なお、東京都と比較した当区の業況は12ポイント下回っている。

#### 価格・在庫動向

販売価格(4→△1)は上昇から下降に転じ、原材料価格(51→48)はやや上昇傾向が弱まった。在庫(3→8)はやや過剰感が強まった。

#### 資金繰り・借入金動向

資金繰り(△22→△25)はやや窮屈感が強まり、借入難易度(6→0)は大きく容易さが縮小した。今期借入をした企業は28%で前期の29%から1ポイント減少した。

#### 経営上の問題点・重点経営施策

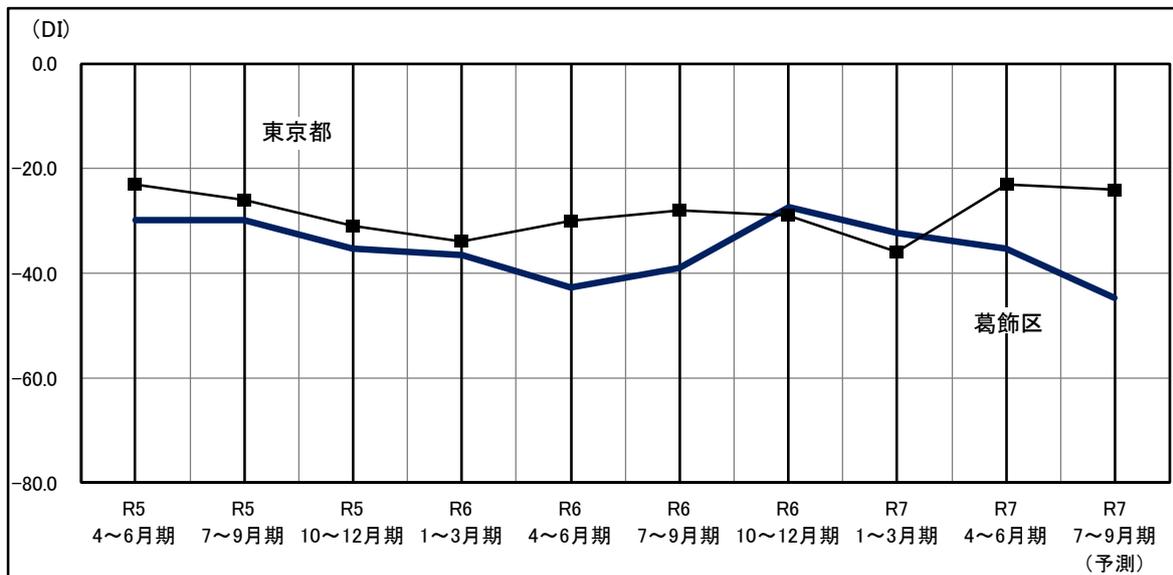
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」が48%、2位は「原材料価格・材料価格の上昇」が44%、3位は「人件費の増加」が28%となり、上位3位は前期同様となった。

重点経営施策は、1位は「経費を節減する」が37%、2位は「販路を広げる」が31%、3位は「人材を確保する」が24%となり、上位3位まで前期同様となった。

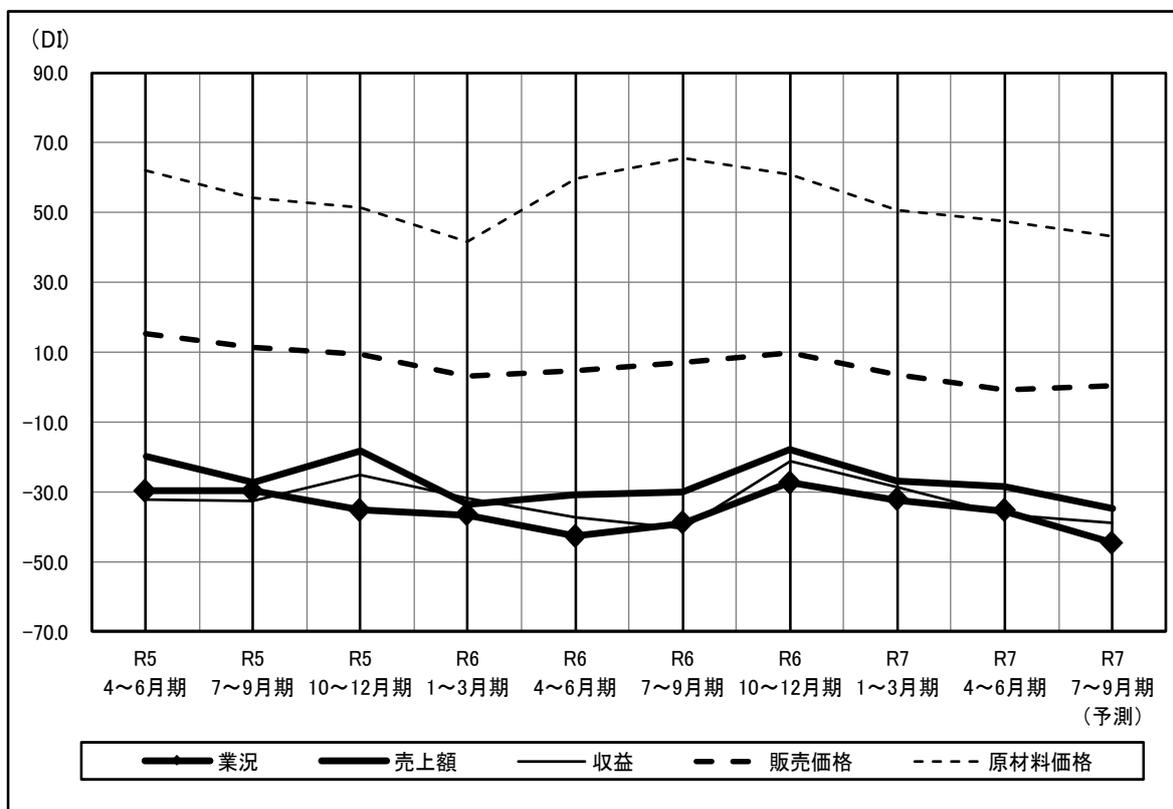
#### 来期の見通し

業況(△35→△45)は大きく低調感が強まる見込み。売上額(△28→△35)は大きく減少幅が拡大し、収益(△36→△39)はやや減少幅が拡大すると予想されている。

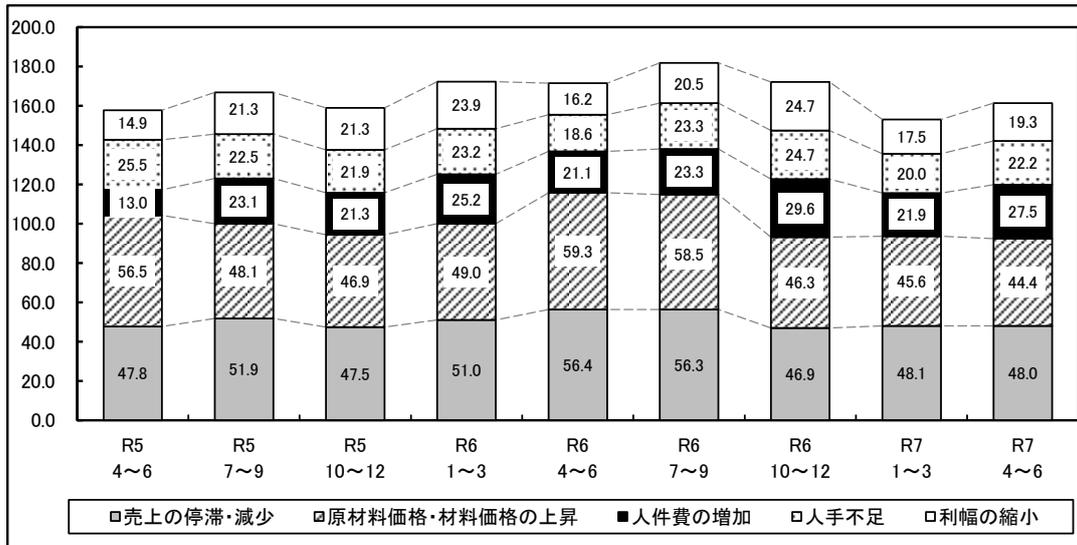
## 〈製造業〉 葛飾区と東京都の業況の動き（実績）と来期の予測



## 〈製造業〉 業況と売上額、収益、販売価格、原材料価格の動き（実績）と来期の予測



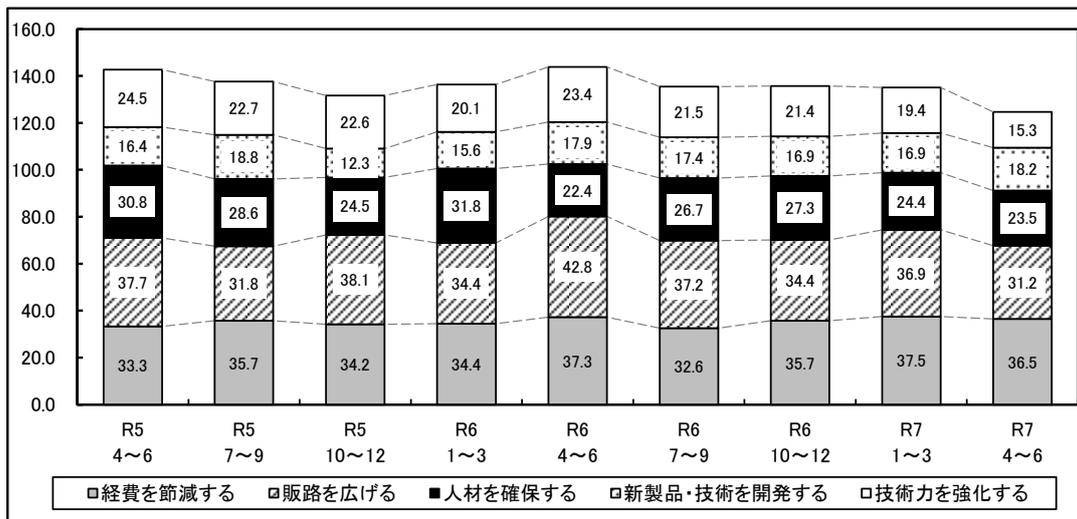
## 〈製造業〉 経営上の問題点 (%)



	R6.7~9月期	R6.10~12月期	R7.1~3月期	R7.4~6月期
第1位	原材料価格・材料価格の上昇 58.5 %	売上停滞・減少 46.9 %	売上停滞・減少 48.1 %	売上停滞・減少 48.0 %
第2位	売上停滞・減少 56.3 %	原材料価格・材料価格の上昇 46.3 %	原材料価格・材料価格の上昇 45.6 %	原材料価格・材料価格の上昇 44.4 %
第3位	人手不足 人件費の増加 23.3 %	人件費の増加 29.6 %	人件費の増加 21.9 %	人件費の増加 27.5 %
第4位	利幅の縮小 20.5 %	人手不足 利幅の縮小 24.7 %	人手不足 取引先の減少 20.0 %	人手不足 22.2 %
第5位	取引先の減少 10.8 %	取引先の減少 17.9 %	利幅の縮小 17.5 %	利幅の縮小 19.3 %

※今期1位の項目を従業員別にみると「5人未満」が60.7%で最も多かった。

## 〈製造業〉 重点経営施策 (%)



	R6.7~9月期	R6.10~12月期	R7.1~3月期	R7.4~6月期
第1位	販路を広げる 37.2 %	経費を節減する 35.7 %	経費を節減する 37.5 %	経費を節減する 36.5 %
第2位	経費を節減する 32.6 %	販路を広げる 34.4 %	販路を広げる 36.9 %	販路を広げる 31.2 %
第3位	人材を確保する 26.7 %	人材を確保する 27.3 %	人材を確保する 24.4 %	人材を確保する 23.5 %
第4位	技術力を強化する 21.5 %	技術力を強化する 21.4 %	技術力を強化する 19.4 %	新製品・技術を開発する 18.2 %
第5位	新製品・技術を開発する 17.4 %	新製品・技術を開発する 16.9 %	新製品・技術を開発する 16.9 %	技術力を強化する 15.3 %

※今期1位の項目を従業員別にみると「5人以上10人未満」が41.9%で最も多かった。

# 製造業 業種別コメント

## <仕入れ・価格について>

1. 材料等の仕入価格の高騰が続いているが、なかなか簡単には請求金額を上げられないのが現状
2. 原材料価格、仕入価格、支払手数料の増加。教育訓練を現状の人ができずにいる
3. 売上げはやや増加傾向にあるが材料費が上昇している
4. 9月に価格改定を予定しているが、原料価格、資材、人件費、物流費等の新たな高騰が考えられ、値上げで高騰した原材料、経費等の部分をすべては吸収出来ず減益になる可能性が予想される
5. 前期は仕入れ先の多忙により弊社への納期遅れが多発。その為数字は悪化した。今期はその分数字は向上予定
6. とにかくガソリンが高いし、電気も高いので先が不安ではある
7. 仕入れ先からの値上げ増加が続いているが販売価格の値上げが困難である。利幅に響いている
8. 仕入価格の上昇が続いている
9. ロシア問題、中国による材料の過剰使用により未だ材料価格が上がり続けている
10. 原料メーカーの減少により原料価格が高騰している。人件費の拡大。人手不足。外国人を雇ってもすぐに無断で辞めてしまう

## <受注・業況について>

11. アメリカトランプ大統領の関税による受注のストップ。大変である
12. 金属製造業の高齢化、廃業が増加していることにより、当社への仕事依頼が増えている。その一方で人手不足により、思うように生産拡大が図れない
13. 大企業の進出により売上げは減少傾向である。仕入価格上昇の割に売上単価を上げてもらえない
14. 今年に入り主要取引先の廃業が続き、販路を広げる必要がある
15. 受注減による資金不足
16. 受注減のため利益が減少し資金繰りが厳しい
17. アメリカ（トランプ）関税の影響も有り受注減少
18. 変わらず良い状態が続いている
19. 価格改定後の得意先からの受注減が目立ってきた
20. 当社においては品物生産/製作が1品物であり、企画/設計/製作が主流であることから、あまり入手コストに一喜一憂する事はないが、最近受注クオリティーが高くなり、入手コストが必然的に高騰。仕入れコスト/製作/販売に見合っていないのが昨今の現状である
21. 需要の低迷、米国関税の行方が不透明なため対応が定まらない
22. 電流センサーを製造している。電気自動車の部品として使用されるが、米国関係が主力なので、現状非常に苦しい

23. 昨年、一昨年に比べれば間合わせも増えているが、受注に繋がったり、定期的になったりというのは少ない。発注側も値上がりに対しては理解を示すようにはなったが、どうしようもなくなってから来ることが多いので、決している状態とは言えない
24. 現状ではネット販売の売上げが伸びてきているものの、いつまで続いてくれるか不安である。また、人件費や経費が膨らみ利益を圧迫し始めている。しかし、ネット販売は顧客からのフィードバック情報が少なく大胆な行動をとりにくい（値上げなど）
25. 今期、大手企業とのOEM取引が整ったが、低価格で契約となり、受注数が増えたが継続的に続くか不安。ほぼ手作りなので、労働時間の確保が難しい

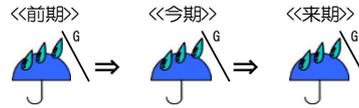
## <人材について>

26. 受注増の中、募集はしているが応募者が来ない為、常に人手不足な感が否めない
27. IT対応の技術者、オペレーターを新規採用して、人手不足の解消、技術力の向上を図りたい
28. 仕事量はあるが人手不足が続いている
29. 社員の高齢化が進む中、若年層の採用、育成ができない
30. 需要は増えている（見積依頼は多い）が人材不足により受注できない
31. 管理職の人材の高齢化と工場事務所の老朽化で、これからの持続可能な会社運営の基盤の再構築をどうするかで岐路に立っている状態
32. 雇用の確保が難しくなってきた。賃金を上げていかないと人材が来ない
33. 特に検品作業の人材確保と人件費増加に頭を悩ませる。今後は検品作業を機械化し、人材不足に戸惑うことのないようにしたいと考えている

## <その他>

34. 2025年になってから葛飾、江戸川、墨田区の同業者や昔からの取引先の倒産や廃業が相次いでいる。倒産した会社から社員の受け入れを頼まれたので製造業経験者を採用することが出来た。減少した客先を補うため販路を拡大したい
35. 大手の賃金上昇について行けない。このままでは人材の確保と利益等の向上を認められない
36. サプライチェーン顕微化による競争参入、トランプ関税の間接的な影響により不透明さが増し、舵取りが難しくなる
37. 借入の返済が大変厳しい状況

# 卸 売 業



( ) は、前期→今期

## 売上・収益の動向と業況判断

業況(△35→△40)はやや低調感が強まった。売上額(△33→△25)、収益(△42→△31)ともに大きく減少幅が縮小した。なお、東京都と比較した当区の業況は21ポイント下回っている。

## 価格・在庫動向

販売価格(22→11)は大きく上昇傾向が弱まり、仕入価格(47→43)はやや上昇傾向が弱まった。在庫(7→4)はやや過剰感が改善した。

## 資金繰り・借入金動向

資金繰り(△26→△19)は大きく窮屈感が緩和し、借入難易度(△7→△2)はやや厳しさが和らいだ。今期借入をした企業は20%で前期の12%から8ポイント増加した。

## 経営上の問題点・重点経営施策

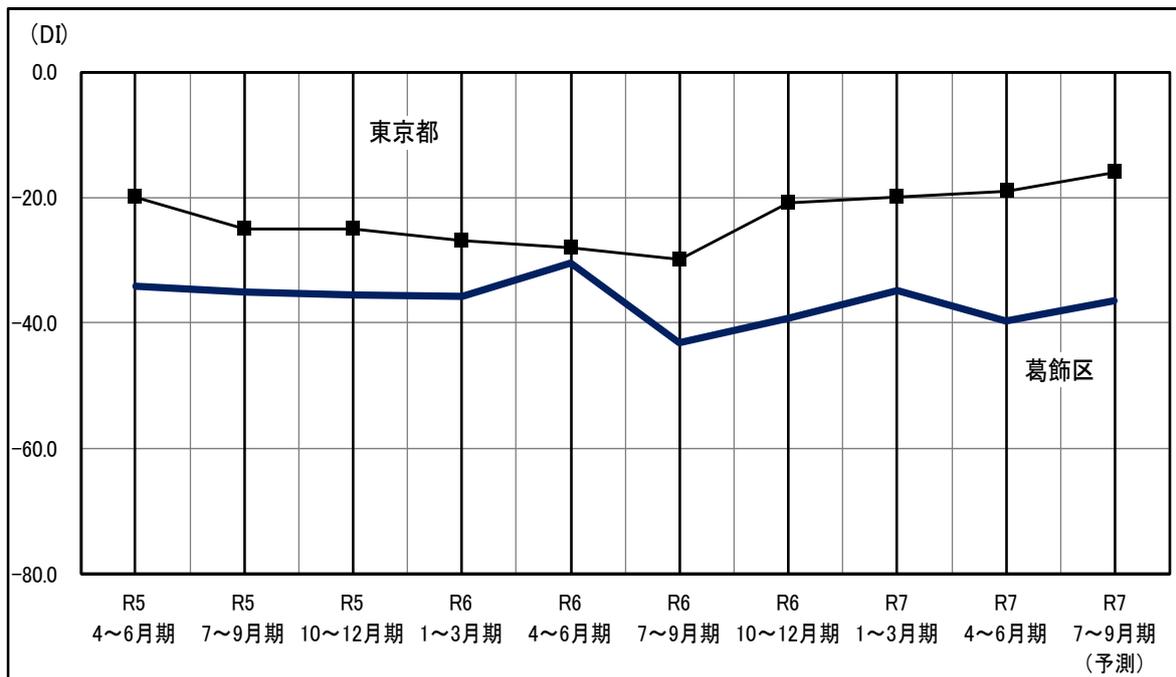
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」が55%、2位は「原材料価格・材料価格の上昇」が28%、3位は「取引先の減少」が25%となり、上位5位は前期同様となった。

重点経営施策は、1位は「販路を広げる」が52%、2位は「経費を節減する」が41%、3位は「仕入先・提携先を開拓・選別する」が20%となり、「販路を広げる」が同率1位から単独1位となった。

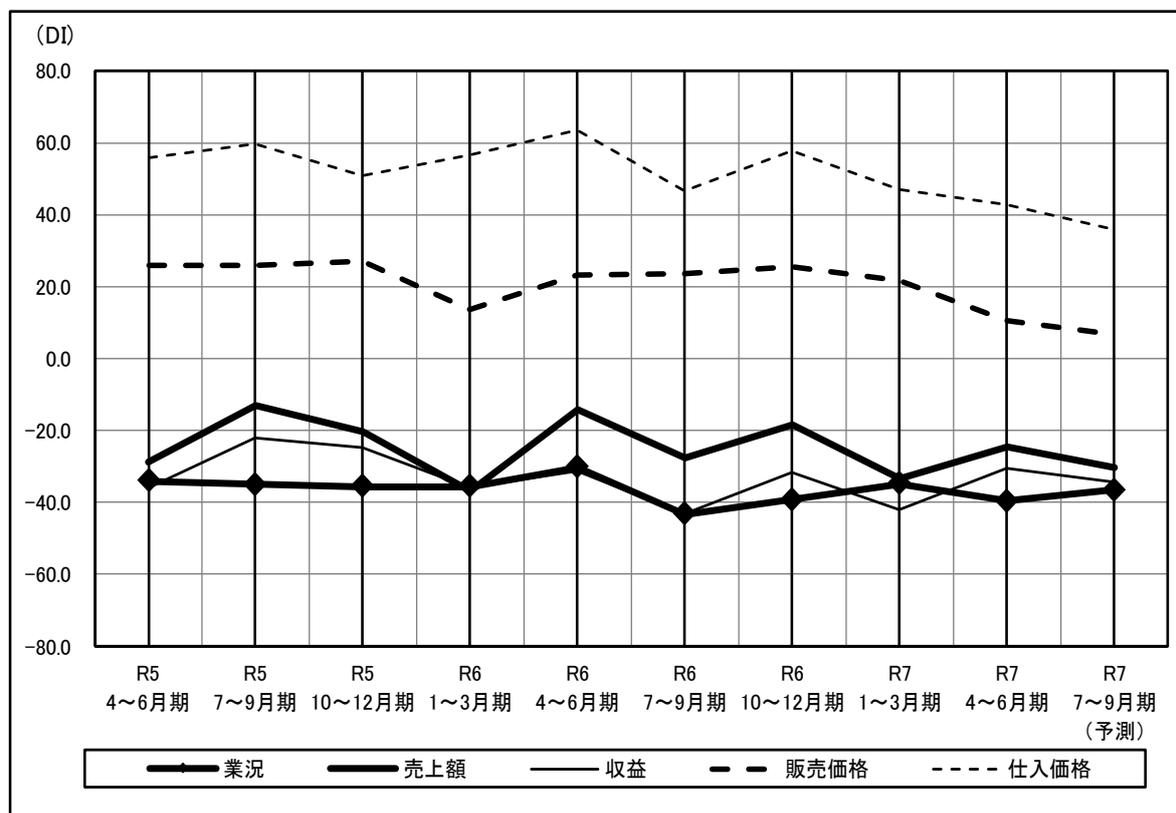
## 来期の見通し

業況(△40→△37)はやや厳しさが和らぐ見込み。売上額(△25→△30)、収益(△31→△34)はともにやや減少幅が拡大すると予想されている。

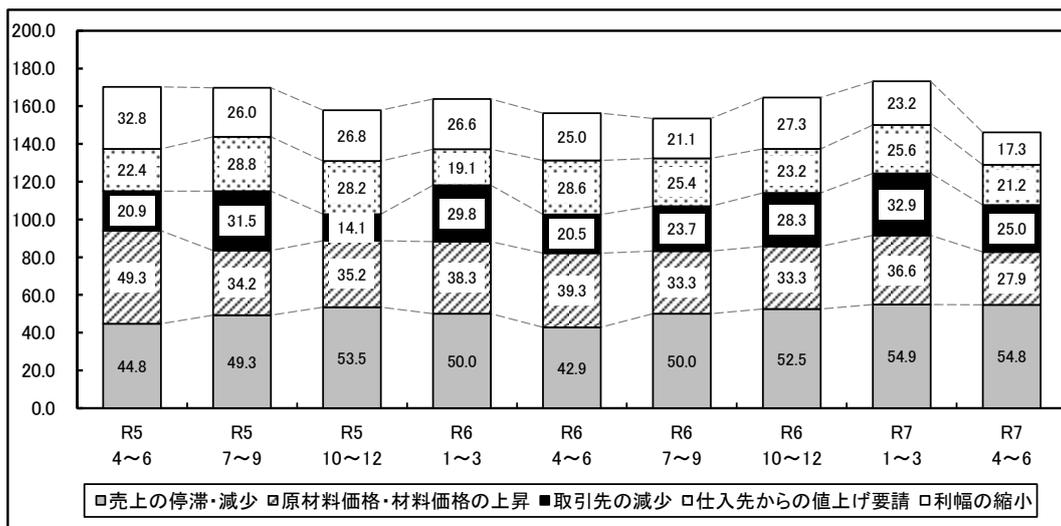
## 〈卸売業〉 葛飾区と東京都の業況の動き（実績）と来期の予測



## 〈卸売業〉 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測



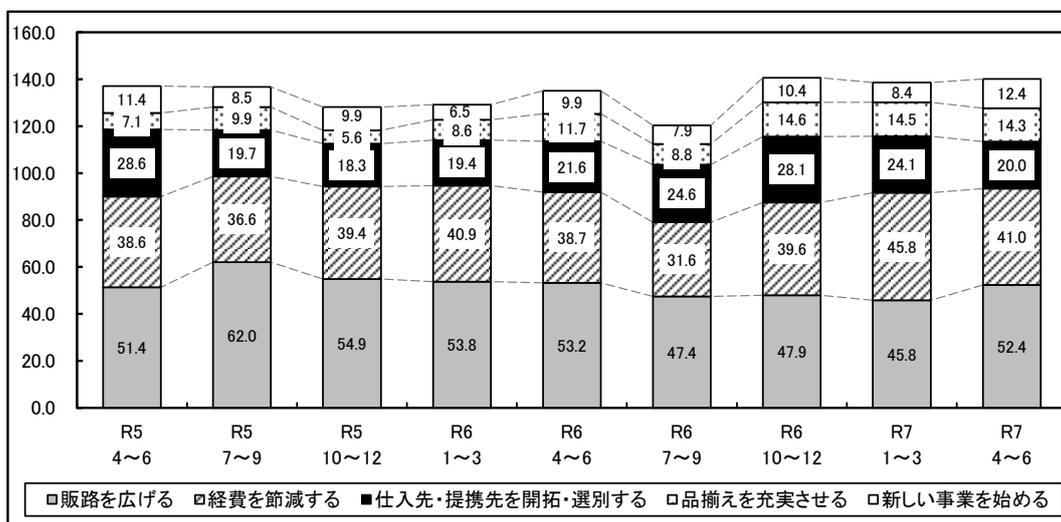
## 〈卸売業〉 経営上の問題点 (%)



	R6.7~9月期		R6.10~12月期		R7.1~3月期		R7.4~6月期	
第1位	売上の停滞・減少	50.0 %	売上の停滞・減少	52.5 %	売上の停滞・減少	54.9 %	売上の停滞・減少	54.8 %
第2位	原材料価格・材料価格の上昇	33.3 %	原材料価格・材料価格の上昇	33.3 %	原材料価格・材料価格の上昇	36.6 %	原材料価格・材料価格の上昇	27.9 %
第3位	仕入先からの値上げ要請	25.4 %	取引先の減少	28.3 %	取引先の減少	32.9 %	取引先の減少	25.0 %
第4位	取引先の減少	23.7 %	利幅の縮小	27.3 %	仕入先からの値上げ要請	25.6 %	仕入先からの値上げ要請	21.2 %
第5位	利幅の縮小	21.1 %	仕入先からの値上げ要請	23.2 %	利幅の縮小	23.2 %	利幅の縮小	17.3 %

※今期1位の項目を従業員別にみると「5人未満」が63.1%で最も多かった。

## 〈卸売業〉 重点経営施策 (%)



	R6.7~9月期		R6.10~12月期		R7.1~3月期		R7.4~6月期	
第1位	販路を広げる	47.4 %	販路を広げる	47.9 %	販路を広げる 経費を節減する	45.8 %	販路を広げる	52.4 %
第2位	経費を節減する	31.6 %	経費を節減する	39.6 %	仕入先・提携先を開拓・選別する	24.1 %	経費を節減する	41.0 %
第3位	仕入先・提携先を開拓・選別する	24.6 %	仕入先・提携先を開拓・選別する	28.1 %	品揃えを充実させる	14.5 %	仕入先・提携先を開拓・選別する	20.0 %
第4位	人材を確保する	16.7 %	品揃えを充実させる	14.6 %	人材を確保する	13.3 %	品揃えを充実させる	14.3 %
第5位	情報力、宣伝・広報を強化する 新製品・技術を開発する 売れ筋商品を取扱う	10.5 %	情報力、宣伝・広報を強化する	13.5 %	売れ筋商品を取扱う	10.8 %	新しい事業を始める	12.4 %

※今期1位の項目を従業員別にみると「5人以上10人未満」、「10人以上30人未満」がともに64.7%で最も多かった。

# 卸売業 業種別コメント

## <仕入れ・価格について>

1. 仕入価格の上昇を販売価格に転嫁は出来るのだが、値上げのため販売量が大幅にダウン
2. 物流費の値上がりか経営を圧迫
3. サプライヤーの値上げに対して、ユーザーに値上げをしにくい状況にあり、収益を圧迫している
4. 仕入値の上昇によって、一部うまく価格転嫁できていないので利益が思うように残らない
5. 金属スクラップ業を営んでいるが、素材価格の変動により利益率が相当変わってくる。取引量も減少している
6. 物流費の高騰が大きな負担となっている。円安の影響で仕入価格の上昇が大きく利益の圧縮につながっている
22. 販売先が在庫調整の時期にかかっており、売上げが減少している
23. 市場での案件が多少減少しているが、ニッチな需要について特に注力。現在の収益性は非常に良い
24. 販路が増えているので今のところは良い
25. 固定販売先が確定せず、毎月決まった製品の販売も確定しない状況が続いている
26. 需要を増やし、増収、増益を目指します
27. 一時的に受注増で現在は忙しいが夏以降の見通しが全く立っていない
28. 色んな部分での経費が上がって利益を喰っている
29. 新製品を開発しないと、売上増は見込めない
30. 価格転嫁が思うようにできず、一部販売納入先から値下げの要請もあり、売上げ、収益ともに厳しい

## <受注・業況について>

7. 取引先が中国メインのため、中国の経済低迷の影響を大いに受け、全く経営が成り立っていない状況
8. 売上減少は米国の関税問題で自動車メーカー、精密機械・器具等が在庫調整していて様子見をしている状況
9. 東南アジアに進出する日系工場向けの設備を輸出していますが、円安の影響もあり日系企業の進出が激減して、設備製品の輸出も激減している
10. 企業の統合及び工場の縮小により売上げは減少している
11. 当社の取引先の業種は、一般のお茶・海苔のお店または会社になります。得意先の廃業と売上減少が続いている
12. 通信販売業を中心に卸売りをしていますが、販売先が通信販売業から撤退をするところが多く売上が減少しているため利益が減少している
13. 昨年からの円安で、販売増加が難しい
14. 売上げ増も利益減の傾向が顕著
15. 販売先の売上不振
16. 社員一人一人が顧客を大切にすることで長期的に安定した売上に繋がっている
17. ユーザーの買い控えが大きく響いている
18. 昨年よりは若干増収であるが、予算を下回っている
19. 景気に左右されると思われますので、公共事業が減れば受注も減ります。戸建てが減り、リフォームが減れば、売上げは減少します
20. 大企業の進出により売上げは減少傾向である
21. 異業種の新規参入及び無在庫販売の無節操(取扱商品が数万点)な転売屋の横行により、ネット上でお客様が弊社の販売サイト(カート)までたどり着けない事による売上げの減少が一番の問題

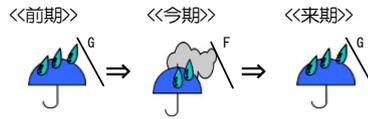
## <人材について>

31. 硝子の加工職人が高齢の為廃業している。後継者がいない
32. 業績は比較的堅調だが、今後の成長戦略のために人材の確保・育成が必要
33. 社員の年齢層が上がってきているので若い人へ業務をシフトできるように
34. 売上げが増加しているが、人手不足である(特に営業部)
35. 社員の高齢化、設備や建物の老朽化が進んでいる
36. 人材確保が難しいことを実感しました。なんとか仕事を回している状態

## <その他>

37. 米国の関税引き上げの影響
38. 為替が155円から140円近くに急激な変動で為替差損が起きている。国債相場下落により商品価値が下がった
39. 工事現場などの人手不足や労働時間の制約により、再開案件など計画の見直しや工期延期などにより部品納入(販売)に遅れが生じている
40. 販売先をできるだけ、金持ちに近い人達にしたい
41. 国際貿易政策の変動、国際関係の不安定などの実情により運営は厳しい状態である
42. 客先の設備投資が少なく、客先の廃業が多くなっている。人件費の真上げが厳しい
43. 小売・卸売ともに必需品でないものの売上げの大きな伸びは期待できそうにないので合理化が求められる

# 小 売 業



( ) は、前期→今期

## 売上・収益の動向と業況判断

業況 ( $\Delta 51 \rightarrow \Delta 38$ ) は大きく厳しさが和らいだ。売上額 ( $\Delta 42 \rightarrow \Delta 31$ )、収益 ( $\Delta 46 \rightarrow \Delta 38$ ) はともに大きく減少幅が縮小した。なお、東京都と比較した当区の業況は2ポイント下回っている。

## 価格・在庫動向

販売価格 ( $36 \rightarrow 18$ ) は大きく上昇傾向が弱まり、仕入価格 ( $60 \rightarrow 57$ ) はやや上昇傾向が弱まった。在庫 ( $\Delta 10 \rightarrow \Delta 10$ ) は前期並となった。

## 資金繰り・借入金動向

資金繰り ( $\Delta 40 \rightarrow \Delta 35$ ) はやや窮屈感が緩和し、借入難易度 ( $\Delta 16 \rightarrow \Delta 5$ ) は大きく厳しさが和らいだ。今期借入をした企業は22%で前期の23%から1ポイント減少した。

## 経営上の問題点・重点経営施策

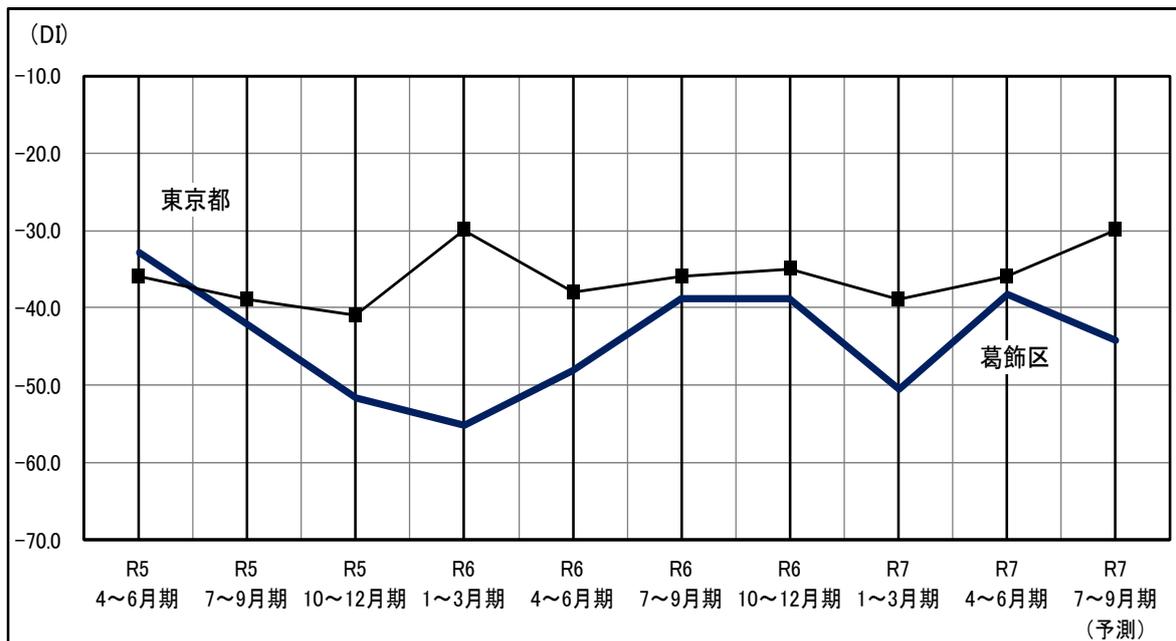
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」が53%、2位は「原材料価格・材料価格の上昇」が29%、3位は「仕入先からの値上げ要請」が26%となり、上位3位は前期同様となった。

重点経営施策は、1位は「販路を広げる」が33%、2位は「経費を節減する」が32%、3位は「品揃えを充実させる」が22%となり、「販路を広げる」が2位から1位と順位を上げた。

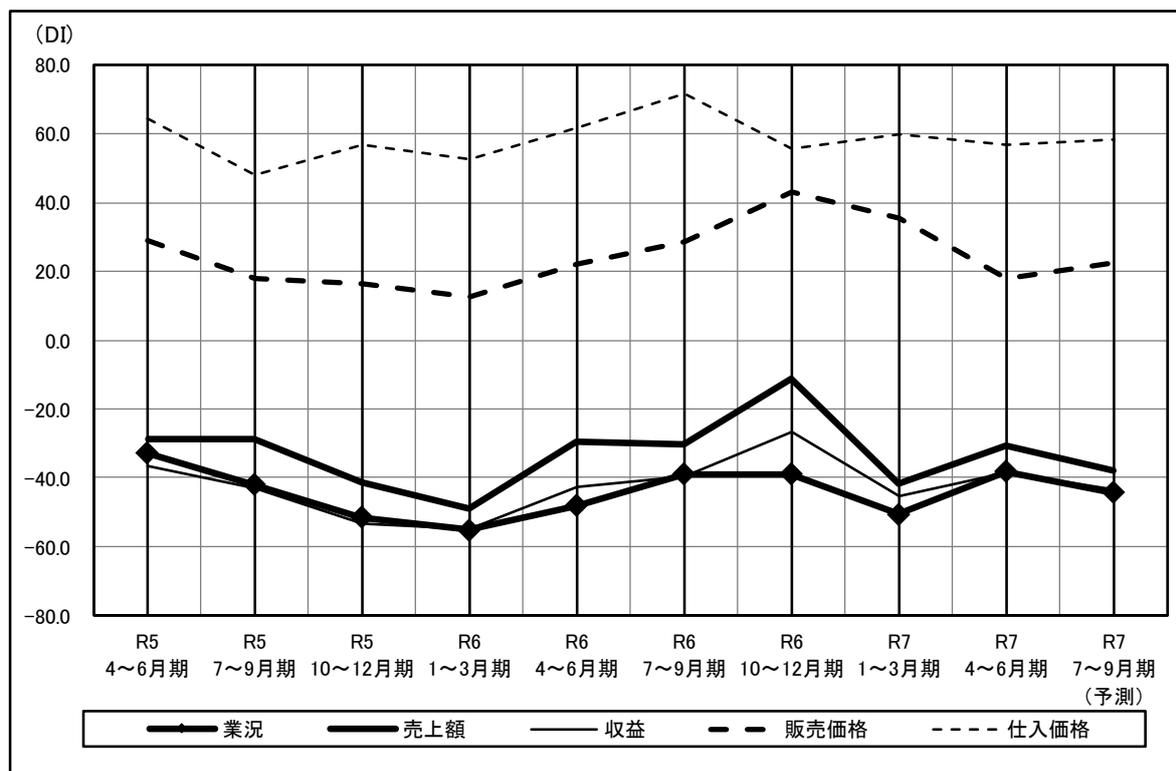
## 来期の見通し

業況 ( $\Delta 38 \rightarrow \Delta 44$ ) は大きく低調感が強まる見込み。売上額 ( $\Delta 31 \rightarrow \Delta 38$ )、収益 ( $\Delta 38 \rightarrow \Delta 44$ ) はともに大きく減少幅が拡大すると予想されている。

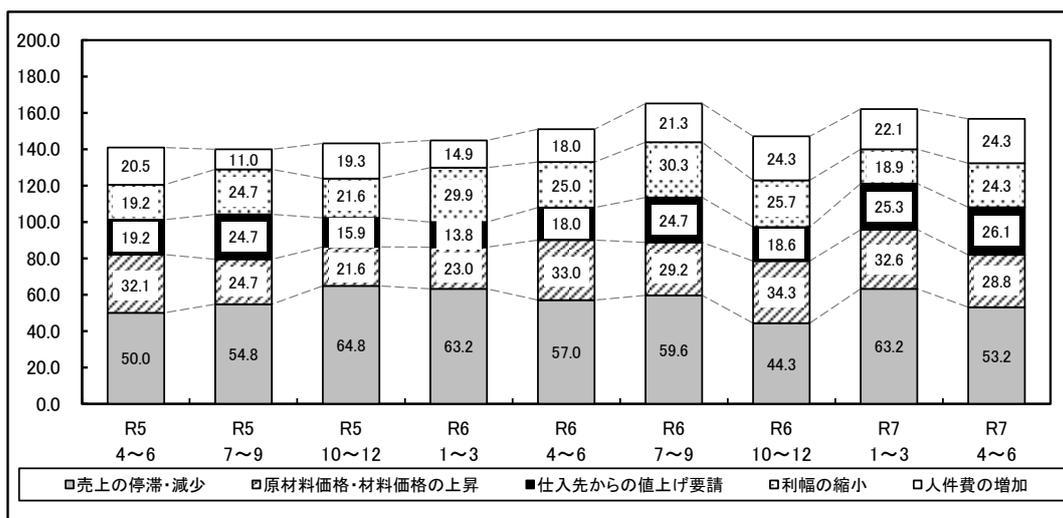
## 〈小売業〉 葛飾区と東京都の業況の動き（実績）と来期の予測



## 〈小売業〉 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測



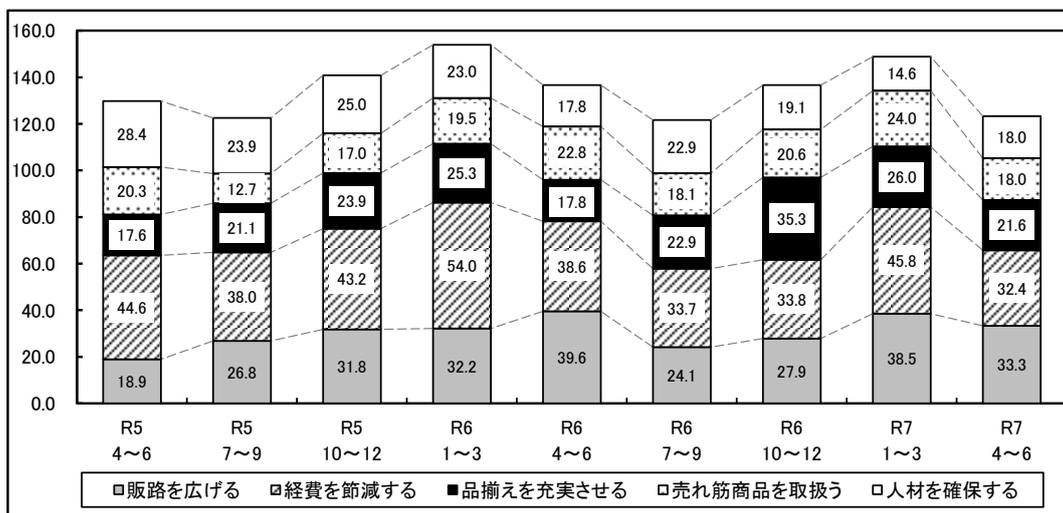
## 〈小売業〉 経営上の問題点 (%)



	R6.7~9月期		R6.10~12月期		R7.1~3月期		R7.4~6月期	
第1位	売上停滞・減少	59.6 %	売上停滞・減少	44.3 %	売上停滞・減少	63.2 %	売上停滞・減少	53.2 %
第2位	利幅の縮小	30.3 %	原材料価格・材料価格の上昇	34.3 %	原材料価格・材料価格の上昇	32.6 %	原材料価格・材料価格の上昇	28.8 %
第3位	原材料価格・材料価格の上昇	29.2 %	利幅の縮小	25.7 %	仕入先からの値上げ要請	25.3 %	仕入先からの値上げ要請	26.1 %
第4位	仕入先からの値上げ要請	24.7 %	人件費の増加	24.3 %	人手不足 人件費の増加	22.1 %	利幅の縮小 人件費の増加	24.3 %
第5位	人手不足 人件費の増加	21.3 %	人手不足	21.4 %	利幅の縮小	18.9 %	人手不足	20.7 %

※今期1位の項目を従業員別にみると「5人以上10人未満」が61.5%で最も多かった。

## 〈小売業〉 重点経営施策 (%)



	R6.7~9月期		R6.10~12月期		R7.1~3月期		R7.4~6月期	
第1位	経費を節減する	33.7 %	品揃えを充実させる	35.3 %	経費を節減する	45.8 %	販路を広げる	33.3 %
第2位	販路を広げる	24.1 %	経費を節減する	33.8 %	販路を広げる	38.5 %	経費を節減する	32.4 %
第3位	品揃えを充実させる 人材を確保する	22.9 %	販路を広げる	27.9 %	品揃えを充実させる	26.0 %	品揃えを充実させる	21.6 %
第4位	売れ筋商品を取扱う	18.1 %	売れ筋商品を取扱う	20.6 %	売れ筋商品を取扱う	24.0 %	売れ筋商品を取扱う 人材を確保する	18.0 %
第5位	情報力、宣伝・広報を強化する	15.7 %	人材を確保する	19.1 %	情報力、宣伝・広報を強化する 仕入先・提携先を開拓・選別する	17.7 %	情報力、宣伝・広報を強化する	15.3 %

※今期1位の項目を従業員別にみると「5人未満」が34.7%で最も多かった。(n数5以下は除く)

# 小売業 業種別コメント

## ＜仕入れ・価格について＞

1. 原材料の上昇、作り手の高齢化に歯止めがかからない。伝統文化が厳しい状況
2. 仕入原価が上がり、そのまま小売りの価格に乗せることができない（価格が上がると買い控え）
3. 物価高騰の為、仕入値が上がり、売上げの利益が下がっている
4. 売上向上と収益改善。既存販路（間販、直販、EC販売）の伸び悩み。原価率が高く粗利の確保が難しい。取扱商品の見直し、収益を確保し易い商品ラインナップを整える必要がある
5. 牛乳販売店は仕入れ先からの値上げが止まらず、スプーンストローまで値上げされ、困っています。特にスプーンストローはメーカーが無料で提供していただいたが今では全て有料になり保育園など今さら有料にはできないので本当に困っている
6. 仕入れ先の納入に時間がかかるのが問題点。原材料の値上げや仕入れ先の人手不足で納入が遅れる
7. 米の原材料（玄米）の不足と価格上昇により大変、難しい状況が続いている
8. 仕入れコストが大幅に上がる割には単価を上げられず利益減少
9. 必要経費の部分で価格（物価）の上昇が認められ、これ以上価格（物価）が上昇すると一考を要するかもしれない懸念はある
10. 米小売業です。米価の値上り、仕入価格の値上り、資金面で苦労している

## ＜受注・業況について＞

11. 顧客の減少が多い。若者は町の電気店には来店しない。大型店に行ってしまう、又はネットで調べて購入してしまう
12. 売上げ、利益ともに上げ幅は増加を続けている。しかしながら、人件費も引き続き上昇傾向であるので、限界利益の最大化には最大限の努力が必要である
13. 売上げが減少傾向にもかかわらず人材確保に費用が掛かると、業界自体が需要低迷しており、設備の老朽化に対して思い切った更新が出来ず費用がかさんでいる
14. 大企業の進出により売上げは減少傾向である
15. ネット販売による売上げの減少
16. 外国人の来客が増加し売上額が上昇している
17. 物価高が続く限り増収・増益は望めないと思う

18. BtoCでの営業のため、個人所得の減少により売上げ個数が減っている。また卸会社からの値上げにより利益が減っている。個人に価格を転嫁できないところが運営に悪い影響を与えている
19. 医療業界なので売上は減っているが、1人当たりの賃金アップ等企業努力を進めている
20. 民間の購入意欲が感じられない。高額の商品が売れない。必要最低限の商品しか売れない
21. 景況は良くはないが、悪くもない。衣料品は財布の紐が固いと思う
22. イベント等の時は注文が多く入りますが、その後が続かない。来店客数の減少
23. 小口の引合いが増えている。確実な受注と利益確保に努める動きを今後も徹底し対応予定

## ＜人材について＞

24. 受注増の中、採用ができずに人手不足になっている
25. 人手不足
26. 高齢化による仕事の遅延
27. 人件費高騰、人手不足に対して効果的な施策がない
28. 人手不足、人材不足で、次の展開が縮小すると思う

## ＜その他＞

29. 売上げが減少する中、クレカやQRコード決済をする（2～3%）客が年々増加しているため、気づいてみると手元にある現金の割合が（手数料を仲介業者に支払うため）少なくなっており困っている。国が進めるクレカやQR事業の恩恵にあずかっている実感がない
30. 新事業への転機、そして海外仕入の新しい分野がまだ確立していない。送金問題、仕入れ先の開拓、課題多い
31. 呉服業界が全体的に疲弊している
32. 慌てず、現状維持を保つよう努力する。日本経済の不安定・不透明に対処していく
33. 出版業界が書店に利益を回す意識が乏しく、書店は粗利の改善を求め続けているが、全く改善されない。更に人件費の上昇、クレジット決済手数料など、書店の経費が増大する一方で、このままでは廃業を考えざるを得ない状況
34. 物売店が無くなり、お客はネットで買物し、商店街に人が来ない

## サービス業



( ) は、前期→今期

### 売上・収益の動向と業況判断

業況 ( $\Delta 30 \rightarrow \Delta 23$ ) は大きく厳しさが和らいだ。売上額 ( $\Delta 27 \rightarrow \Delta 21$ ) は大きく減少幅が縮小し、収益 ( $\Delta 29 \rightarrow \Delta 25$ ) はやや減少幅が縮小した。なお、東京都と比較した当区の業況は 4 ポイント下回っている。

### 価格・在庫動向

料金価格 (7→17) は大きく上昇傾向が強まり、材料価格 (56→47) は大きく上昇傾向が弱まった。

### 資金繰り・借入金動向

資金繰り ( $\Delta 25 \rightarrow \Delta 18$ ) は大きく窮屈感が緩和し、借入難易度 ( $\Delta 12 \rightarrow \Delta 13$ ) は前期並となった。今期借入をした企業は 25% で前期の 30% から 5 ポイント減少した。

### 経営上の問題点・重点経営施策

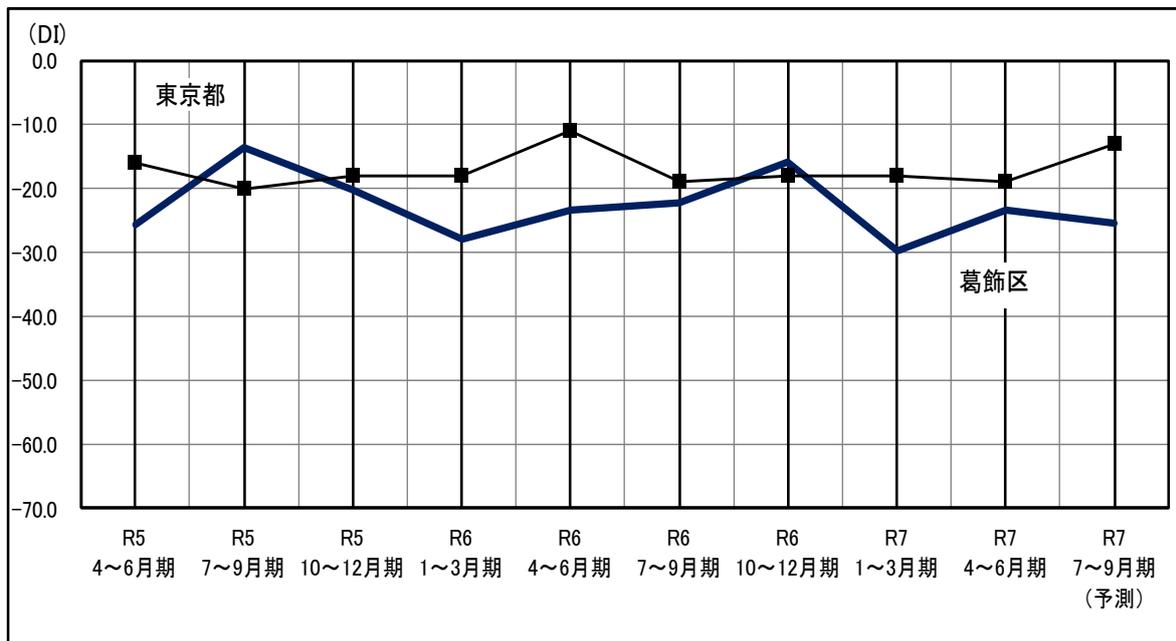
経営上の問題点は、1 位は「売上の停滞・減少」が 45%、2 位は「人手不足」が 37%、3 位は「人件費の増加」が 33% となり、上位 5 位まで前期同様となった。

重点経営施策は、1 位は「経費を節減する」が 42%、2 位は「人材を確保する」が 33%、3 位は「販路を広げる」が 30% となり、上位 3 位は前期同様となった。

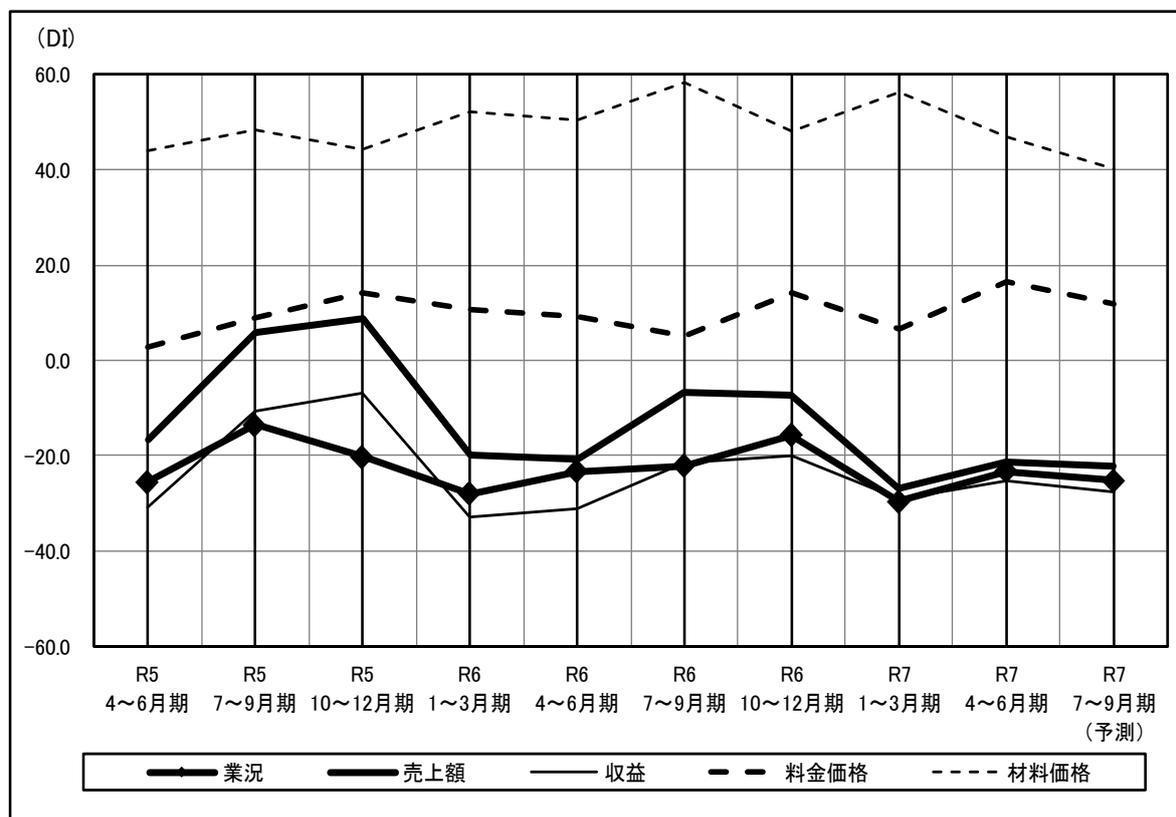
### 来期の見通し

業況 ( $\Delta 23 \rightarrow \Delta 25$ ) はやや低調感が強まる見込み。売上額 ( $\Delta 21 \rightarrow \Delta 22$ ) は今期同様で推移し、収益 ( $\Delta 25 \rightarrow \Delta 28$ ) はやや減少幅が拡大すると予想されている。

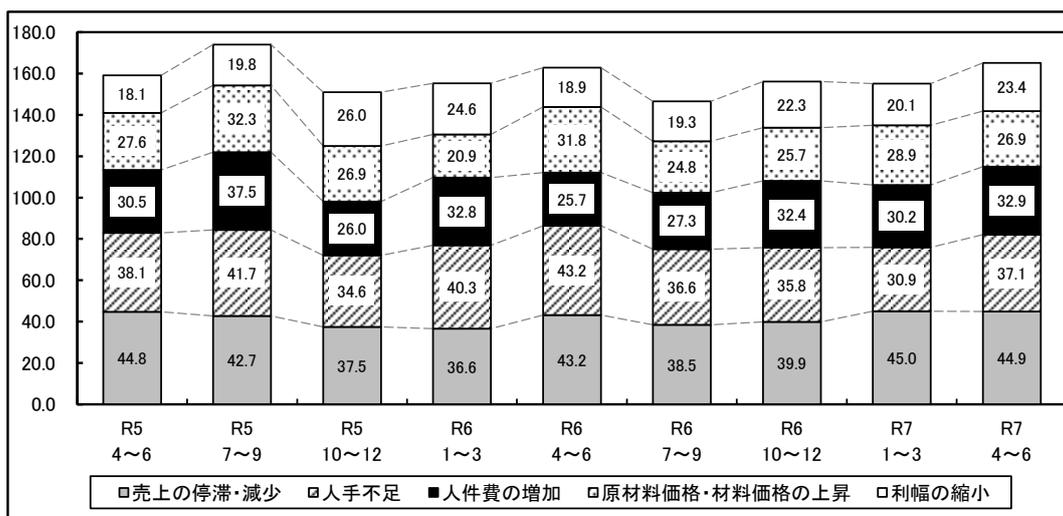
## 〈サービス業〉 葛飾区と東京都の業況の動き（実績）と来期の予測



## 〈サービス業〉 業況と売上額、収益、料金価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測



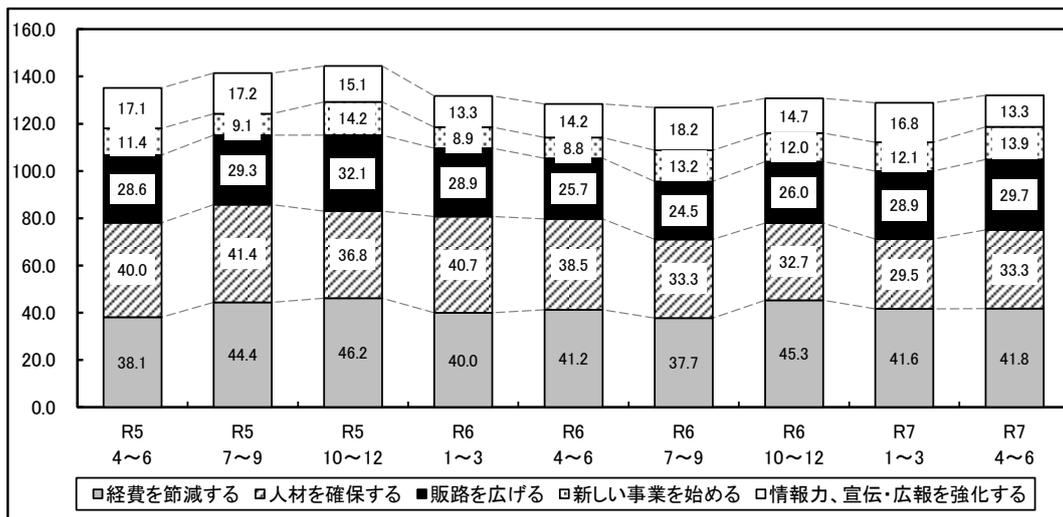
## 〈サービス業〉 経営上の問題点（％）



	R6.7～9月期		R6.10～12月期		R7.1～3月期		R7.4～6月期	
第1位	売上の停滞・減少	38.5 %	売上の停滞・減少	39.9 %	売上の停滞・減少	45.0 %	売上の停滞・減少	44.9 %
第2位	人手不足	36.6 %	人手不足	35.8 %	人手不足	30.9 %	人手不足	37.1 %
第3位	人件費の増加	27.3 %	人件費の増加	32.4 %	人件費の増加	30.2 %	人件費の増加	32.9 %
第4位	原材料価格・材料価格の上昇	24.8 %	原材料価格・材料価格の上昇	25.7 %	原材料価格・材料価格の上昇	28.9 %	原材料価格・材料価格の上昇	26.9 %
第5位	利幅の縮小	19.3 %	利幅の縮小	22.3 %	利幅の縮小	20.1 %	利幅の縮小	23.4 %

※今期1位の項目に従業員別にみると「5人以上10人未満」が51.7%で最も多かった。(n数5以下除く)

## 〈サービス業〉 重点経営施策（％）



	R6.7～9月期		R6.10～12月期		R7.1～3月期		R7.4～6月期	
第1位	経費を節減する	37.7 %	経費を節減する	45.3 %	経費を節減する	41.6 %	経費を節減する	41.8 %
第2位	人材を確保する	33.3 %	人材を確保する	32.7 %	人材を確保する	29.5 %	人材を確保する	33.3 %
第3位	販路を広げる	24.5 %	販路を広げる	26.0 %	販路を広げる	28.9 %	販路を広げる	29.7 %
第4位	情報力、宣伝・広報を強化する	18.2 %	技術力を強化する	15.3 %	情報力、宣伝・広報を強化する	16.8 %	新しい事業を始める	13.9 %
第5位	技術力を強化する	14.5 %	情報力、宣伝・広報を強化する	14.7 %	技術力を強化する	14.8 %	情報力、宣伝・広報を強化する	13.3 %

※今期1位の項目に従業員別にみると「5人以上10人未満」が58.6%で最も多かった。(n数5以下除く)

# サービス業 業種別コメント

## <仕入れ・価格について>

1. 飲食店です。原価が値上がりすぎて困っています。販売価格の値上げもしましたが、お客様が増えません。閉店しても借金だけ残り、どうにもならない状況
2. 原材料等が上がっているのに価格を上げる事が出来ず収益が減少している
3. 原材料価格の上昇が大きく、品物の価格転嫁ができない
4. 仕入れ価格が上昇しており、販売価格になかなか転嫁できない
5. 光熱費が上がって経費が増加
6. 食材の高騰の方が大きくて売値を上げて追いつかない
7. 新商品開発による原価高
8. 人件費の増加と燃料高騰
9. 人件費・原材料費高騰により利益減が続くと予想される
10. 米の短期的かつかなり急な価格変動や在庫不足

## <受注・業況について>

11. 人手不足により顧客獲得、事業拡大が難しい。又、報酬改定により売上げが減少した
12. 業界全体の収益が厳しい状況であり、一事業所での根本的な改善は困難。仕事を絶やさず会社に利益が残る状況を確認し、雇用を守っていく
13. 弊社は大企業の下請け仕事が多いが、大企業側の人材不足、能力不足が足かせとなり、結果、お付き合いする時間が増え、時間当たりの収益が落ちている。大企業の経営層の判断能力も低く、判断に時間がかかることから、弊社のような零細企業は「契約だけあるが仕事がない」状況に塩漬けされることが多くなってきた
14. 需要が減少し減収、減益が続く
15. 海外での現調化が進み、日本からの調達率が低下し、売上げは減少傾向にある
16. 今期4月から大口取引先が減少。先行き不透明感やコストダウンのためと思われる
17. 売上げ減かつ人件費増による、利益の大幅減
18. 受注先の社員の増加や、現場の減少が多少影響して、閑散期の売上げが減少している
19. 需要は横ばい、減少傾向。経費は増加見込み。経費のやり繰りで対応している
20. コロナの影響で2020年から赤字決算が続いていたが今期はようやく黒字決算になる状況です

21. 利用者数の安定により売上げが安定している。ただし、売上げが上がると利用者数が増えると言う事で、介護職員の負担も増えてくる。適切な介護度をキープできるように運営したい

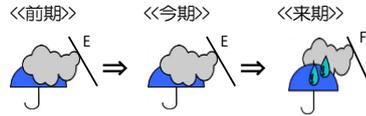
## <人材について>

22. 従業員の高齢化により、受託できる仕事に限られている
23. 介護保険事業のためニーズは上昇を続けているが人材確保が大きな問題となっており、それを要因とした人件費の上昇も留意する必要がある。中長期の戦略としてはリスク分散のため事業を分散していく必要があることも課題のひとつである
24. 夏期の気温上昇や熱中症対策義務化により、倉庫内の作業環境改善が急務。そのための設備投資（工事等）の経費圧迫が予想される。コロナ以降業界全体の人材不足の中、質の良い人材確保が難しい
25. 仕事はあるが人手不足で全て受けられない
26. 受注は増えているが、採用するための資金がなく、人手不足で収入までの時間が掛かり、受注増の割に増収にならない
27. ライドシェア対策として、同業他社との人材確保競争がとても激しくなっており人材の確保が難しい。また年齢層も高い業種であるため、引退が重なり人が減っていく。また、他社も車の稼働をあげ、世の中のタクシーの稼働台数が増えているが、物価上昇の影響によりお客様の乗り控えが加速しつつある
28. 亀有での事業が好調で、その好影響が本業にも出始めている。一方、受注増に人手が不足している
29. 現場作業員の高齢化に伴い労働効率が低下し、利益率が減少している。新規雇用が出来るだけの利益がないので、将来的に労働力不足が考えられる

## <その他>

30. まだ新規事業者のため、生産性が乏しく生産が追い付かない。資金の借入はできても、会社の使える補助金がなく資金繰りが大変である
31. 営業戦略の練り直しに時間がかかったため、その分実行、受注、支払までのタイムラグが生まれており、資金繰りが厳しくなっている
32. 米国関税の不安定さを筆頭に、国際物流の未来予測を難しくさせる要因が多い。どうしても消極的な戦略を取らざるを得ない

# 建設業



( ) は、前期→今期

## 売上・収益の動向と業況判断

業況(△11→△18)は大きく低調感が強まった。売上額(△13→△21)、施工高(△13→△26)、収益(△23→△31)はいずれも大きく減少幅が拡大した。

## 価格・在庫動向

請負価格(△6→△1)はやや下降傾向が弱まり、材料価格(57→62)はやや上昇傾向が強まった。在庫(△6→1)は過剰に転じた。

## 資金繰り・借入金動向

資金繰り(△22→△20)はやや窮屈感が緩和し、借入難易度(△3→△2)は前期並となった。今期借入をした企業は38%で前期の39%から1ポイント減少した。

## 経営上の問題点・重点経営施策

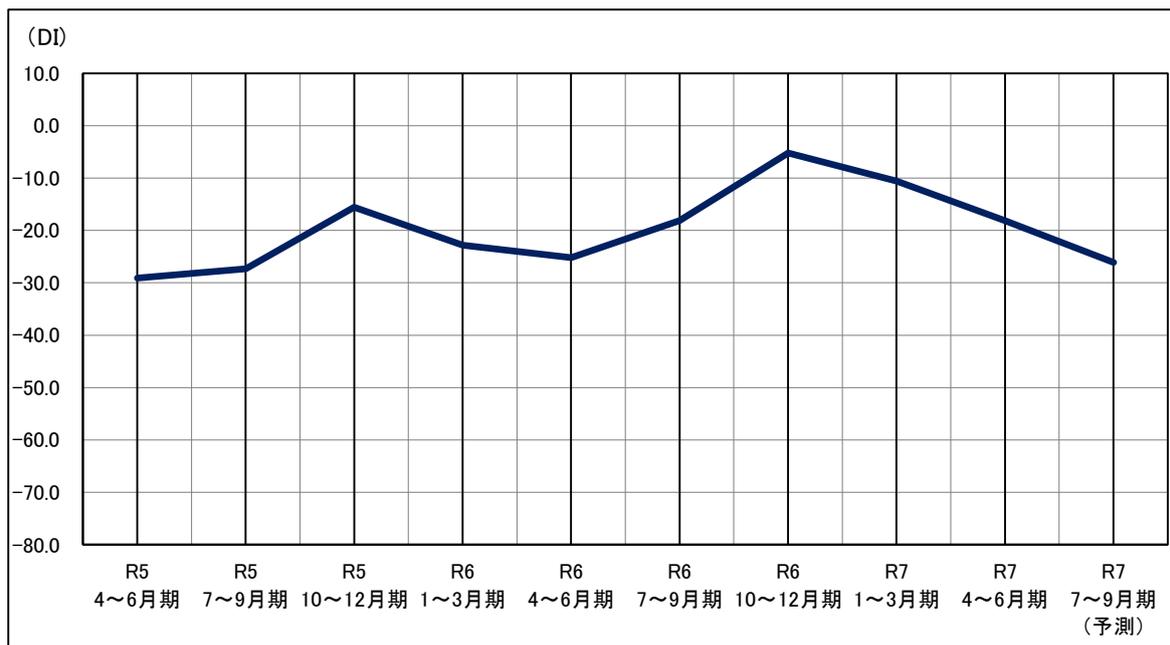
経営上の問題点は、1位は「人手不足」が52%、2位は「原材料価格・材料価格の上昇」が44%、3位は「売上の停滞・減少」が32%となり、上位5位まで前期同様となった。

重点経営施策は、1位は「人材を確保する」が57%、2位は「経費を節減する」が43%、3位は「販路を広げる」が26%となり、「販路を広げる」が上位4位から3位へ順位を上げた。

## 来期の見通し

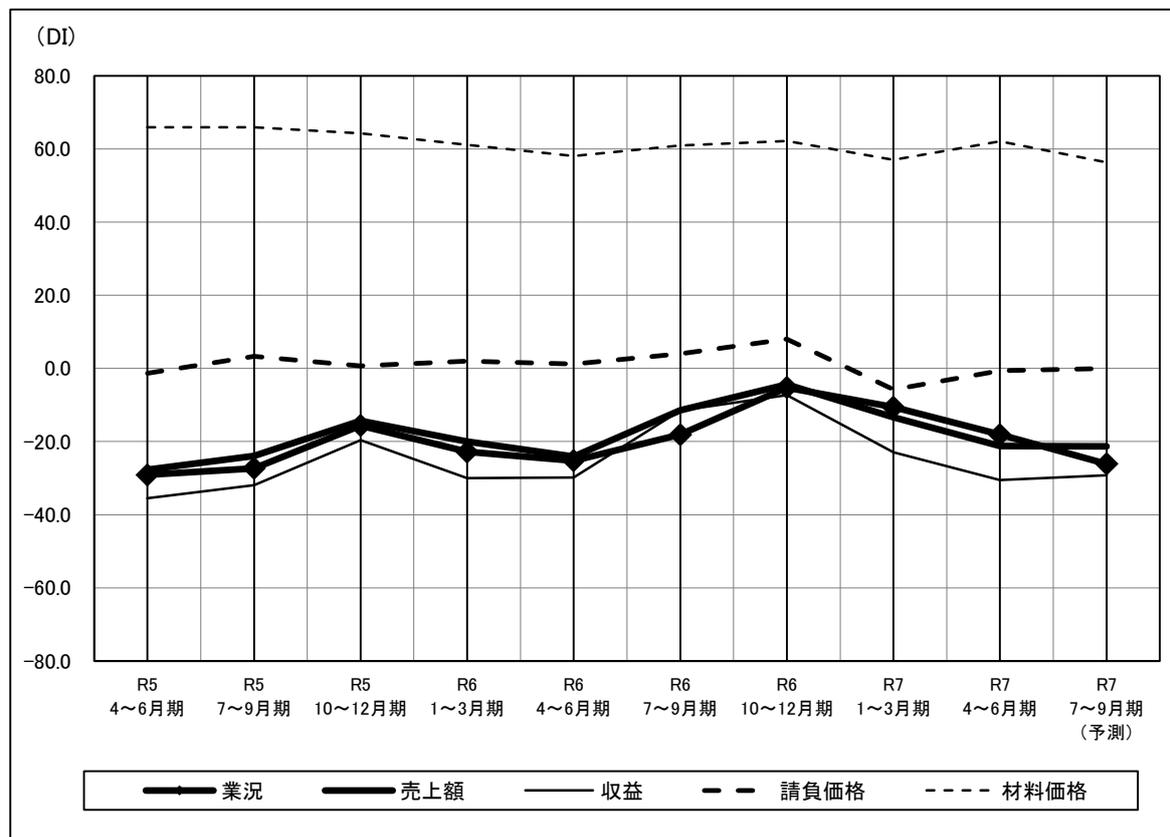
業況(△18→△26)は大きく低調感が強まる見込み。売上額(△21→△21)は今期同様で推移し、収益(△31→△29)はやや減少幅が縮小すると予想されている。

## 〈建設業〉 葛飾区の業況の動き（実績）と来期の予測

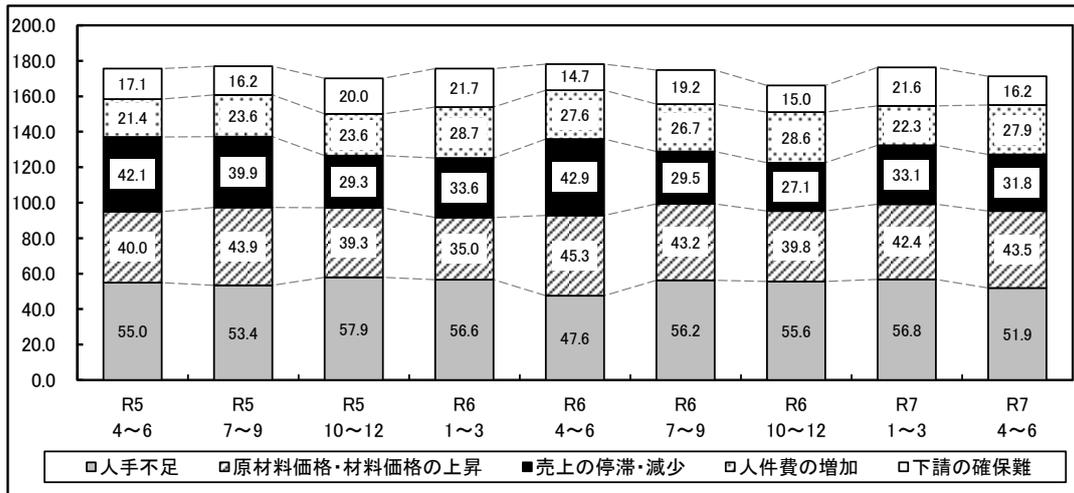


※ 東京都の景況調査では建設業の調査は実施されていないため、東京都の建設業の業況は表示していない。

## 〈建設業〉 業況と売上額、収益、請負価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測



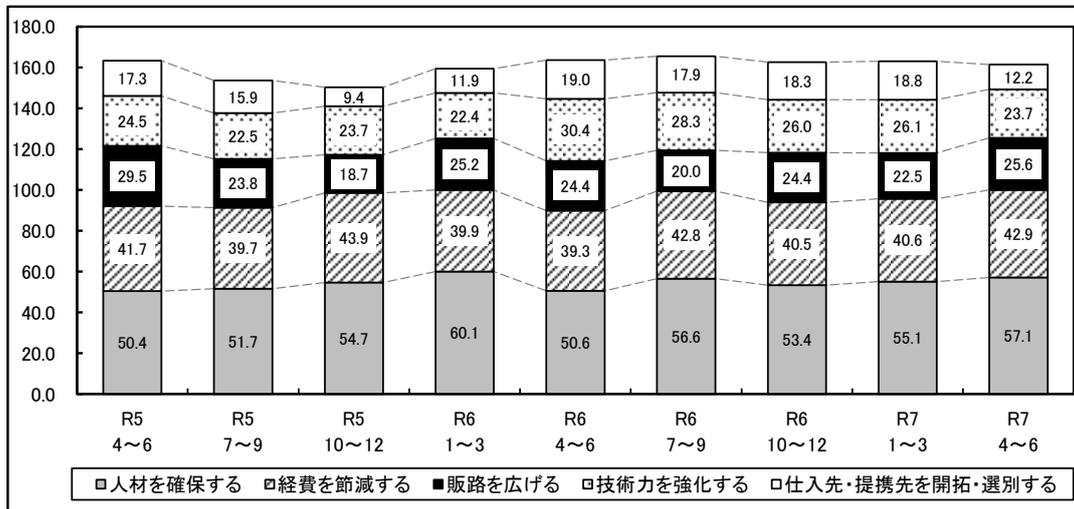
## 〈建設業〉 経営上の問題点 (%)



	R6.7~9月期		R6.10~12月期		R7.1~3月期		R7.4~6月期	
第1位	人手不足	56.2 %	人手不足	55.6 %	人手不足	56.8 %	人手不足	51.9 %
第2位	原材料価格・材料価格の上昇	43.2 %	原材料価格・材料価格の上昇	39.8 %	原材料価格・材料価格の上昇	42.4 %	原材料価格・材料価格の上昇	43.5 %
第3位	売上の停滞・減少	29.5 %	人件費の増加	28.6 %	売上の停滞・減少	33.1 %	売上の停滞・減少	31.8 %
第4位	人件費の増加	26.7 %	売上の停滞・減少	27.1 %	人件費の増加	22.3 %	人件費の増加	27.9 %
第5位	利幅の縮小	21.9 %	利幅の縮小	18.8 %	下請の確保難	21.6 %	下請の確保難	16.2 %

※今期1位の項目に従業員別にみると「10人以上30人未満」が66.7%で最も多かった。

## 〈建設業〉 重点経営施策 (%)



	R6.7~9月期		R6.10~12月期		R7.1~3月期		R7.4~6月期	
第1位	人材を確保する	56.6 %	人材を確保する	53.4 %	人材を確保する	55.1 %	人材を確保する	57.1 %
第2位	経費を節減する	42.8 %	経費を節減する	40.5 %	経費を節減する	40.6 %	経費を節減する	42.9 %
第3位	技術力を強化する	28.3 %	技術力を強化する	26.0 %	技術力を強化する	26.1 %	販路を広げる	25.6 %
第4位	販路を広げる	20.0 %	販路を広げる	24.4 %	販路を広げる	22.5 %	技術力を強化する	23.7 %
第5位	仕入先・提携先を開拓・選別する	17.9 %	仕入先・提携先を開拓・選別する	18.3 %	仕入先・提携先を開拓・選別する	18.8 %	仕入先・提携先を開拓・選別する	12.2 %

※今期1位の項目に従業員別にみると「5人以上10人未満」が81.0%で最も多かった。

## 建設業 業種別コメント

### <仕入れ・価格について>

1. 原材料価格・人件費の増加により、利益減になっている
2. 材料代、輸送代の高騰で思っているよりも利益が少ない
3. 受注については順調であるが、仕入れコストが高騰しつつある
4. 材料価格の上昇により、売上げは増えているが、利幅は増えていない
5. ガソリン（軽油）の価格が高過ぎるので経費がかさむ
6. 材料価格が上昇し見積もりも高くするしか無く、悩むところ
7. 原材料・部品等の価格が上昇しているが、発注元への価格転嫁が非常に困難。利益率を押し下げる要因になっている

### <受注・業況について>

8. 売上げが減っているのに、外注費の値上げと販売価格の値上げを反映していない為（できない為）、収益が減少している
9. 地元の工務店を通じて受注していた物件がその後継者不足、消費税の重荷のために減少。直接の顧客が増加しているため景況は概ね安定しているが、先の見通しが立てづらい
10. 売上げは昨年未あたりから好調が続いている。資材の高騰が続いている。地元駅前に家電量販店が出店される為、売上減少の不安がある
11. 需要が減り、減収・減益が続いている
12. 売上げが減少しているのでその売上げの中でやりくりしたいと思っている
13. 受注は安定的であるが、原材料費上昇により、利幅が減少傾向にある。人材の技術的指導を強化する事により、効率のアップをはかり、利幅確保を推進中である
14. 需要が増え、増収・増益が見込める
15. 地元得意先（工務店、建設業）の高齢化や廃業により受注仕事量の減少
16. 需要は横ばいながら、相見積もりが多くなっているため競争があり利益を出すのが難しい
17. 大企業の進出により売上げは減少傾向である
18. 年間の受注量に変化はないが、時期により受注の差が激しい
19. 特に5月期は仕事の受注が少なく、そのしわ寄せが6月以降に影響を与えることになる事は確定しているので、今後が苦しいと思われる
20. 資材は高騰しているものの、販売価格への反映が難しいため、利幅が減少している

21. 施主による事業方針の転換が見られ、工法等の変更点が多くなり、受注減少の傾向が多くみられる

### <人材について>

22. 受注は年ごとにやや増えていますが人材の高齢化により生産性が低下。人手を増やしたいのですが、業界の職業認知度の低さによって集まらないと思っている
23. 雇用確保のための賃金見直し、福利厚生向上を実施するため売上増を目指し新規事業立ち上げの設備投資をしている
24. 販路を広げたいが、広げたとしても人手不足の為、対応できない
25. 受注増の中、取付工事の作業員が人手不足になっている（特に繁忙期）
26. 受注能力はあるが人材不足で、現在以上の仕事を受注できない状態
27. 仕入れ先の製造が間に合わず、工事に遅れが出ている。人員の募集を続けているが、採用が難しく人材が不足している
28. 建設業に従事していますが特殊作業のため人材確保が難しい
29. 社員の高齢化、退職者が立て続けに出たため、人材が足りないが、経験者の採用ができない（未経験者の採用をする余裕がない）。東電の工事のスケジュールがとれず、受注した工事が数カ月先にならないとできない
30. 従業員の高齢化に対し、新規採用が職種と賃金面から困難である
31. 受注はある程度あるが、協力業者の不足、多忙でこなしきれない
32. 原材料の高騰、人件費の上昇の上に募集しても人が集まらず人手不足になっている
33. 下請として仕事量は増えているが、逆に人手不足が続いている。工事の単価も減少傾向にある。自社元請での工事発注が減少しているので減益傾向にある

### <その他>

34. 働き方改革で建設業界の労働時間と賃金・料金の見直しによる、取引先との金額を4月より値上げしましたが今後の動向により、再検討の余地あり
35. 原材料等が軒並み高騰している。現金仕入のためその月の支払を延ばすことができない一方売掛金はその月には入らないため、自転車操業的な昨今である

# 不動産業



( ) は、前期→今期

## 売上・収益の動向と業況判断

業況 ( $\Delta 10 \rightarrow \Delta 9$ ) は前期並となった。売上額 ( $\Delta 5 \rightarrow \Delta 11$ ) は大きく減少幅が拡大し、収益 ( $\Delta 19 \rightarrow \Delta 15$ ) はやや減少幅が縮小した。

## 価格・在庫動向

販売価格 ( $\Delta 1 \rightarrow 7$ ) は上昇に転じ、仕入価格 ( $28 \rightarrow 19$ ) は大きく上昇傾向が弱まった。

## 資金繰り・借入金動向

資金繰り ( $\Delta 12 \rightarrow \Delta 9$ ) はやや窮屈感が緩和し、借入難易度 ( $\Delta 13 \rightarrow \Delta 13$ ) は前期並となった。今期借入をした企業は12%で前期の19%から7ポイント減少した。

## 経営上の問題点・重点経営施策

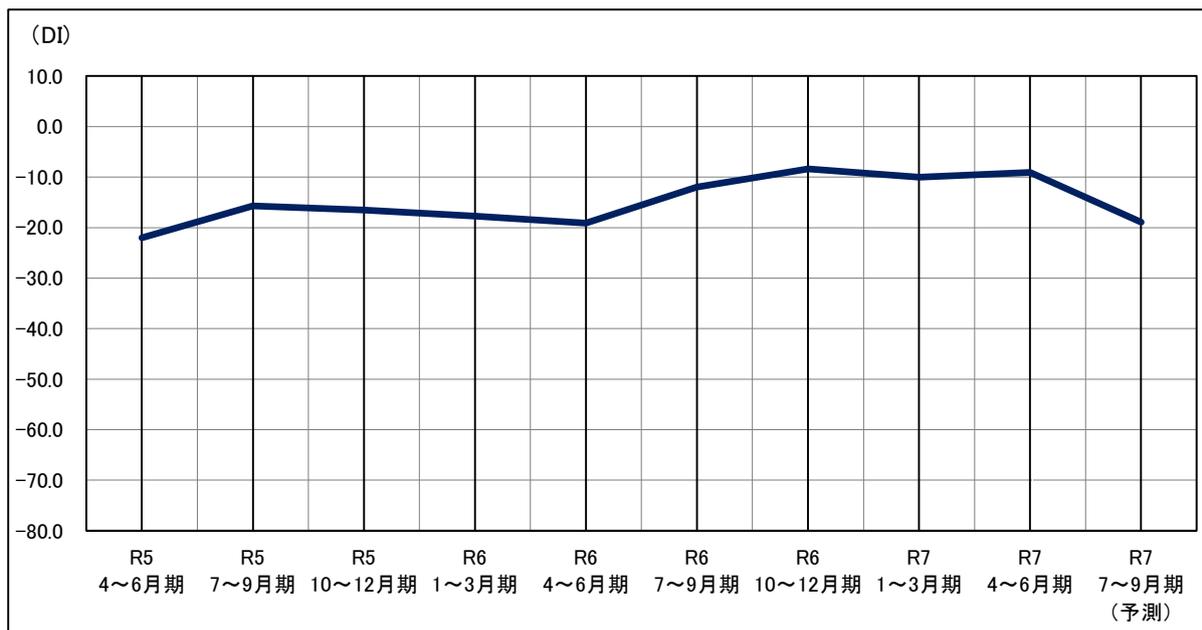
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」が28%、2位は「同業者間の競争の激化」、「利幅の縮小」、「人件費以外の経費増加」がいずれも20%、3位は「原材料価格・材料価格の上昇」が18%となり、「人件費以外の経費増加」が4位から2位、「同業者間の競争の激化」が5位から2位となった。

重点経営施策は、1位は「経費を節減する」が38%、2位は「不動産の有効活用を図る」が34%、3位は「情報力、宣伝・広報を強化する」が15%となり、「情報力、宣伝・広報を強化する」が4位から3位となった。

## 来期の見通し

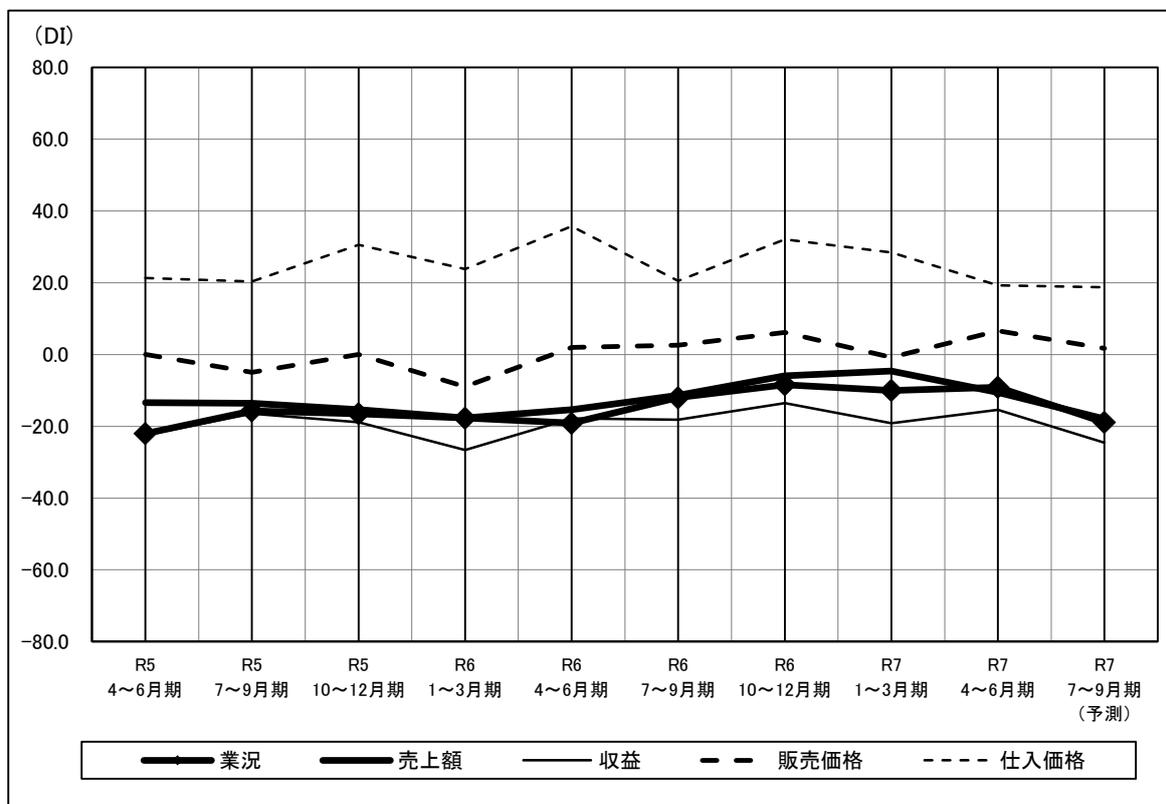
業況 ( $\Delta 9 \rightarrow \Delta 19$ ) は大きく低調感が強まる見込み。売上額 ( $\Delta 11 \rightarrow \Delta 18$ )、収益 ( $\Delta 15 \rightarrow \Delta 25$ ) はともに大きく減少幅が拡大すると予想されている。

## 〈不動産業〉 葛飾区の業況の動き（実績）と来期の予測

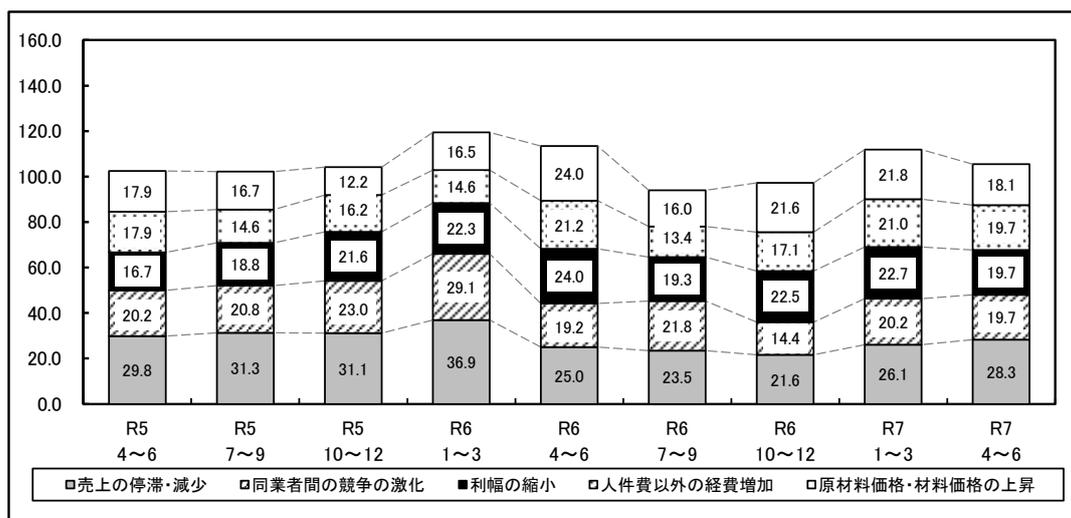


※ 東京都の景況調査では不動産業の調査は実施されていないため、東京都の不動産業の業況は表示していない。

## 〈不動産業〉 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測



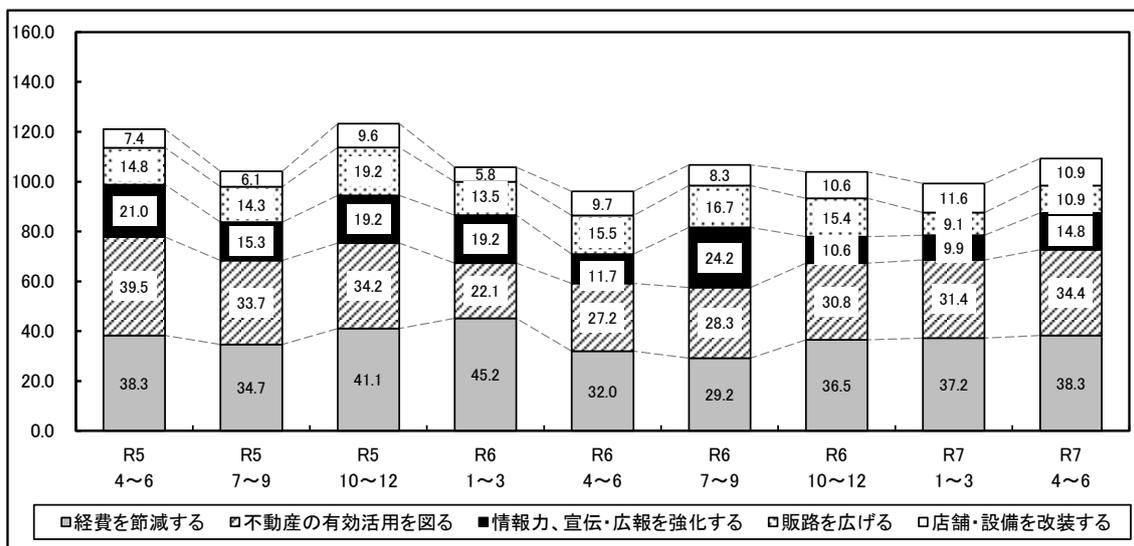
## 〈不動産業〉 経営上の問題点 (%)



	R6.7~9月期		R6.10~12月期		R7.1~3月期		R7.4~6月期	
第1位	売上の停滞・減少	23.5 %	利幅の縮小	22.5 %	売上の停滞・減少	26.1 %	売上の停滞・減少	28.3 %
第2位	同業者間の競争の激化	21.8 %	売上の停滞・減少 原材料価格・材料価格の上昇	21.6 %	利幅の縮小	22.7 %	同業者間の競争の激化 利幅の縮小 人件費以外の経費増加	19.7 %
第3位	利幅の縮小	19.3 %	人件費以外の経費増加	17.1 %	原材料価格・材料価格の上昇	21.8 %	原材料価格・材料価格の上昇	18.1 %
第4位	原材料価格・材料価格の上昇	16.0 %	同業者間の競争の激化	14.4 %	人件費以外の経費増加	21.0 %	販売商品の不足	6.3 %
第5位	人件費以外の経費増加	13.4 %	仕入先からの値上げ要請 工場・店舗の狭小・老朽化	7.2 %	同業者間の競争の激化	20.2 %	工場・店舗の狭小・老朽化	5.5 %

※今期1位の項目に従業員別にみると「5人未満」が28.6%で最も多かった。

## 〈不動産業〉 重点経営施策 (%)



	R6.7~9月期		R6.10~12月期		R7.1~3月期		R7.4~6月期	
第1位	経費を節減する	29.2 %	経費を節減する	36.5 %	経費を節減する	37.2 %	経費を節減する	38.3 %
第2位	不動産の有効活用を図る	28.3 %	不動産の有効活用を図る	30.8 %	不動産の有効活用を図る	31.4 %	不動産の有効活用を図る	34.4 %
第3位	情報力・宣伝・広報を強化する	24.2 %	販路を広げる	15.4 %	店舗・設備を改装する	11.6 %	情報力・宣伝・広報を強化する	14.8 %
第4位	販路を広げる	16.7 %	情報力・宣伝・広報を強化する 店舗・設備を改装する	10.6 %	情報力・宣伝・広報を強化する 仕入先・提携先を開拓・選別する	9.9 %	販路を広げる 店舗・設備を改装する	10.9 %
第5位	仕入先・提携先を開拓・選別する	10.0 %	仕入先・提携先を開拓・選別する	9.6 %	販路を広げる 新しい事業を始める	9.1 %	仕入先・提携先を開拓・選別する	8.6 %

※今期1位の項目に従業員別にみると「5人未満」が39.2%で最も多かった。

# 不動産業 業種別コメント

## <仕入れ・価格について>

1. 外壁修繕工事等、材料価格が高くなり、人件費も高くなっているため、経費がかかる
2. 物価の上昇によって経費そのものが上昇してしまい利潤が減少してしまう
3. 利幅の縮小のため利益が減少。仕入れが高騰のため
4. 所有物件の修繕等に係わる建設資材費の値上げ、及び依頼先の人手不足により、修繕費高騰や工期遅延等が発生している
5. 光熱費を始め、原価コストの価格転換の推進
6. リフォーム、仕入れ時の価格の上昇が厳しい
7. 現状は大きな変化はないが、今後物価高での設備修繕費高騰や金利上昇などの不安要素はある
8. 光熱費の高騰がとても大きく影響している
9. 仕入れに値する物件の減少。同業者間の競争の激化
10. 設備の更新の費用が年々増している。賃貸料上げづらい
11. 仕入価格が上昇し過ぎて、売れ残るリスクを考えると積極的に仕入れができない
22. 状況：不動産貸付業を営んでいる。金利上昇局面の中、物件価格も高止まっており並一通りにやっていたのでは収益性が圧迫され事業の成長スピードが鈍化してしまう。要因：建築コスト、メンテナンスコストなどの費用が値上がっている一方、家賃は価格の粘着性が高いという特性があるため十分に値上げに踏み切れていない。インフレの利得が一般消費者にまで一巡するまでは様子を見ながら小幅の家賃改定で対処していく必要有り。外国資本の流入による中古価格の高騰：世界的にはまだ割安感のある日本不動産を求める外国需要が首都圏の価格にプレミアムを与えている
23. 経営は非常に厳しい。増加する物価高に対し、収入は減少傾向。近隣との相場から家賃収入をなかなか上げられず、それでいて取引先からは賃料値下げを要求されている
24. 金融機関から融資を受けられず、新しい賃貸不動産を購入できていないので、売上げは変化なし

## <受注・業況について>

12. (1) 新築礼讃の風潮が根強いいため、築年数が古い場合、そもそも敬遠される。(2) 賃料を無理して下げると、設備維持が難しくなる。賃料を上げるには、物価上昇を理由に上げることができず、何らかの付加価値を求められるので、簡単に上げることができない
13. 大企業の進出により売上げは減少傾向である
14. 販売価格が若干上昇したものの売上高は横ばい。建物のリフォームが必要となり、(築20年以上) 利益を圧迫している
15. 管理物件の経年による設備や仕様が老朽化し、費用が増加、収益が減少している
16. 競合が少なくなり、結果、需要増。その結果、増収、増益基調
17. 需要は横ばい、経費増大、利益減少
18. このところ契約更新時に賃料を上げる事ができる環境になった
19. 設備の老朽化が需要の減少につながっている
20. 受注する仕事内容を精査して効率を上げて、受注先の満足度を意識しないと、将来の仕事量に影響がでるかと考えている
21. アパート経営をしているが老朽化の為、修理代の上昇で利益を圧迫している

## <人材について>

25. 人材不足
26. 後継者がいないことで困っている

## <その他>

27. これからの人口減少や不況、それらに伴って不動産ミニバブル崩壊による市場の混乱、そして天変地異等、不確定要素が多発する中で、それらに備える為、現金の内部留保を進める
28. 賃貸物件の家賃は上がらないが、返済金利は上がっている
29. 全般に物価が上昇しているので今後どうなるかわからない
30. 街のお豆腐屋さんの減少が顕著
31. 今後の金利上昇が不安
32. 同業者の増加
33. 所有資産の入れ替えで、資金繰りが楽になったが、納税を迎えるにあたり、資金繰りが課題となる
34. 現状維持に努める
35. 特に変化がない
36. 賃貸物件について防災や緑他の環境を整え、皆様の住みやすい環境作りに取り組みたい

# 日銀短観

## [調査対象企業数]

調査対象企業数 (2025年6月調査)

	製造業	非製造業	合計	回答率
全国企業	3,713社	5,198社	8,911社	99.2%
うち大企業	913社	807社	1,720社	99.2%
中堅企業	1,039社	1,511社	2,550社	99.2%
中小企業	1,761社	2,880社	4,641社	99.2%

(参考) 事業計画の前提となっている想定為替レート(全規模・全産業)

	2024年度	2025年度	
		上期	下期
円/ドル	2025年3月調査	147.94	147.72
	2025年6月調査	148.44	148.57
円/ユーロ	2025年3月調査	159.43	157.57
	2025年6月調査	160.18	157.89

## [売上高・収益計画]

(前年度比・%)

		2024年度		2025年度(計画)	
		修正率	修正率	修正率	修正率
大企業	製造業	3.0	0.2	1.6	0.8
	国内	2.3	0.2	2.2	1.1
	輸出	4.4	0.2	0.6	0.1
	非製造業	3.9	0.3	1.9	1.4
	全産業	3.5	0.3	1.8	1.1
中堅企業	製造業	3.5	0.0	1.3	-0.3
	非製造業	4.2	0.1	2.6	1.2
	全産業	4.0	0.1	2.2	0.8
中小企業	製造業	3.8	0.8	0.5	0.6
	非製造業	4.0	1.2	-0.3	0.9
	全産業	4.0	1.1	-0.1	0.9
全規模合計	製造業	3.3	0.3	1.4	0.5
	非製造業	4.0	0.5	1.4	1.2
	全産業	3.8	0.5	1.4	1.0

(注) 修正率・幅は、前回調査との対比

## [業況判断]

(「良い」-「悪い」・%ポイント)

	2025年3月調査		2025年6月調査			
	最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
<b>大企業</b>						
製造業	12	12	13	1	12	-1
非製造業	35	28	34	-1	27	-7
全産業	23	20	23	0	20	-3
<b>中堅企業</b>						
製造業	11	4	10	-1	6	-4
非製造業	25	18	25	0	17	-8
全産業	19	12	19	0	12	-7
<b>中小企業</b>						
製造業	2	-1	1	-1	-2	-3
非製造業	16	9	15	-1	9	-6
全産業	10	5	10	0	5	-5
<b>全規模合計</b>						
製造業	7	4	7	0	4	-3
非製造業	21	15	21	0	15	-6
全産業	15	10	15	0	9	-6

## [需給・在庫・価格判断]

(%ポイント)

		2025年3月調査		2025年6月調査			
		最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
国内での製商品・サービス需給判断 (「需要超過」-「供給超過」)	製造業	-19	-19	-18	1	-19	-1
	うち素材業種	-22	-23	-21	1	-23	-2
	加工業種	-17	-17	-16	1	-16	0
	非製造業	-8	-9	-9	-1	-10	-1
海外での製商品需給判断 (「需要超過」-「供給超過」)	製造業	-16	-16	-16	0	-16	0
	うち素材業種	-23	-23	-23	0	-25	-2
	加工業種	-12	-11	-12	0	-11	1
製商品在庫水準判断 (「過大」-「不足」)	製造業	13		14	1		
	うち素材業種	14		16	2		
	加工業種	13		12	-1		
製商品流通在庫水準判断 (「過大」-「不足」)	製造業	16		14	-2		
	うち素材業種	19		18	-1		
	加工業種	14		13	-1		
販売価格判断 (「上昇」-「下落」)	製造業	27	37	27	0	31	4
	うち素材業種	25	36	25	0	29	4
	加工業種	28	39	29	1	33	4
	非製造業	30	37	30	0	33	3
仕入価格判断 (「上昇」-「下落」)	製造業	57	62	54	-3	56	2
	うち素材業種	50	57	45	-5	49	4
	加工業種	62	66	61	-1	61	0
	非製造業	57	61	54	-3	56	2

# 東京都・葛飾区の企業倒産動向

出典：(株) 東京商工リサーチ

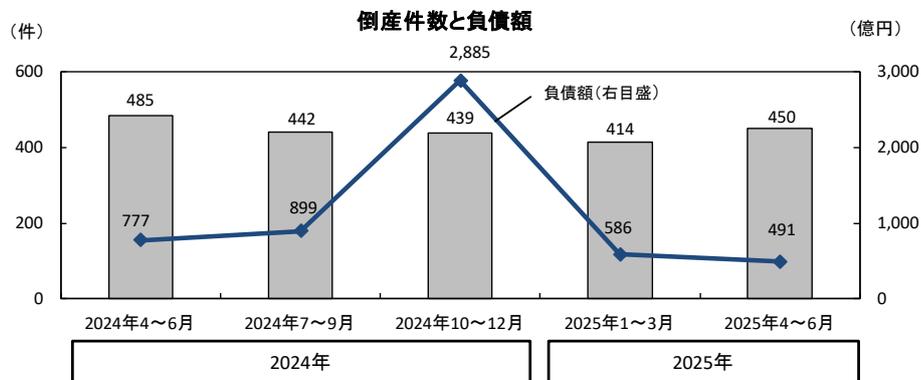
## 「東京都」の企業倒産動向について（2025年4～6月）

### 1. 概況

東京都内の企業倒産は、件数が450件、負債額は491億600万円となった。件数は前期比8.7%増、前年同期比7.2%減となった。負債額は前期比16.3%減、前年同期比36.9%減となった。

※集計対象は、負債額1,000万円以上の倒産

	前年同期	前期	当期		
	2024年4～6月	2025年1～3月	2025年4～6月	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
件数(単位:件)	485	414	450	8.7%	-7.2%
負債額(単位:百万円)	77,767	58,682	49,106	-16.3%	-36.9%



### 2. 業種別の倒産動向

件数 (単位:件)	前年同期	前期	当期		
	2024年4～6月	2025年1～3月	2025年4～6月	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
製造業	22	19	34	78.9%	54.5%
卸売業	94	66	64	-3.0%	-31.9%
小売業	43	32	36	12.5%	-16.3%
サービス業	118	90	122	35.6%	3.4%
建設業	54	45	56	24.4%	3.7%
不動産業	19	22	22	0.0%	15.8%
情報通信業・運輸業	71	71	58	-18.3%	-18.3%
宿泊業・飲食サービス業	37	44	36	-18.2%	-2.7%
その他	27	25	22	-12.0%	-18.5%
合計	485	414	450	8.7%	-7.2%

負債額 (単位:百万円)	前年同期	前期	当期		
	2024年4～6月	2025年1～3月	2025年4～6月	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
製造業	7,387	10,443	5,487	-47.5%	-25.7%
卸売業	9,951	14,222	15,972	12.3%	60.5%
小売業	11,545	2,142	2,217	3.5%	-80.8%
サービス業	12,611	11,669	6,672	-42.8%	-47.1%
建設業	6,052	4,514	3,879	-14.1%	-35.9%
不動産業	2,861	3,006	7,242	140.9%	153.1%
情報通信業・運輸業	10,113	4,998	2,721	-45.6%	-73.1%
宿泊業・飲食サービス業	4,347	2,158	1,303	-39.6%	-70.0%
その他	12,900	5,530	3,613	-34.7%	-72.0%
合計	77,767	58,682	49,106	-16.3%	-36.9%

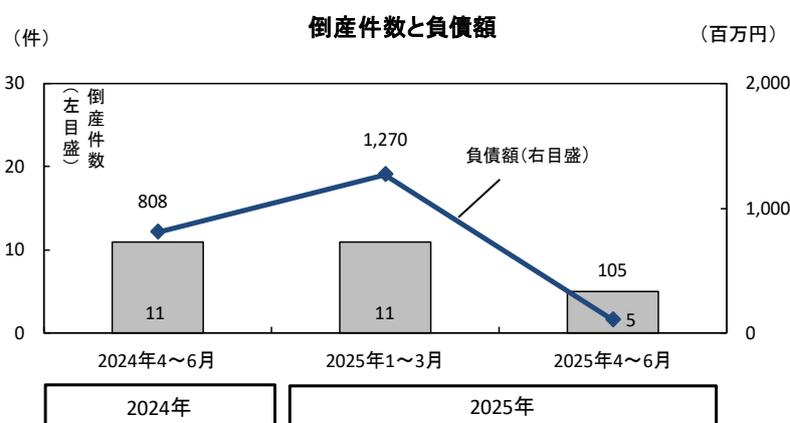
# 「葛飾区」の企業倒産動向について（2025年4～6月）

## 1. 概況

葛飾区内の企業倒産は、件数が5件、負債額は1億500万円となった。件数は前期比54.5%減、前年同期比54.5%減となった。負債額は前期比91.7%減、前年同期比87.0%減となった。業種別の件数では、情報通信業・運輸業が2件と前年同期と比べて増加した。

※集計対象は、負債額1,000万円以上の倒産

	前年同期	前期	当期		
	2024年4～6月	2025年1～3月	2025年4～6月	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
件数(単位:件)	11	11	5	-54.5%	-54.5%
負債額(単位:百万円)	808	1,270	105	-91.7%	-87.0%



## 2. 業種別の倒産動向

件数 (単位:件)	前年同期	前期	当期		
	2024年4～6月	2025年1～3月	2025年4～6月	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
製造業	1	2	0	-100.0%	-100.0%
卸売業	2	0	0	-	-100.0%
小売業	1	1	0	-100.0%	-100.0%
サービス業	1	4	1	-75.0%	0.0%
建設業	3	1	1	0.0%	-66.7%
不動産業	1	0	0	-	-100.0%
情報通信業・運輸業	0	0	2	-	-
宿泊業,飲食サービス業	2	1	1	0.0%	-50.0%
その他	0	2	0	-100.0%	-
合計	11	11	5	-54.5%	-54.5%
負債額 (単位:百万円)	前年同期	前期	当期		
	2024年4～6月	2025年1～3月	2025年4～6月	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
製造業	20	822	0	-100.0%	-100.0%
卸売業	190	0	0	-	-100.0%
小売業	20	10	0	-100.0%	-100.0%
サービス業	55	170	10	-94.1%	-81.8%
建設業	453	52	25	-51.9%	-94.5%
不動産業	10	0	0	-	-100.0%
情報通信業・運輸業	0	0	40	-	-
宿泊業,飲食サービス業	60	130	30	-76.9%	-50.0%
その他	0	86	0	-100.0%	-
合計	808	1,270	105	-91.7%	-87.0%

### 3. 地域別の倒産動向

件数 (単位:件)	前年同期	前期	当期		
	2024年4~6月	2025年1~3月	2025年4~6月	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
青戸	0	0	0	-	-
奥戸	1	0	0	-	-100.0%
お花茶屋	1	1	0	-100.0%	-100.0%
金町	1	0	0	-	-100.0%
鎌倉	0	0	0	-	-
亀有	1	0	1	-	0.0%
小菅	0	0	0	-	-
柴又	0	1	0	-100.0%	-
白鳥	0	0	0	-	-
新小岩	1	1	0	-100.0%	-100.0%
高砂	2	0	0	-	-100.0%
宝町	0	1	0	-100.0%	-
立石	0	0	0	-	-
新宿	0	1	0	-100.0%	-
西亀有	0	0	0	-	-
西新小岩	0	1	0	-100.0%	-
西水元	0	0	0	-	-
東金町	1	2	1	-50.0%	0.0%
東新小岩	2	1	0	-100.0%	-100.0%
東立石	0	0	0	-	-
東堀切	0	0	0	-	-
東水元	0	0	1	-	-
東四つ木	0	0	0	-	-
細田	0	0	0	-	-
堀切	0	0	2	-	-
水元	0	1	0	-100.0%	-
南水元	0	0	0	-	-
四つ木	1	1	0	-100.0%	-100.0%
合計	11	11	5	-54.5%	-54.5%
負債額 (単位:百万円)	前年同期	前期	当期		
	2024年4~6月	2025年1~3月	2025年4~6月	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
青戸	0	0	0	-	-
奥戸	346	0	0	-	-100.0%
お花茶屋	55	52	0	-100.0%	-100.0%
金町	20	0	0	-	-100.0%
鎌倉	0	0	0	-	-
亀有	40	0	10	-	-75.0%
小菅	0	0	0	-	-
柴又	0	10	0	-100.0%	-
白鳥	0	0	0	-	-
新小岩	10	120	0	-100.0%	-100.0%
高砂	107	0	0	-	-100.0%
宝町	0	46	0	-100.0%	-
立石	0	0	0	-	-
新宿	0	20	0	-100.0%	-
西亀有	0	0	0	-	-
西新小岩	0	249	0	-100.0%	-
西水元	0	0	0	-	-
東金町	90	170	30	-82.4%	-66.7%
東新小岩	120	573	0	-100.0%	-100.0%
東立石	0	0	0	-	-
東堀切	0	0	0	-	-
東水元	0	0	10	-	-
東四つ木	0	0	0	-	-
細田	0	0	0	-	-
堀切	0	0	55	-	-
水元	0	20	0	-100.0%	-
南水元	0	0	0	-	-
四つ木	20	10	0	-100.0%	-100.0%
合計	808	1,270	105	-91.7%	-87.0%

# 東京都・葛飾区の新設法人

出典：(株) 東京商工リサーチ

※新設法人数はデータ収集の関係により 1 四半期前の情報を掲載

## 「東京都」の新設法人について（2025年1～3月）

### 1. 概況

2025年1～3月の東京都内の新設法人数は11,707件で、前期比0.5%増、前年同期比0.8%増となった。業種別では、サービス業で前期比・前年同期比ともに増となった。

### 2. 業種別新設法人数

件数 (単位:件数)	前年同期	前期	当期		
	2024年1～3月	2024年10～12月	2025年1～3月	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
製造業	625	629	593	-5.7%	-5.1%
卸売業	578	578	525	-9.2%	-9.2%
小売業	798	839	830	-1.1%	4.0%
サービス業	3,832	3,891	3,968	2.0%	3.5%
建設業	425	412	409	-0.7%	-3.8%
不動産業	1,106	1,329	1,230	-7.4%	11.2%
情報通信業・運輸業	2,041	1,820	1,923	5.7%	-5.8%
宿泊業・飲食サービス業	763	820	783	-4.5%	2.6%
その他	1,445	1,335	1,446	8.3%	0.1%
合計	11,613	11,653	11,707	0.5%	0.8%

## 「葛飾区」の新設法人について（2025年1～3月）

### 1. 概況

2025年1～3月の葛飾区内の新設法人数は166件で前期比0.6%増、前年同期比9.9%増となった。業種別では、不動産業が前期比・前年同期比ともに増となった。地域別では、奥戸、小菅、白鳥、新小岩、宝町、西水元、東水元、東四つ木、細田、堀切で前期比・前年同期比ともに増となった。

### 2. 業種別新設法人数

件数 (単位:件)	前年同期	前期	当期		
	2024年1～3月	2024年10～12月	2025年1～3月	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
製造業	9	13	7	-46.2%	-22.2%
卸売業	14	20	14	-30.0%	0.0%
小売業	16	22	20	-9.1%	25.0%
サービス業	33	47	38	-19.1%	15.2%
建設業	16	16	16	0.0%	0.0%
不動産業	13	11	23	109.1%	76.9%
情報通信業・運輸業	24	10	21	110.0%	-12.5%
宿泊業・飲食サービス業	13	13	12	-7.7%	-7.7%
その他	13	13	15	15.4%	15.4%
合計	151	165	166	0.6%	9.9%

### 3. 地域別新設法人数

件数 (単位:件)	前年同期 2024年1~3月	前期 2024年10~12月	当期 2025年1~3月	前期比(伸び率・%)	
				前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
青戸	4	12	8	-33.3%	100.0%
奥戸	3	5	6	20.0%	100.0%
お花茶屋	1	4	4	0.0%	300.0%
金町	6	8	5	-37.5%	-16.7%
鎌倉	2	4	3	-25.0%	50.0%
亀有	11	9	7	-22.2%	-36.4%
小菅	5	2	6	200.0%	20.0%
柴又	5	15	7	-53.3%	40.0%
白鳥	3	1	5	400.0%	66.7%
新小岩	12	13	15	15.4%	25.0%
高砂	7	4	3	-25.0%	-57.1%
宝町	2	1	4	300.0%	100.0%
立石	6	7	7	0.0%	16.7%
新宿	6	8	3	-62.5%	-50.0%
西亀有	6	5	6	20.0%	0.0%
西新小岩	9	6	7	16.7%	-22.2%
西水元	2	0	5	-	150.0%
東金町	18	14	14	0.0%	-22.2%
東新小岩	16	8	11	37.5%	-31.3%
東立石	6	2	3	50.0%	-50.0%
東堀切	4	3	3	0.0%	-25.0%
東水元	0	1	2	100.0%	-
東四つ木	2	4	6	50.0%	200.0%
細田	1	2	4	100.0%	300.0%
堀切	6	8	12	50.0%	100.0%
水元	4	8	7	-12.5%	75.0%
南水元	2	3	0	-100.0%	-100.0%
四つ木	2	8	3	-62.5%	50.0%
合計	151	165	166	0.6%	9.9%

### 4. 代表者性別新設法人数

件数 (単位:件)	前年同期 2024年1~3月	前期 2024年10~12月	当期 2025年1~3月	前期比(伸び率・%)	
				前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
男性	127	138	135	-2.2%	6.3%
女性	24	27	31	14.8%	29.2%
法人	0	0	0	-	-
不明	0	0	0	-	-
合計	151	165	166	0.6%	9.9%

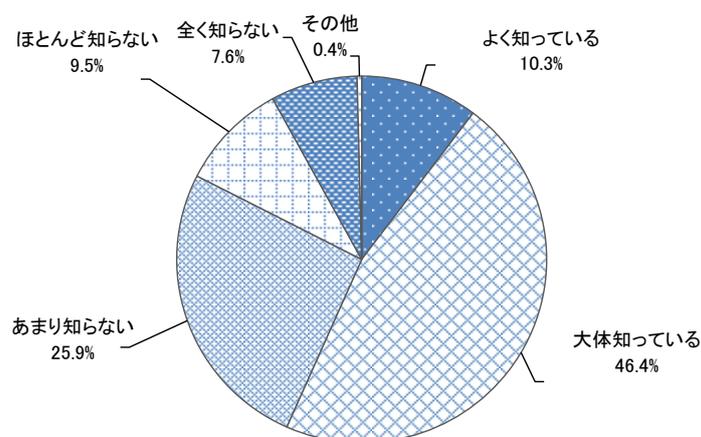
## 特別調査「SDGsに向けた取組等について」

- ① SDGsの認知状況については、「大体知っている」が46.4%で最多。
- ② SDGsの取組状況については、「取り組む予定はない」が45.2%で最多。
- ③ SDGsの17のゴールのどれに関する取組かについては、「地球（ゴール12～15：持続可能な消費と生産、気候変動、海洋、陸地）」が53.4%で最多。
- ④ SDGsに向けた取組の効果については、全体では「特に効果は感じていない」が47.6%で最多。
- ⑤ SDGsに向けた取組をしない理由については、「新しいことに取り組む余裕がない」が49.6%で最多。
- ⑥ 米国の関税政策への影響については、「わからない、特に影響は感じていない」が52.2%で最多。

### 問1. SDGsの認知状況についてお答えください（〇は1つのみ）

SDGsの認知状況については、全体では「大体知っている」が46.4%で最も高く、次いで「あまり知らない」が25.9%、「よく知っている」が10.3%となった。

業種別にみると、全ての業種で「大体知っている」が最も高く、製造業、サービス業では5割を超えている。

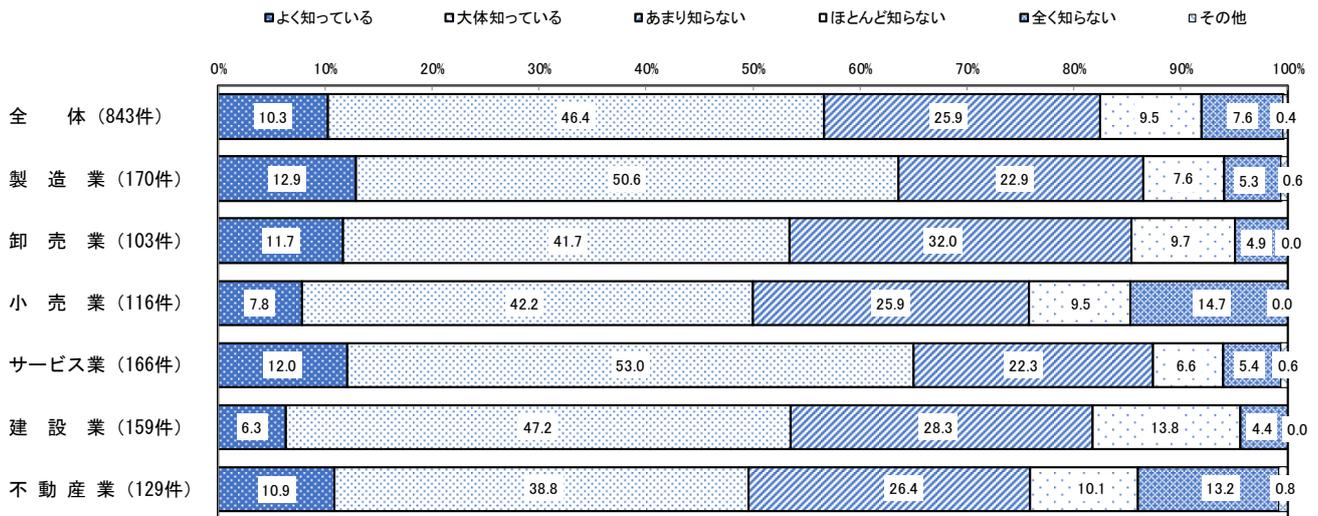


n=843

#### 【その他の意見】

- 当社のような弱小企業ではなかなか??である(製造業)
- 取り組む必要性を感じない(サービス業)

【業種別】

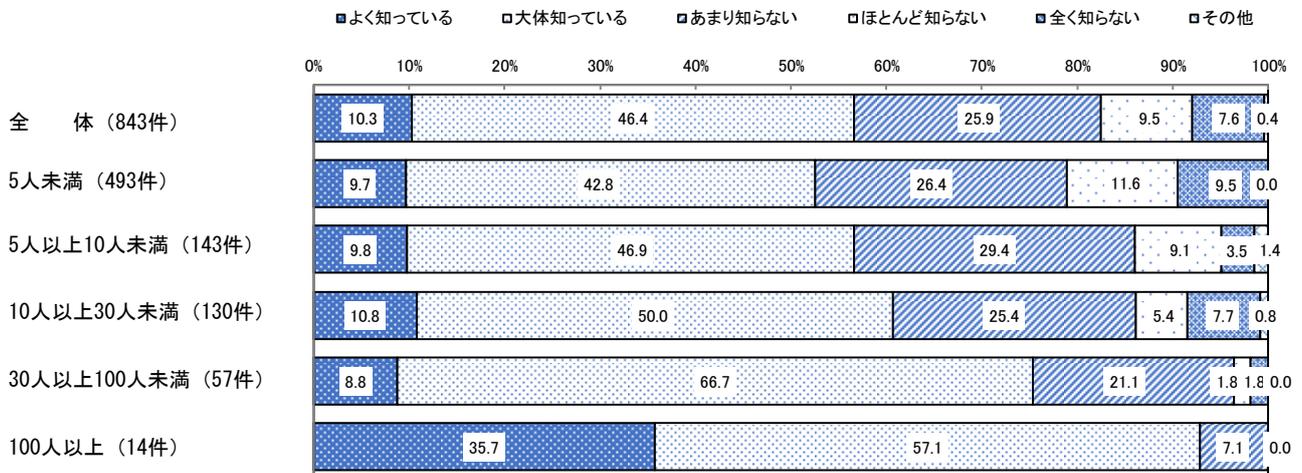


【従業員規模別】

SDGsの認知状況

(上段: 件、下段: %)

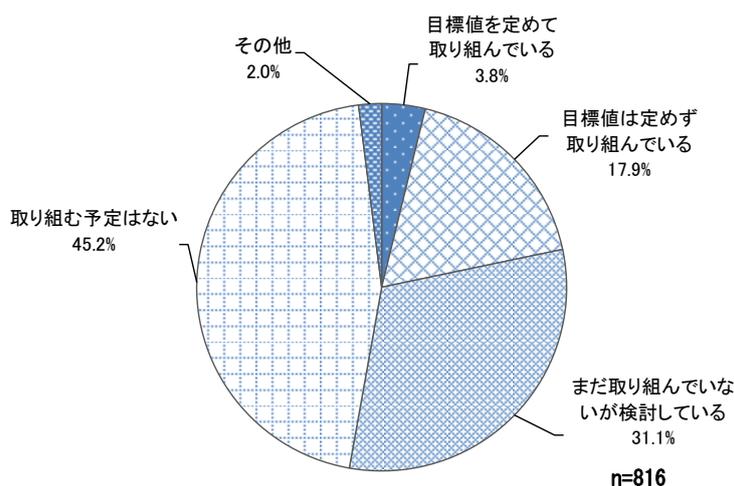
		全体	よく知っている	大体知っている	あまり知らない	ほとんど知らない	全く知らない	その他
全体		843	87	391	218	80	64	3
		100.0	10.3	46.4	25.9	9.5	7.6	0.4
従業員数	5人未満	493	48	211	130	57	47	0
		100.0	9.7	42.8	26.4	11.6	9.5	0.0
	5人以上10人未満	143	14	67	42	13	5	2
		100.0	9.8	46.9	29.4	9.1	3.5	1.4
	10人以上30人未満	130	14	65	33	7	10	1
		100.0	10.8	50.0	25.4	5.4	7.7	0.8
30人以上100人未満	57	5	38	12	1	1	0	
	100.0	8.8	66.7	21.1	1.8	1.8	0.0	
100人以上	14	5	8	1	0	0	0	
	100.0	35.7	57.1	7.1	0.0	0.0	0.0	



## 問2. SDGsの取組状況についてお答えください（〇は1つのみ）

SDGsの取組状況について、全体では「取り組む予定はない」が45.2%で最も高く、次いで「まだ取り組んでいないが検討している」が31.1%、「目標値は定めず取り組んでいる」が17.9%となった。

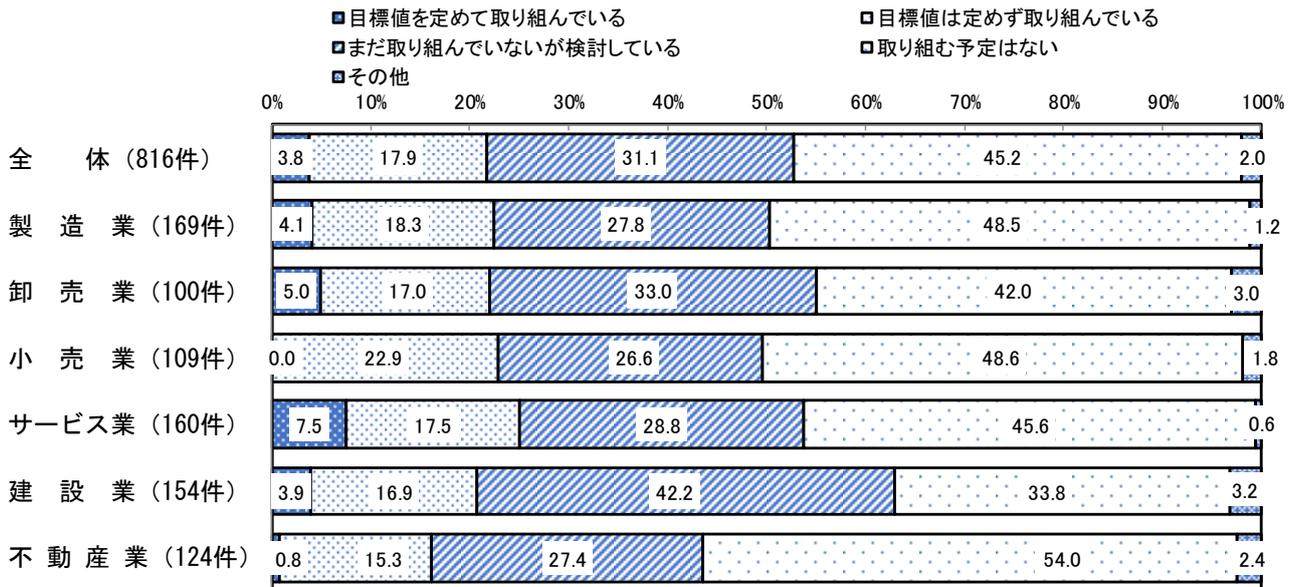
業種別にみると、建設業以外の業種で「取り組む予定はない」が最も高く、不動産業では5割を超えている。建設業では「まだ取り組んでいないが検討している」が最も高くなっている。



### 【その他の意見】

- 検討したい(製造業)
- 取り組む必要があるのか疑わしい。アメリカは無視しているという話もある(製造業)
- わからない(卸売業)
- 金属スクラップ自体がSDGsと思っている(卸売業)
- 取り組む余裕が全くない(卸売業)
- SDGs全く知りません(小売業)
- どんなものかわからない(小売業)
- よくわかりません(サービス業)
- SDGsがわからない(建設業)
- 意味が分かりません(建設業)
- 分からないので、選べない(建設業)
- 知らないので何も出来ません(建設業)
- 取組の方法がよくわからない(不動産業)

【業種別】

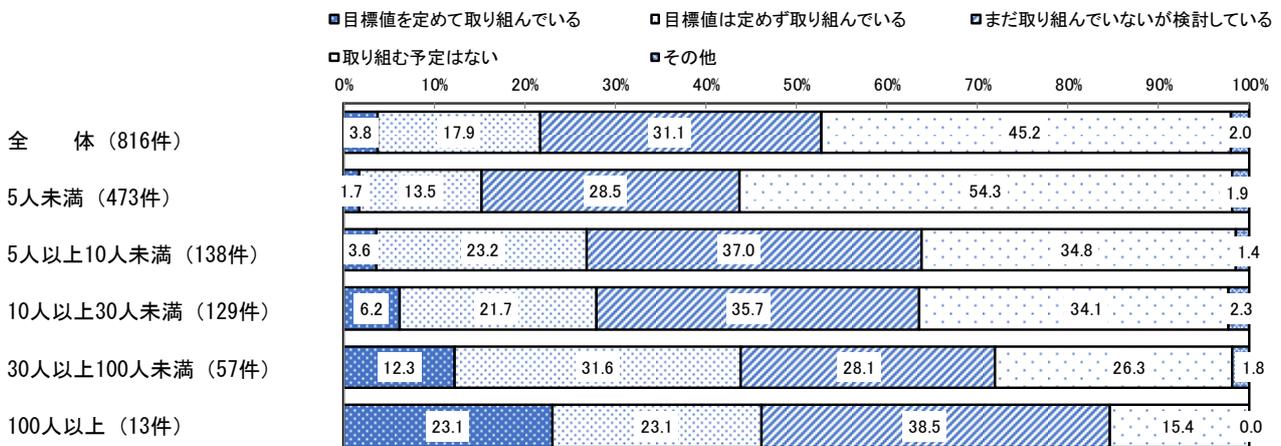


【従業員規模別】

SDGsの取組状況

(上段:件、下段:%)

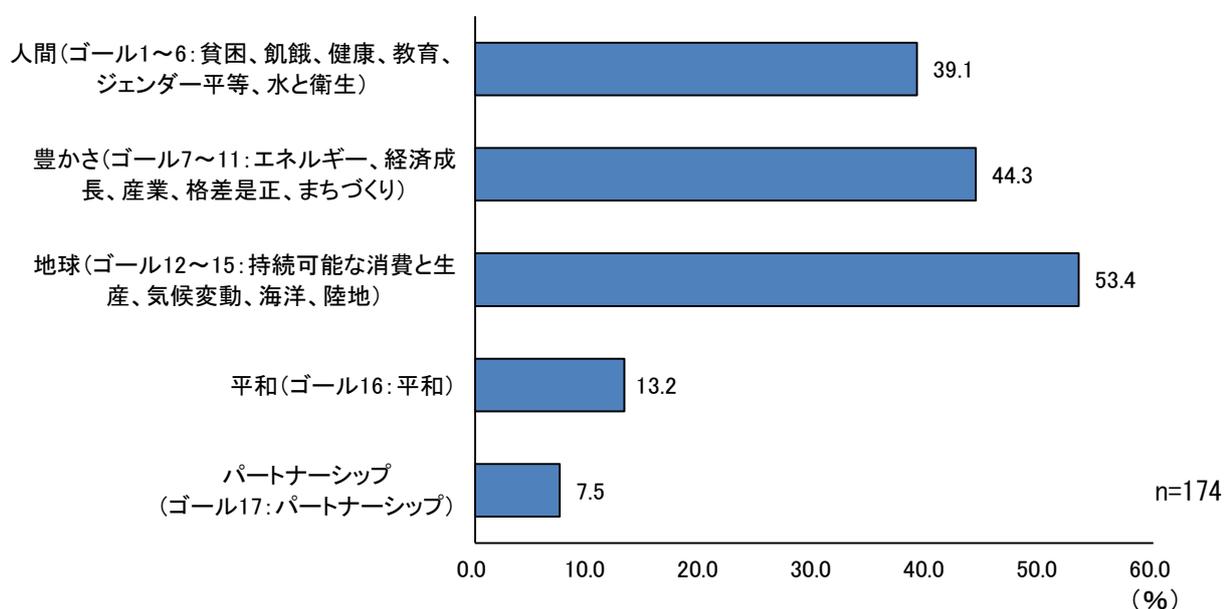
		全体	目標値を定めて取り組んでいる	目標値は定めず取り組んでいる	まだ取り組んでいないが検討している	取り組み予定はない	その他
全体		816	31	146	254	369	16
		100.0	3.8	17.9	31.1	45.2	2.0
従業員数	5人未満	473	8	64	135	257	9
		100.0	1.7	13.5	28.5	54.3	1.9
	5人以上10人未満	138	5	32	51	48	2
		100.0	3.6	23.2	37.0	34.8	1.4
	10人以上30人未満	129	8	28	46	44	3
	100.0	6.2	21.7	35.7	34.1	2.3	
30人以上100人未満	57	7	18	16	15	1	
	100.0	12.3	31.6	28.1	26.3	1.8	
100人以上	13	3	3	5	2	0	
	100.0	23.1	23.1	38.5	15.4	0.0	



### 問3-1. SDGsの17のゴールのどれに関する取組ですか（〇はいくつでも）

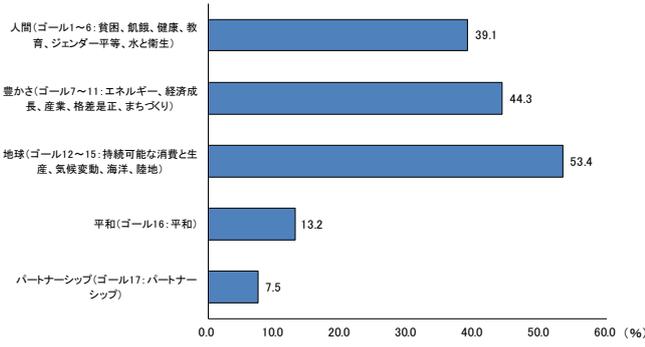
SDGsの17のゴールのどれに関する取組かについては、全体では「地球（ゴール12～15：持続可能な消費と生産、気候変動、海洋、陸地）」が53.4%と最も高く、次いで「豊かさ（ゴール7～11：エネルギー、経済成長、産業、格差是正、まちづくり）」が44.3%、「人間（ゴール1～6：貧困、飢餓、健康、教育、ジェンダー平等、水と衛生）」が39.1%となった。

業種別にみると、卸売業以外の業種で「地球（ゴール12～15：持続可能な消費と生産、気候変動、海洋、陸地）」が最も高く、卸売業では「豊かさ（ゴール7～11：エネルギー、経済成長、産業、格差是正、まちづくり）」が最も高くなっている。

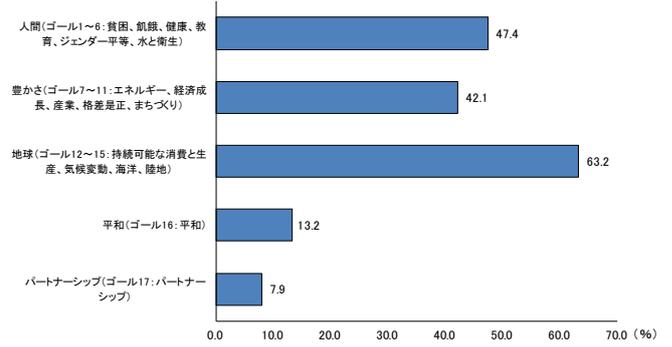


# 【業種別】

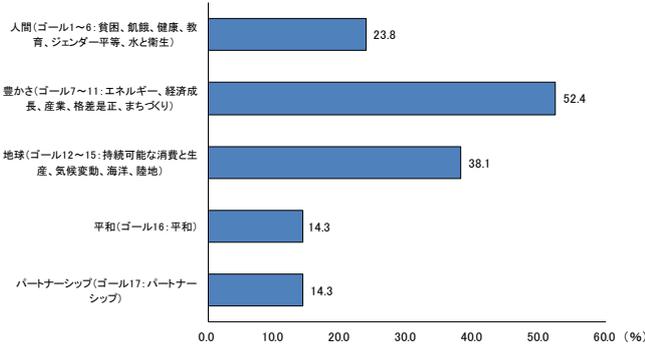
全 体(174件)



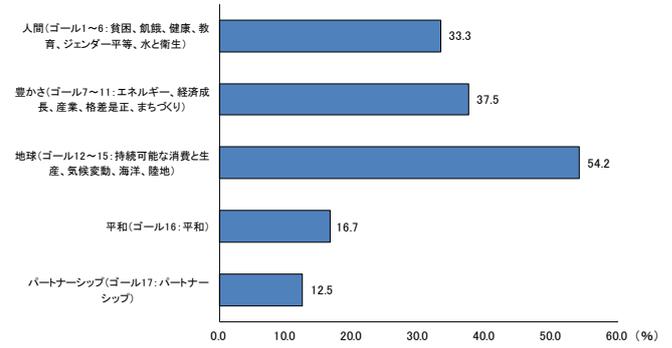
製 造 業(38件)



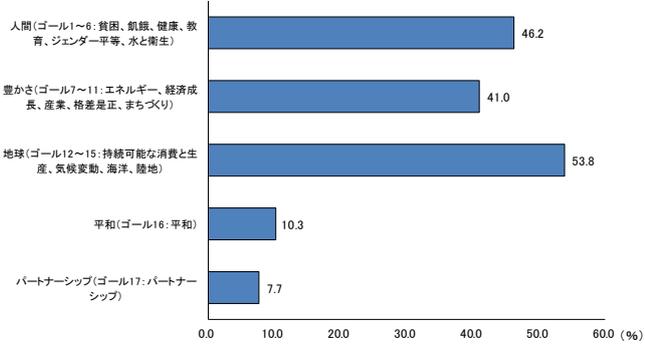
卸 売 業(21件)



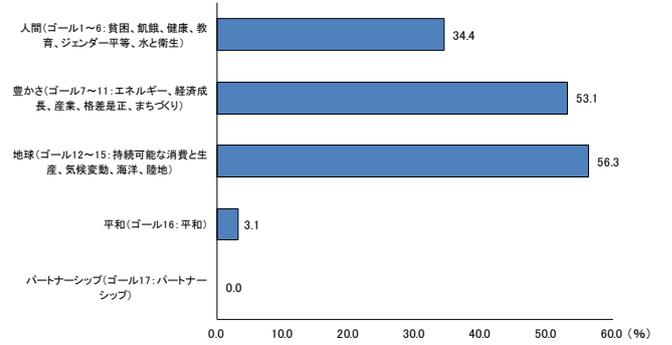
小 売 業(24件)



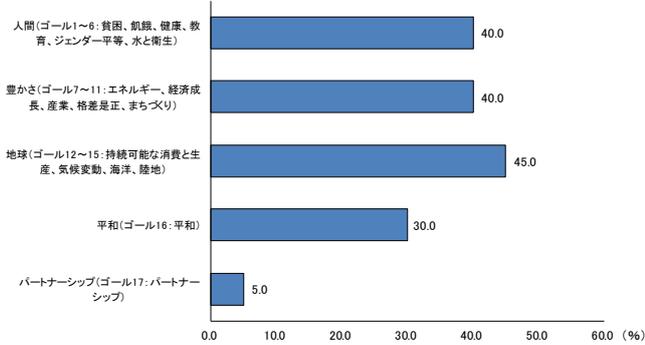
サービスマ(39件)



建 設 業(32件)



不 動 産 業(20件)



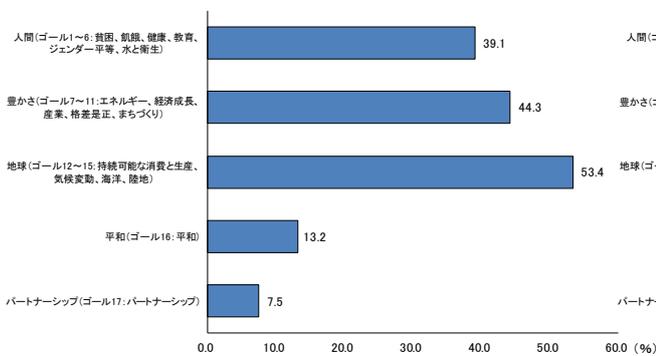
【従業員規模別】

SDGsの17のゴールへの取組

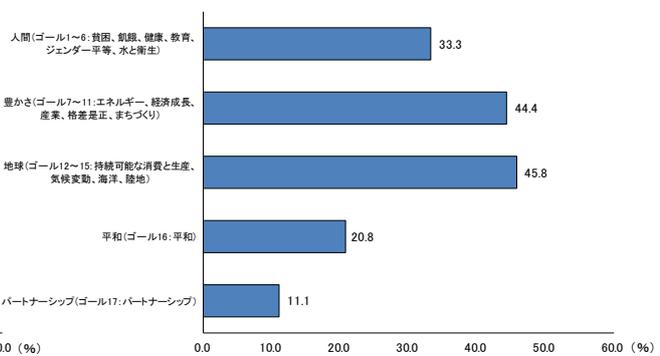
(上段:件、下段:%)

		全体	人間(ゴール1~6:貧困、飢餓、健康、教育、ジェンダー平等、水と衛生)	豊かさ(ゴール7~11:エネルギー、経済成長、産業、格差是正、まちづくり)	地球(ゴール12~15:持続可能な消費と生産、気候変動、海洋、陸地)	平和(ゴール16:平和)	パートナーシップ(ゴール17:パートナーシップ)
全体		174 100.0	68 39.1	77 44.3	93 53.4	23 13.2	13 7.5
従業員数	5人未満	72 100.0	24 33.3	32 44.4	33 45.8	15 20.8	8 11.1
	5人以上10人未満	35 100.0	14 40.0	14 40.0	21 60.0	4 11.4	1 2.9
	10人以上30人未満	35 100.0	16 45.7	14 40.0	19 54.3	2 5.7	2 5.7
	30人以上100人未満	25 100.0	10 40.0	13 52.0	15 60.0	1 4.0	1 4.0
	100人以上	6 100.0	4 66.7	3 50.0	5 83.3	1 16.7	1 16.7

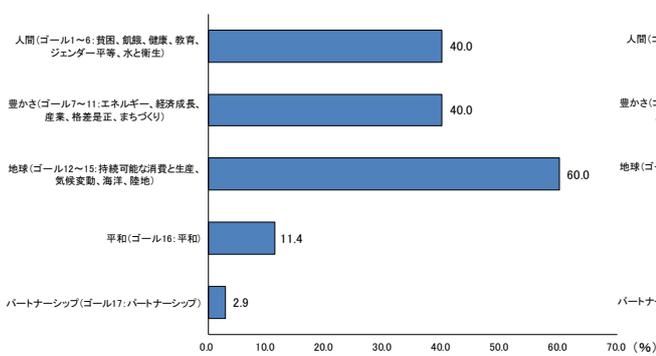
全体(174件)



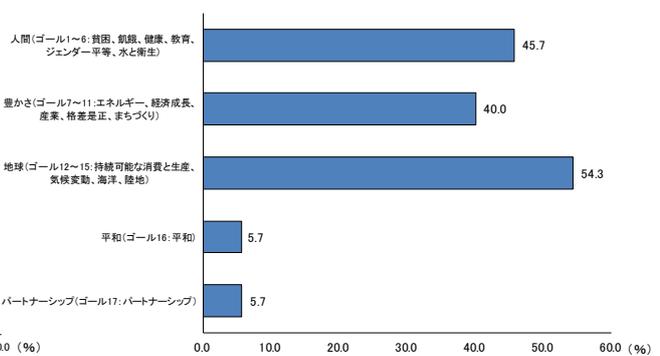
5人未満(72件)



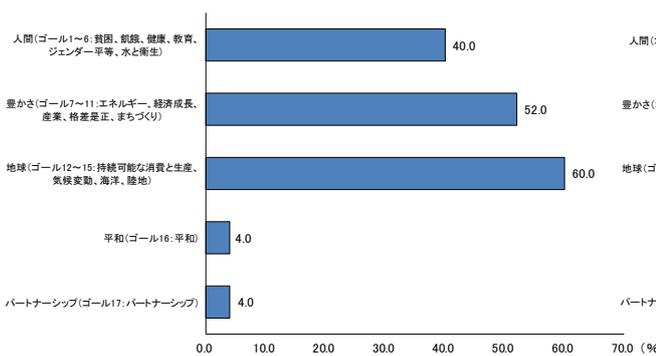
5人以上10人未満(35件)



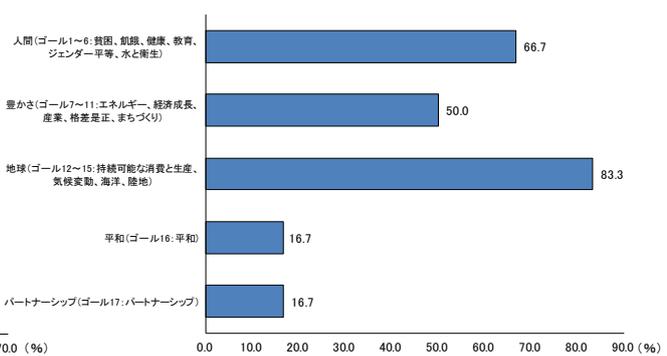
10人以上30人未満(35件)



30人以上100人未満(25件)



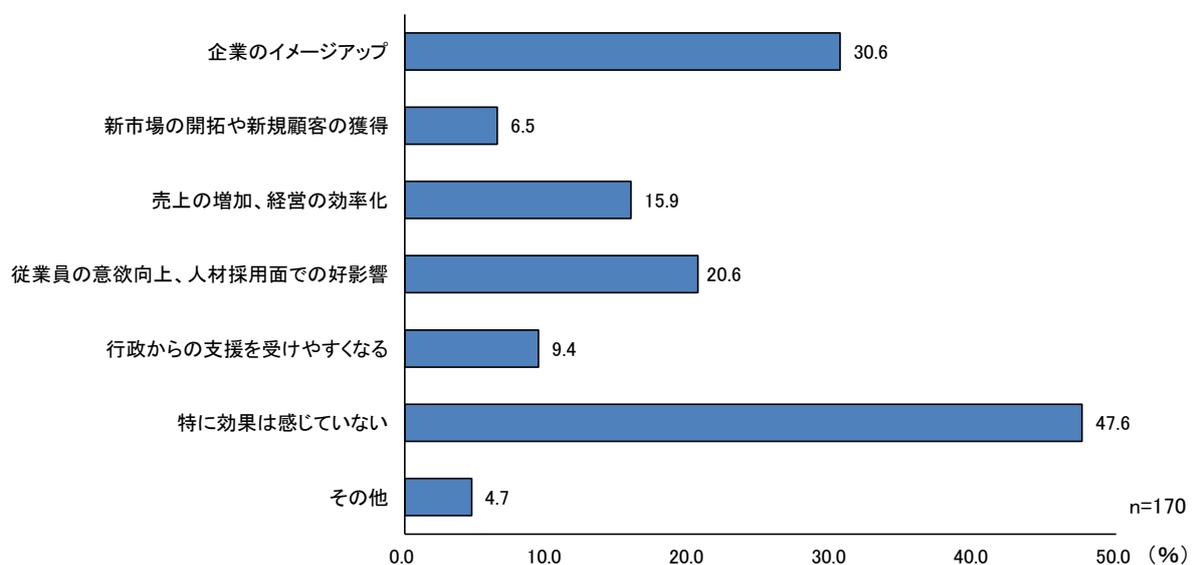
100人以上(6件)



### 問3-2. SDGsに向けた取組をする中でどのような効果を感じていますか（〇はいくつでも）

SDGsに向けた取組の効果については、全体では「特に効果は感じていない」が47.6%と最も高く、次いで「企業のイメージアップ」が30.6%、「従業員の意欲向上、人材採用面での好影響」が20.6%となった。

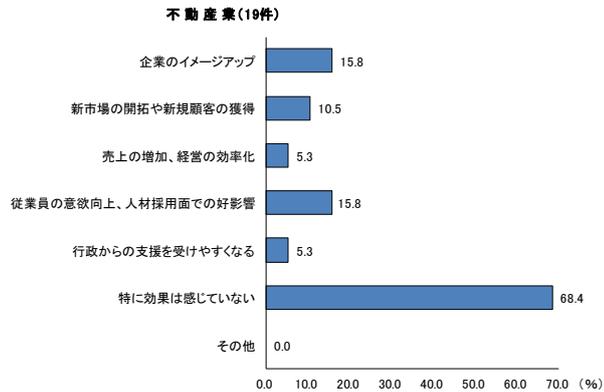
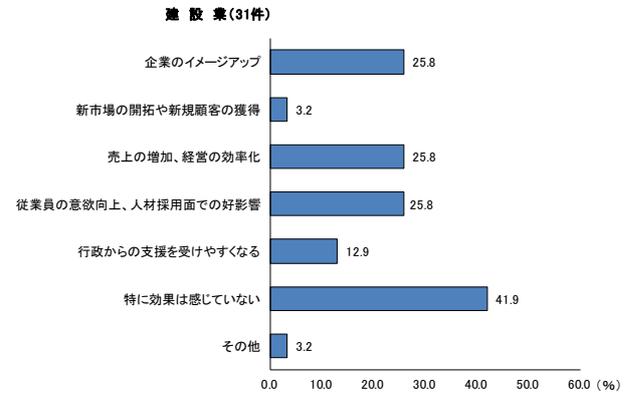
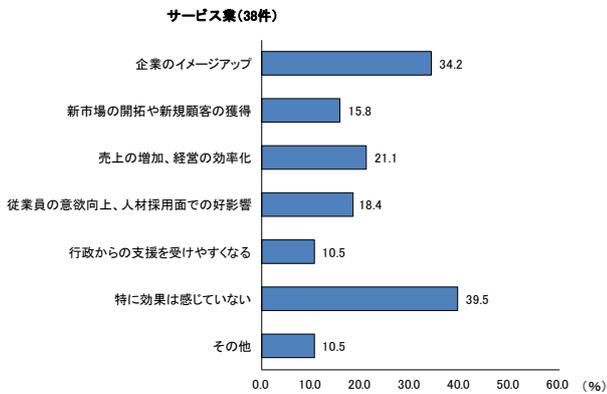
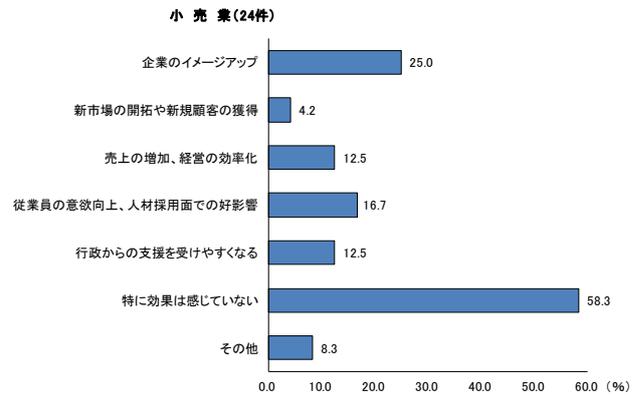
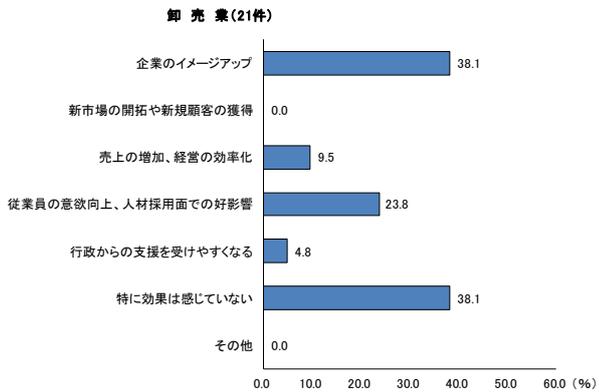
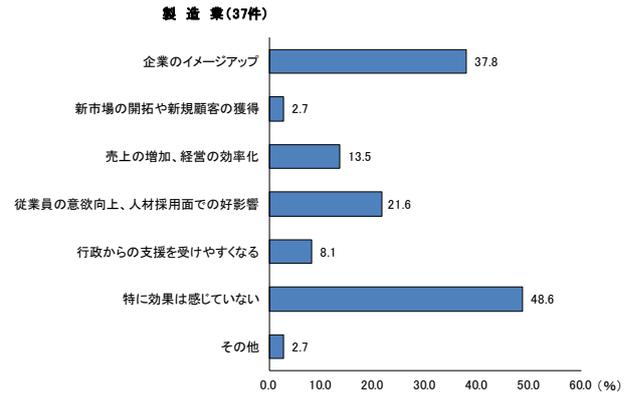
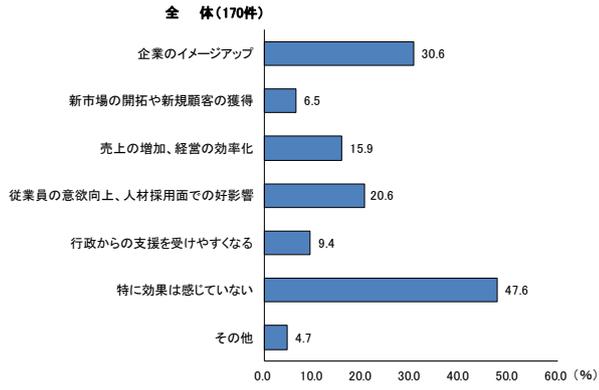
業種別にみると、卸売業以外の業種で「特に効果は感じていない」が最も高く、不動産業では6割を超えており、他の業種よりも高くなっている。また、卸売業では「特に効果は感じていない」、「企業のイメージアップ」が同率で最も高くなっている。



#### 【その他の意見】

- 各自の人間性の向上(製造業)
- わざわざ取り上げずとも普段から大切な事なのでは?(小売業)
- 時流(小売業)
- 従業員の生活向上は社の利益創出(サービス業)
- 存在意義(サービス業)
- 廃棄物の発生防止と削減を取り組む中で、廃材を利用してレクリエーションを行っている(サービス業)
- 従業員の意識、知識の向上(建設業)

【業種別】

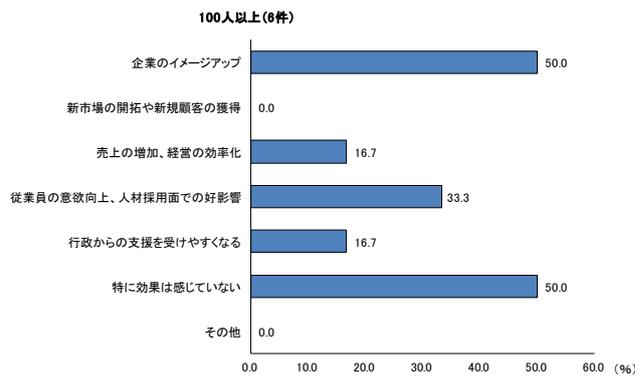
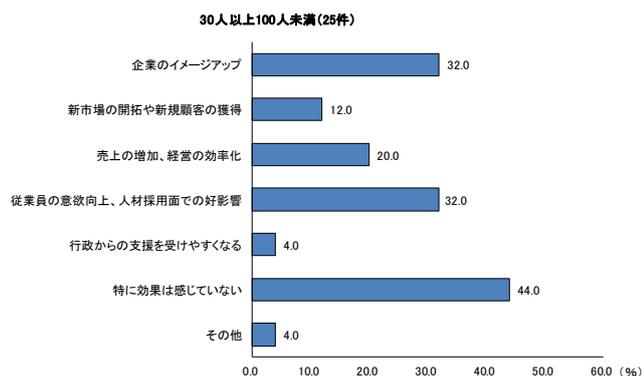
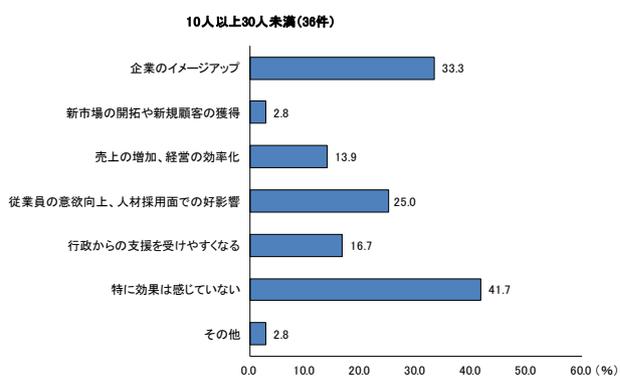
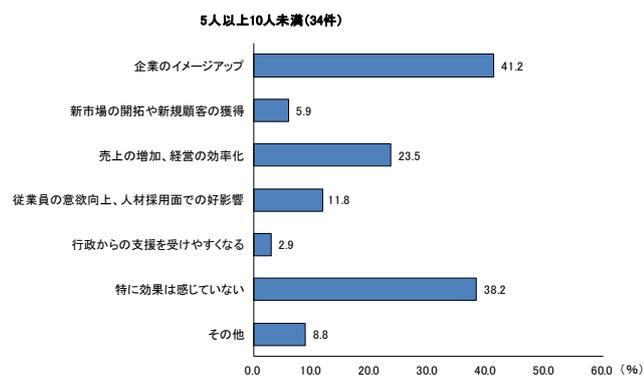
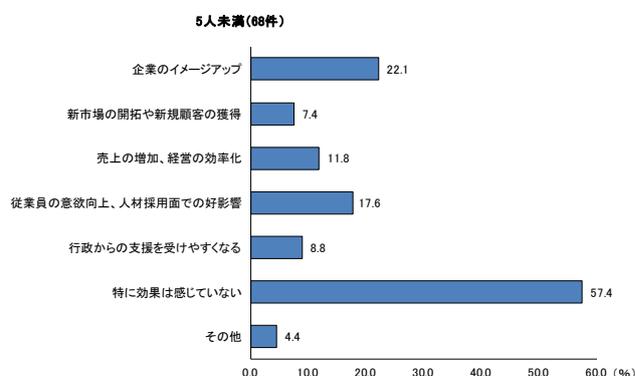
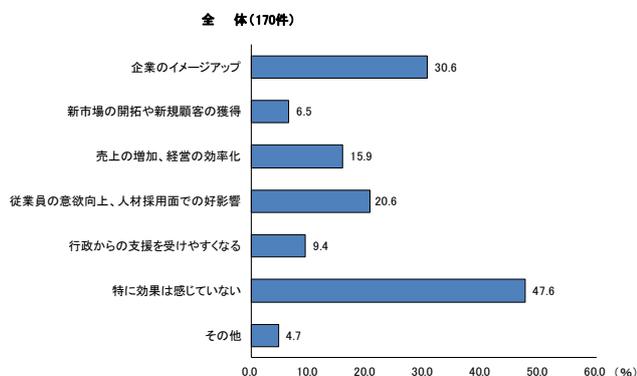


【従業員規模別】

SDGsに向けた取組の効果

(上段:件、下段:%)

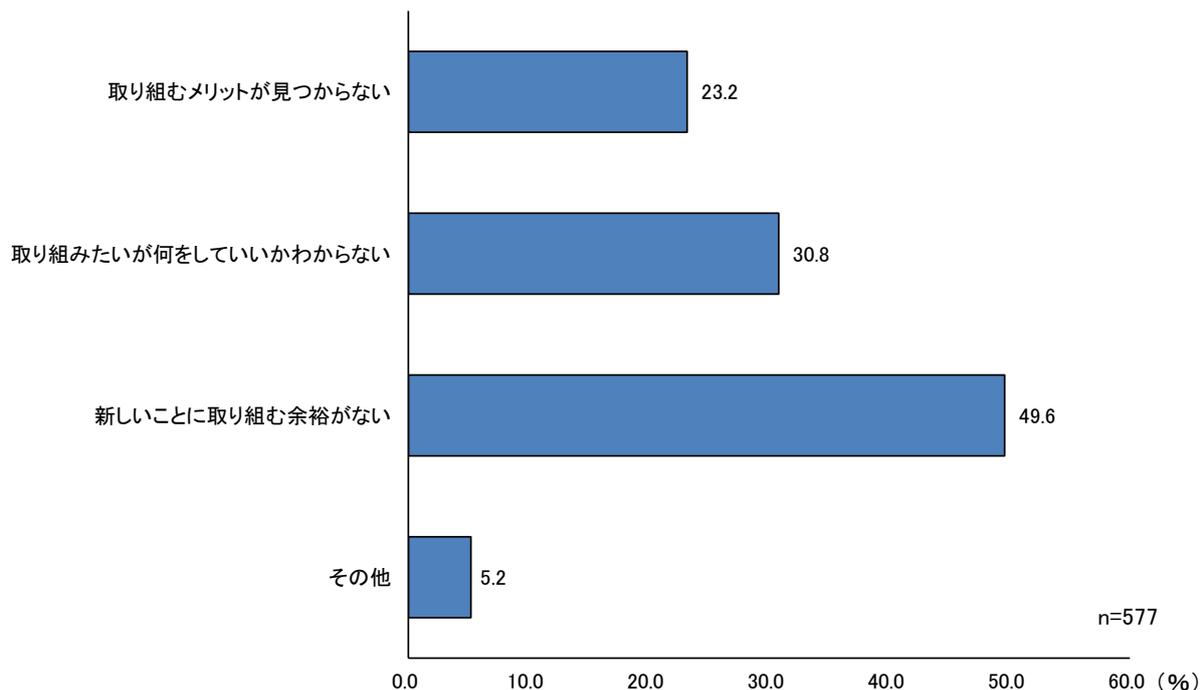
		全 体	企業のイメージアップ	新市場の開拓や新規顧客の獲得	売上の増加、経営の効率化	従業員の意欲向上、人材採用面での好影響	行政からの支援を受けやすくなる	特に効果は感じていない	その他
全 体		170 100.0	52 30.6	11 6.5	27 15.9	35 20.6	16 9.4	81 47.6	8 4.7
従業員数	5人未満	68 100.0	15 22.1	5 7.4	8 11.8	12 17.6	6 8.8	39 57.4	3 4.4
	5人以上10人未満	34 100.0	14 41.2	2 5.9	8 23.5	4 11.8	1 2.9	13 38.2	3 8.8
	10人以上30人未満	36 100.0	12 33.3	1 2.8	5 13.9	9 25.0	6 16.7	15 41.7	1 2.8
	30人以上100人未満	25 100.0	8 32.0	3 12.0	5 20.0	8 32.0	1 4.0	11 44.0	1 4.0
	100人以上	6 100.0	3 50.0	0 0.0	1 16.7	2 33.3	1 16.7	3 50.0	0 0.0



#### 問4. SDGsに向けた取組をしない理由について（〇はいくつでも）

SDGsに向けた取組をしない理由については、全体では「新しいことに取り組む余裕がない」が49.6%と最も高く、次いで「取り組みたいが何をしたいかわからない」が30.8%、「取り組むメリットが見つからない」が23.2%となった。

業種別にみると、全ての業種で「新しいことに取り組む余裕がない」が最も高く、建設業では6割を超えている。

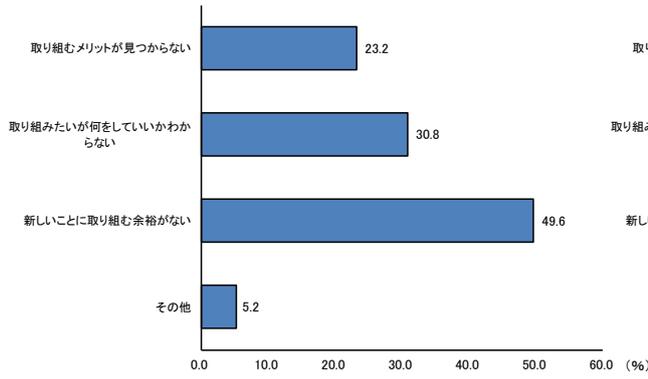


#### 【その他の意見】

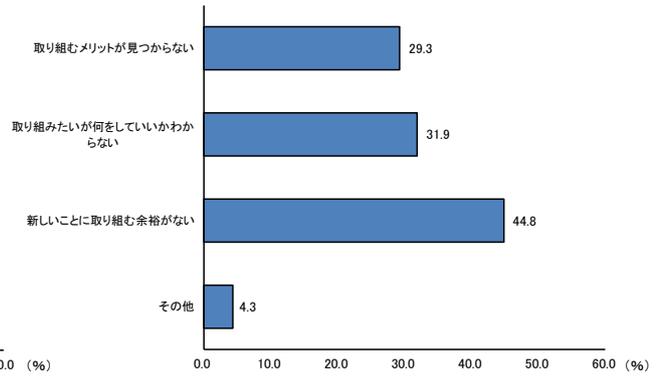
- ある程度できており、特別力を入れる予定はない(製造業)
- 取り組めることがないかもしれない(製造業)
- 賛同していない(製造業)
- 実働が結果、SDGsになっている(製造業)
- 国連に対する不信感(製造業)
- モノ作りをしてないので(卸売業)
- エコアクションに取り組んでおり、そちらを優先している(卸売業)
- 客先からの要求があれば検討予定(卸売業)
- 病気療養中(小売業)
- 矛盾(サービス業)
- 身一つとPCだけでやっているので稼働時間を減らすなど売上減に直結する項目しか無い(サービス業)
- 検討中(サービス業)
- 当社業務の性質上、対象外(サービス業)
- 継続するのかわからない(建設業)
- 良くわからない(建設業)
- SDGsは1つではないので回答不可(建設業)
- 17の目標で何が出来るか模索中(建設業)
- 今は特にすることがない(不動産業)
- 各テナントの意識次第の為(不動産業)
- ゴミの分別など小さいことは取り組んでいる(不動産業)
- そもそも無駄にしていない(不動産業)
- 考え自体に懐疑的に思う(不動産業)
- ゴミの分別はしているが他にやる事がない(不動産業)

【業種別】

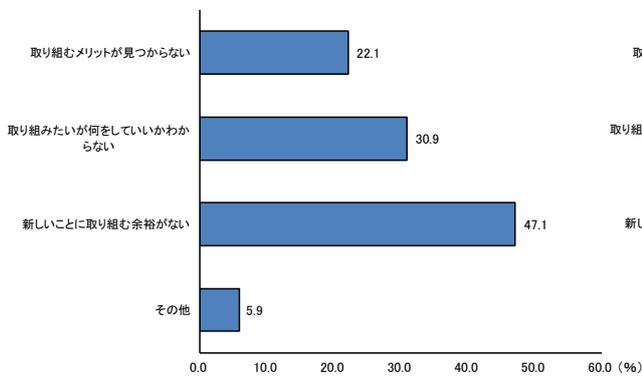
全 体 (577件)



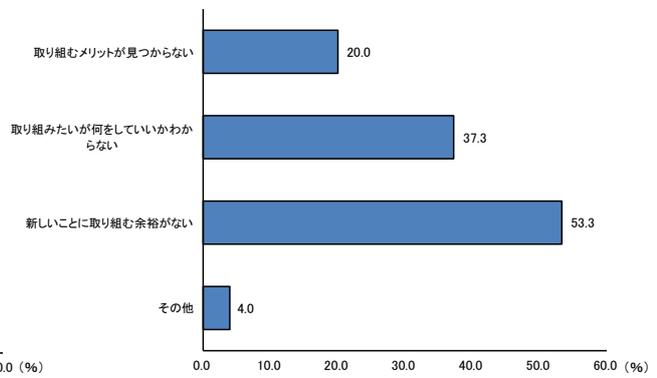
製 造 業 (116件)



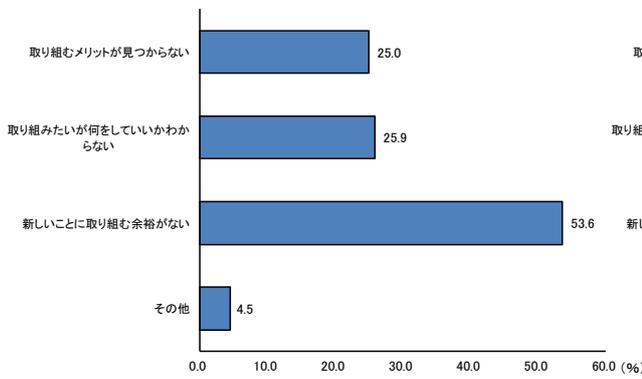
卸 売 業 (68件)



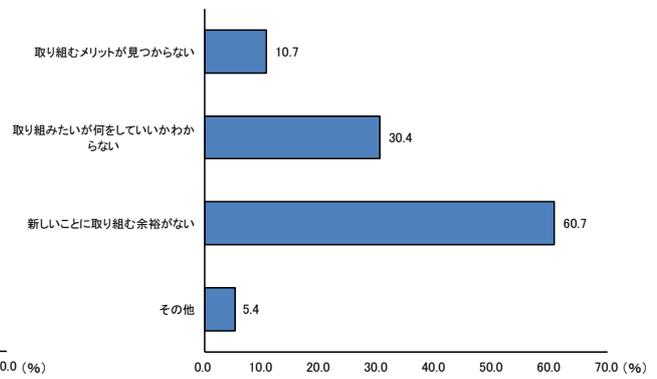
小 売 業 (75件)



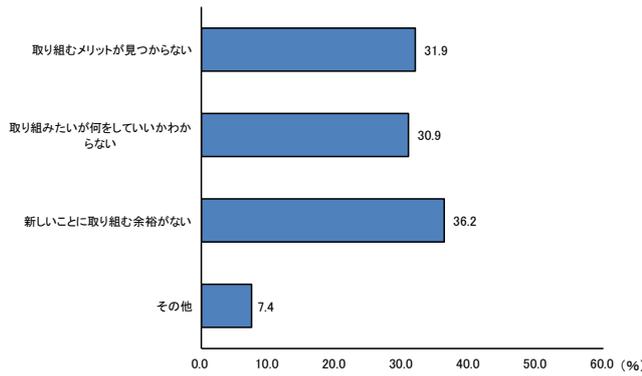
サービスマ (112件)



建 設 業 (112件)



不 動 産 業 (94件)

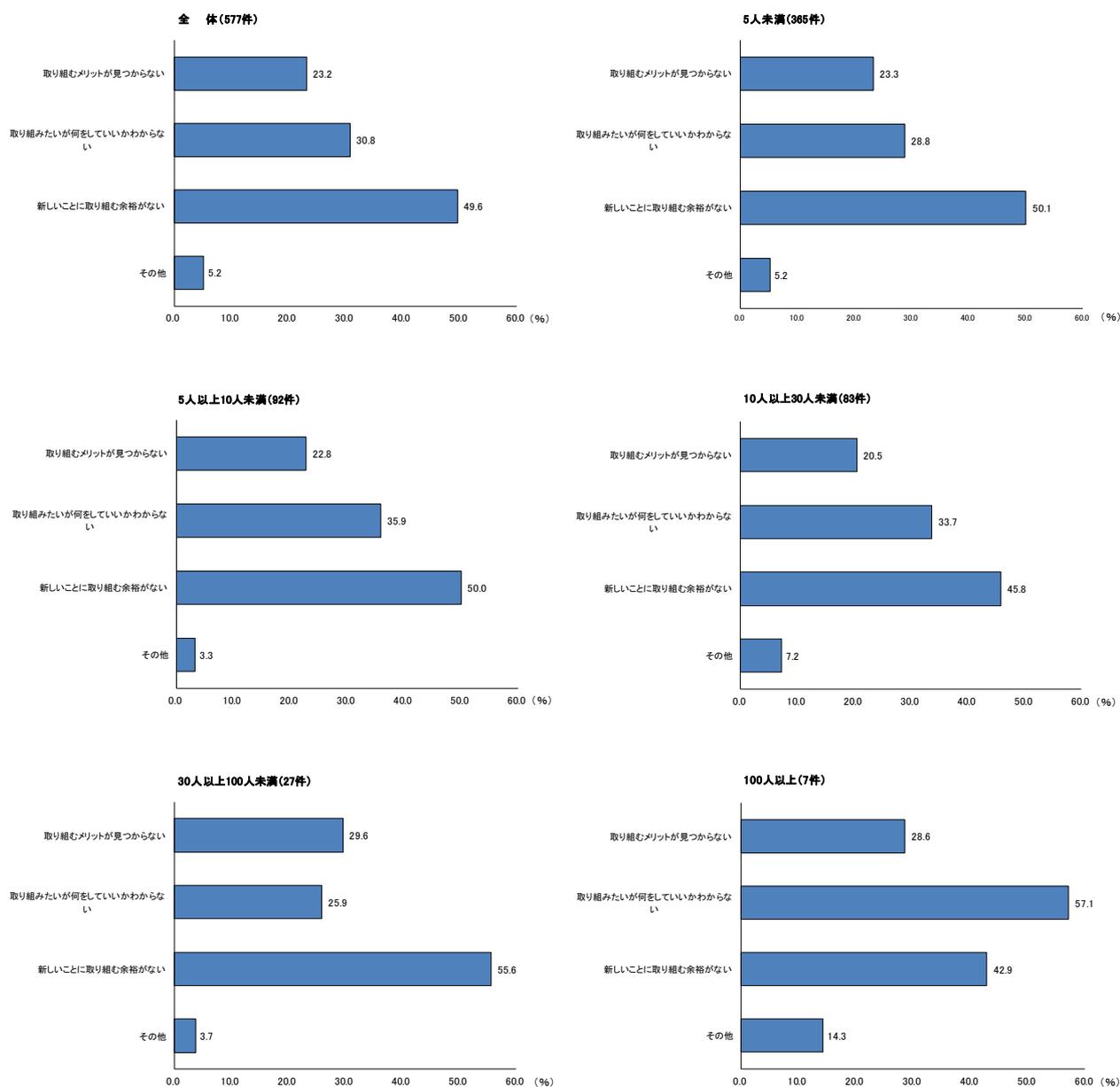


【従業員規模別】

SDGsに向けた取組をしない理由

(上段:件、下段:%)

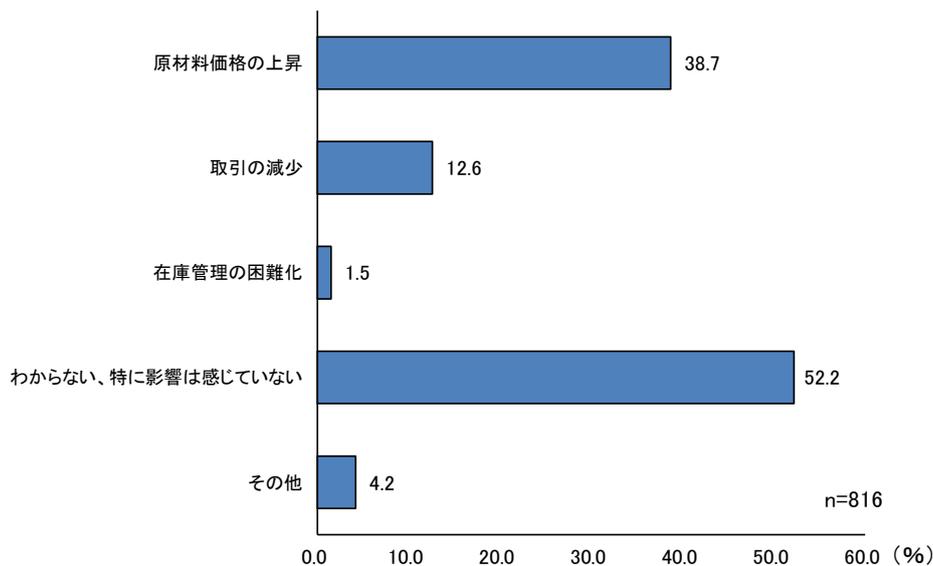
		全 体	取り組むメリ ットが見つ からない	取り組みたい が何をしてい いかわからな い	新しいことに 取り組む余 裕がない	その他
全 体		577 100.0	134 23.2	178 30.8	286 49.6	30 5.2
従 業 員 数	5人未満	365 100.0	85 23.3	105 28.8	183 50.1	19 5.2
	5人以上10人未満	92 100.0	21 22.8	33 35.9	46 50.0	3 3.3
	10人以上30人未満	83 100.0	17 20.5	28 33.7	38 45.8	6 7.2
	30人以上100人未満	27 100.0	8 29.6	7 25.9	15 55.6	1 3.7
	100人以上	7 100.0	2 28.6	4 57.1	3 42.9	1 14.3



問5. 米国の関税政策について、どのような影響を感じていますか（〇はいくつでも）

米国の関税政策への影響については、全体では「わからない、特に影響は感じていない」が52.2%と最も高く、次いで「原材料価格の上昇」が38.7%、「取引の減少」が12.6%となった。

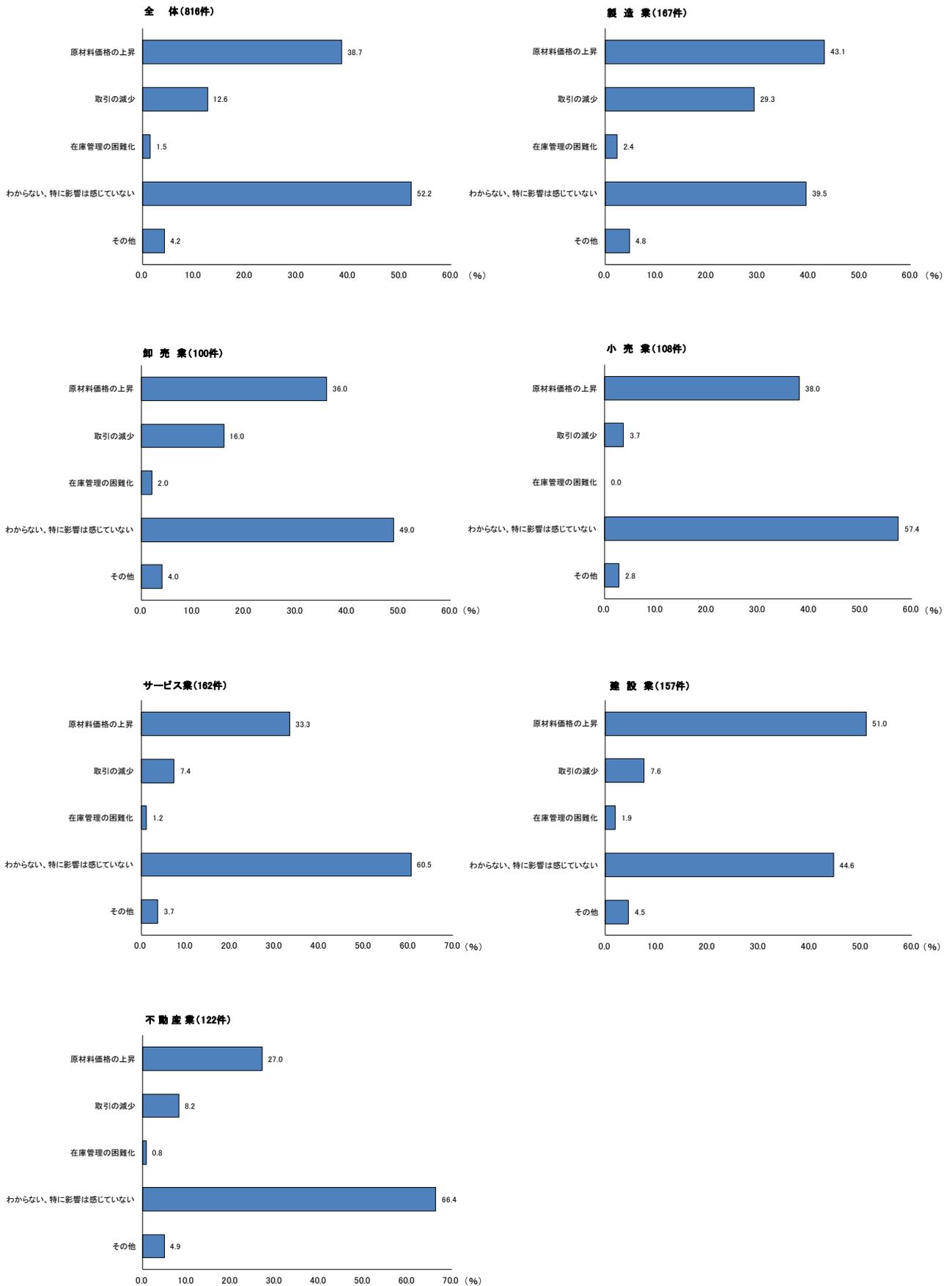
業種別にみると、卸売業、小売業、サービス業、不動産業では「わからない、特に影響は感じていない」が、製造業、建設業では「原材料価格の上昇」が最も高くなっている。



【その他の意見】

- 書類の増加(製造業)
- 受注の減少(製造業)
- 販売状況の悪化(製造業)
- これから影響が出てくる(製造業)
- 今の所なし(製造業)
- 今の所影響は、感じていない(製造業)
- 仕入れ品の納期が伸びている(製造業)
- まだ、直接的な影響は感じていない(製造業)
- 売上への影響(卸売業)
- 見通し不安定で委縮している(卸売業)
- 直接的ではないにしても影響はあると思います(卸売業)
- 今のところは特に感じていないが、これからは影響があると思っている(卸売業)
- 物価高騰(小売業)
- 景気の悪化(小売業)
- 購入意欲低下(小売業)
- 変化なし(サービス業)
- 原材料というよりは、円安によるドル払いのツールの値上がりの影響がある(サービス業)
- 米国向け輸出が現在、中国製が大半であり、日本国内への生産シフトなど考えていかなければならない(サービス業)
- 介護事業なので影響は軽微である(サービス業)
- 影響はないが、政治の不安を感じる(サービス業)
- 顧客の判断により一層時間がかかるようになった(サービス業)
- 賛成する(建設業)
- 廃業の予定(建設業)
- 全ての物に対して価格上昇(建設業)
- トランプによる日本の私物化(建設業)
- まだ影響はないが、今後が心配(建設業)
- 外国の政治について何も言うことはありません(建設業)
- 製造業の設備投資減少による波及(建設業)
- 混迷政局の時代(不動産業)
- まだ影響が見られない。(不動産業)
- 金利の上昇(不動産業)
- 理解複雑化(不動産業)
- 取引先の影響は大きいかも(不動産業)

【業種別】

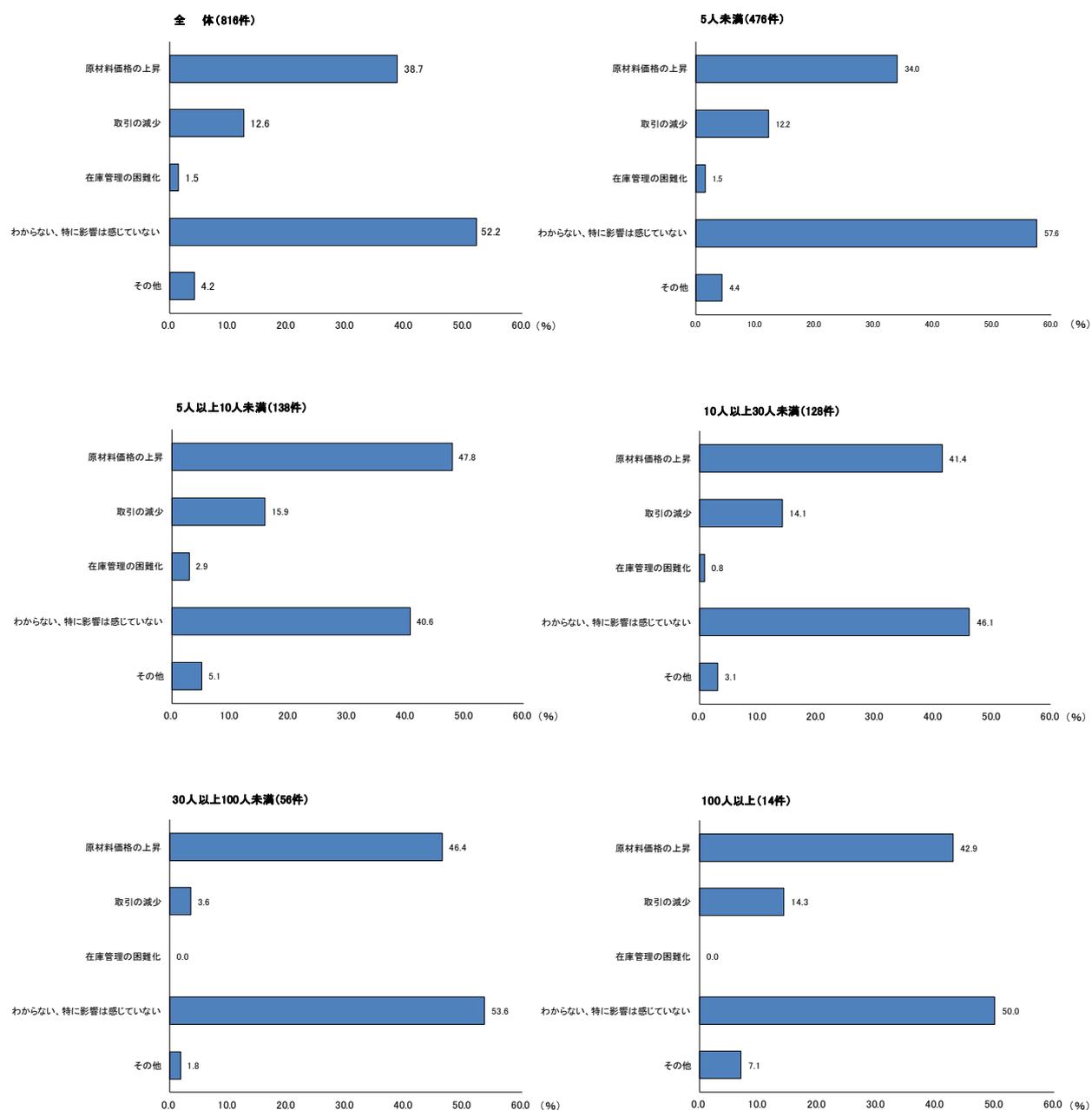


【従業員規模別】

米国の関税政策への影響

(上段:件、下段:%)

		全 体	原材料価格の上昇	取引の減少	在庫管理の困難化	わからない、特に影響は感じていない	その他
全 体		816 100.0	316 38.7	103 12.6	12 1.5	426 52.2	34 4.2
従業員数	5人未満	476 100.0	162 34.0	58 12.2	7 1.5	274 57.6	21 4.4
	5人以上10人未満	138 100.0	66 47.8	22 15.9	4 2.9	56 40.6	7 5.1
	10人以上30人未満	128 100.0	53 41.4	18 14.1	1 0.8	59 46.1	4 3.1
	30人以上100人未満	56 100.0	26 46.4	2 3.6	0 0.0	30 53.6	1 1.8
	100人以上	14 100.0	6 42.9	2 14.3	0 0.0	7 50.0	1 7.1



# 中小企業景況調査 転記表

製造業  
地域名:葛飾区  
中分類:業種合計

中小企業景況調査 転記表 NO. 1

令和7年4月~6月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期	R5 4~6月期		R5 7~9月期		R5 10~12月期		R6 1~3月期		R6 4~6月期		R6 7~9月期		R6 10~12月期		R7 1~3月期		R7 4~6月期		対前期 比	R7 7~9月期 (予測)
業況	良い	13.7	5.6	13.7	9.8	10.3	5.8	14.3	3.8	8.3	8.2	10.2	4.9	15.5	4.6	13.8	7.3	8.6	5.5		8.0
	普通	42.9	52.0	42.9	46.6	44.2	48.4	34.8	50.0	40.8	41.8	40.7	46.8	41.7	52.6	40.1	49.4	47.4	50.6		39.4
	悪い	43.5	42.4	43.5	43.6	45.5	45.8	50.9	46.3	51.0	50.0	49.2	48.3	42.9	42.9	46.1	43.3	44.0	43.9		52.6
	D-I	-29.8	-36.8	-29.8	-33.8	-35.2	-40.0	-36.6	-42.5	-42.7	-41.8	-39.0	-43.4	-27.4	-38.3	-32.3	-36.0	-35.4	-38.4	-3.1	-44.6
売上額	増加	21.6	12.4	15.5	16.8	21.2	8.8	16.0	9.8	16.7	9.9	13.6	8.8	18.3	13.7	15.5	13.7	18.2	13.5		15.4
	変わらず	37.1	40.7	41.6	44.9	39.4	51.6	34.4	48.5	35.8	43.8	42.9	50.2	45.6	54.9	42.3	43.5	35.2	46.0		34.3
	減少	41.3	46.9	42.9	38.3	39.4	39.6	49.7	41.7	47.5	46.3	43.5	41.0	36.1	31.4	42.3	42.9	46.6	40.5		50.3
	D-I	-19.7	-34.5	-27.4	-21.5	-18.2	-30.8	-33.7	-31.9	-30.8	-36.4	-29.9	-32.2	-17.8	-17.7	-26.8	-29.2	-28.4	-27.0	-1.6	-34.9
受注残	増加	14.0	7.3	11.4	11.6	13.0	8.4	15.0	8.8	9.5	8.8	10.4	7.9	16.4	10.4	13.7	12.3	15.2	8.2		11.7
	変わらず	45.1	45.8	47.5	45.1	42.2	52.3	43.1	50.9	41.5	50.9	53.8	49.5	46.1	56.1	53.4	49.1	48.0	55.1		45.0
	減少	40.9	46.9	41.1	43.3	44.7	39.4	41.9	40.3	49.0	40.3	35.8	42.6	37.6	33.5	32.9	38.7	36.8	36.7		43.3
	D-I	-26.9	-39.6	-29.7	-31.7	-31.7	-31.0	-26.9	-31.5	-39.5	-31.5	-25.4	-34.7	-21.2	-23.1	-19.2	-26.4	-21.6	-28.5	-2.4	-31.6
収益	増加	13.4	8.9	13.2	9.2	18.5	10.3	15.6	8.2	13.4	8.2	10.2	10.8	18.9	12.1	15.2	11.0	15.9	11.8		10.9
	変わらず	40.9	40.8	40.9	44.8	37.7	39.7	36.9	41.8	35.8	48.4	39.2	40.2	40.9	50.6	40.9	42.9	31.8	41.6		39.4
	減少	45.7	50.3	45.9	46.0	43.8	50.0	47.5	50.0	50.7	43.4	50.6	49.0	40.2	37.4	43.9	46.0	52.3	46.6		49.7
	D-I	-32.3	-41.4	-32.7	-36.8	-25.3	-39.7	-31.9	-41.8	-37.3	-35.2	-40.4	-38.2	-21.3	-25.3	-28.7	-35.0	-36.4	-34.8	-7.7	-38.8
販売価格	上昇	28.0	21.9	19.5	16.7	20.4	17.3	13.9	15.5	14.7	12.1	14.9	18.1	18.3	16.7	14.6	19.8	10.8	16.0		12.0
	変わらず	59.1	62.9	72.3	67.9	68.5	73.7	75.3	70.2	75.5	75.8	77.1	71.6	73.2	77.0	74.4	70.4	77.8	73.6		76.6
	下降	12.8	15.2	8.2	15.4	11.1	9.0	10.8	14.3	9.8	12.1	8.0	10.3	8.5	6.3	11.0	9.9	11.4	10.4		11.4
	D-I	15.2	6.7	11.3	1.3	9.3	8.3	3.1	1.2	4.9	0.0	6.9	7.8	9.8	10.4	3.6	9.9	-0.6	5.6	-4.2	0.6
価格 原材料	上昇	65.0	69.1	58.0	51.3	53.4	58.7	44.1	50.0	63.7	41.8	65.5	60.3	63.6	62.4	54.9	59.0	51.7	53.5		45.6
	変わらず	31.9	26.9	38.2	45.6	44.7	36.8	53.4	48.1	32.4	55.7	34.5	35.8	34.0	35.9	40.7	38.5	44.2	42.1		52.1
	下降	3.1	4.0	3.8	3.1	1.9	4.5	2.5	1.9	3.9	2.5	0.0	3.9	2.5	1.8	4.3	2.5	4.1	4.4		2.4
	D-I	61.9	65.1	54.2	48.2	51.5	54.2	41.6	48.1	59.8	39.3	65.5	56.4	61.1	60.6	50.6	56.5	47.6	49.1	-3.0	43.2
在庫 原材料	過剰	15.1	15.2	15.1	13.5	10.1	13.9	14.6	8.4	10.0	10.2	13.5	9.0	11.6	11.7	10.1	10.5	14.9	7.1		11.2
	適正	79.2	74.3	77.4	80.8	83.5	79.7	77.2	86.4	86.1	82.2	81.9	86.6	84.8	83.6	82.4	85.8	78.2	85.9		83.5
	不足	5.7	10.5	7.5	5.8	6.3	6.3	8.2	5.2	4.0	7.6	4.7	4.5	3.7	4.7	7.5	3.7	6.9	7.1		5.3
	D-I	9.4	4.7	7.6	7.7	3.8	7.6	6.4	3.2	6.0	2.6	8.8	4.5	7.9	7.0	2.6	6.8	8.0	0.0	5.4	5.9
資金繰り	楽	6.0	5.0	7.5	6.7	7.9	5.6	7.4	6.2	7.3	5.6	7.3	6.3	9.8	7.5	7.8	8.0	6.8	7.4		8.0
	変わらず	69.6	58.7	69.6	63.4	64.2	68.3	71.2	63.4	65.4	67.3	59.3	62.4	61.0	59.2	62.0	61.3	61.4	61.3		60.0
	苦しい	24.4	36.3	23.0	29.9	27.9	26.1	21.5	30.4	27.3	27.2	33.3	31.2	29.3	33.3	30.1	30.7	31.8	31.3		32.0
	D-I	-18.4	-31.3	-15.5	-23.2	-20.0	-20.5	-14.1	-24.2	-20.0	-21.6	-26.0	-24.9	-19.5	-25.8	-22.3	-22.7	-25.0	-23.9	-2.7	-24.0
同期比	売上額	-18.4		-16.7		-19.6		-26.5		-23.4		-25.3		-17.7		-17.7		-18.3			
	収益	-25.9		-28.0		-28.8		-30.5		-34.8		-36.2		-30.3		-29.0		-29.6			
雇用	前年比残業時間	-12.1	-14.3	-13.4	-16.3	-10.7	-14.0	-13.6	-14.6	-17.6	-11.8	-22.6	-14.8	-12.3	-16.8	-6.1	-13.5	-5.8	-10.4		-9.3
	人手	-24.5	-25.4	-21.5	-23.5	-22.5	-22.2	-19.8	-24.6	-18.1	-23.0	-16.2	-19.1	-20.1	-21.0	-13.9	-20.9	-15.4	-16.5		-13.8
借入金	借入をした(%)	38.6	16.4	35.8	16.8	33.5	14.4	25.2	13.8	31.5	13.9	33.1	16.8	31.7	15.6	29.1	18.1	28.4	15.5		15.5
	借入をしない(%)	61.4	83.6	64.2	83.2	66.5	85.6	74.8	86.2	68.5	86.1	66.9	83.2	68.3	84.4	70.9	81.9	71.6	84.5		84.5
	借入難易度	9.1		1.3		4.4		5.8		5.6		5.9		8.7		6.2		0.0			
有効回答事業数	168		162		165		164		206		178		169		168		177				

製造業

地域名:葛飾区

中分類:業種合計

注:各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期	R5		R5		R5		R6		R6		R6		R7		R7		対前期比	R7 7～9月期 (予測)		
		4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期							
設備	現在の設備	-8.6	-11.7	-10.1	-9.9	-10.1	-10.2	-3.2	-12.7	-8.5	-5.7	-8.1	-8.6	-3.7	-9.2	-4.2	-5.7	-7.6	-6.2	-8.2	
投資	実施した	43.8	54.3	42.9	42.3	54.8	42.3	47.7	53.3	43.0	40.4	37.5	37.2	52.8	35.9	45.0	47.2	41.4	40.6	39.4	
投資 内容	事業用地・建物	1.9	5.7	7.1	6.7	6.7	7.2	6.5	10.5	7.4	6.1	4.7	6.8	7.2	4.7	4.7	6.5	5.7	1.6	3.5	
	機械・設備の新・増設	20.0	15.2	14.3	12.5	21.2	18.9	18.7	19.0	16.1	20.2	11.7	16.9	9.6	14.8	12.4	14.6	15.7	13.3	16.2	
	機械・設備の更改	22.9	28.6	22.3	23.1	18.3	21.6	12.1	21.9	20.1	18.2	17.2	16.9	20.0	15.6	20.9	23.6	22.1	21.1	22.5	
	事務機器	12.4	16.2	8.0	10.6	16.3	9.0	20.6	11.4	12.8	10.1	13.3	9.5	17.6	6.3	21.7	8.9	11.4	12.5	8.5	
	車両	13.3	21.9	14.3	13.5	12.5	8.1	15.0	20.0	9.4	8.1	6.3	10.1	14.4	8.6	9.3	12.2	11.4	12.5	10.6	
その他	1.9	1.9	3.6	2.9	3.8	3.6	5.6	2.9	2.0	4.0	1.6	0.7	2.4	1.6	0.8	2.4	0.7	0.8	0.7		
	実施しない	56.2	45.7	57.1	45.2	57.7	52.3	46.7	57.0	59.6	62.5	62.8	47.2	64.1	55.0	52.8	58.6	59.4	60.6		
経営上の 問題点(%)	売上の停滞・減少	47.8		51.9		47.5		51.0		56.4		56.3		46.9		48.1		48.0			
	人手不足	25.5		22.5		21.9		23.2		18.6		23.3		24.7		20.0		22.2			
	大手企業・大型店との競争の激化	3.1		0.6		1.3		2.6		3.4		1.1		1.2		1.3		0.6			
	同業者間の競争の激化	6.2		3.8		5.0		7.7		6.4		5.7		6.8		6.9		5.3			
	流通経路の変化による競争の激化	0.6		1.3		0.0		1.3		0.5		0.0		0.6		1.3		0.0			
	合理化の不足	3.1		1.9		2.5		4.5		2.9		1.1		3.1		4.4		2.9			
	利幅の縮小	14.9		21.3		21.3		23.9		16.2		20.5		24.7		17.5		19.3			
	小口注文・多頻度配送の増加	4.3		3.1		1.9		1.9		2.9		4.5		4.3		3.1		3.5			
	販売商品の不足	1.2		0.0		0.6		0.0		2.0		0.0		1.2		0.6		1.8			
	原材料価格・材料価格の上昇	56.5		48.1		46.9		49.0		59.3		58.5		46.3		45.6		44.4			
	販売納入先からの値下げ要請	1.2		3.1		1.3		0.6		1.5		1.7		0.6		0.6		1.2			
	仕入先からの値上げ要請	14.3		11.9		10.6		8.4		15.2		8.5		13.6		9.4		9.9			
	人件費の増加	13.0		23.1		21.3		25.2		21.1		23.3		29.6		21.9		27.5			
	人件費以外の経費増加	15.5		11.9		12.5		8.4		11.3		8.5		8.6		10.6		14.6			
	工場・店舗の狭小・老朽化	9.9		10.6		13.8		11.6		8.3		8.0		11.1		11.3		12.3			
	生産能力・技術力の不足	10.6		4.4		10.6		11.6		5.9		8.0		4.9		5.0		7.0			
	取引先の減少	14.9		14.4		14.4		14.8		14.2		10.8		17.9		20.0		17.5			
	商店街の集客力の低下	0.0		0.0		0.0		0.0		0.5		0.0		0.0		0.0		0.0			
	下請の確保難	9.9		8.8		8.8		7.7		6.9		10.2		8.0		7.5		10.5			
	駐車場・資材置場の確保難	2.5		0.6		1.3		0.6		1.0		0.6		1.2		0.6		0.0			
	大手企業・工場の縮小・撤退	0.0		0.6		1.3		1.3		0.5		1.7		1.2		1.9		1.8			
	その他	1.2		2.5		1.9		2.6		1.5		1.1		0.6		1.9		2.3			
	問題なし	3.1		6.3		3.8		3.9		3.4		2.3		4.9		6.9		3.5			
	重点経営 施策(%)	販路を広げる	37.7		31.8		38.1		34.4		42.8		37.2		34.4		36.9		31.2		
		経費を削減する	33.3		35.7		34.2		34.4		37.3		32.6		35.7		37.5		36.5		
品揃えを充実させる		0.6		0.0		1.3		3.2		1.5		0.6		0.0		0.6		1.2			
情報力・宣伝・広報を強化する		7.5		6.5		7.1		5.2		6.5		7.6		10.4		10.6		8.8			
新製品・技術を開発する		16.4		18.8		12.3		15.6		17.9		17.4		16.9		16.9		18.2			
新しい工法を導入する		5.0		4.5		5.8		4.5		4.0		3.5		6.5		3.1		4.7			
新しい事業を始める		5.0		3.9		7.1		6.5		5.0		7.0		3.9		5.0		4.7			
不採算部門を整理・縮小する		5.0		3.9		5.8		4.5		5.0		4.7		3.9		5.6		6.5			
店舗・設備を改装する		1.3		1.9		2.6		0.6		0.5		1.7		0.6		0.6		2.4			
仕入先・提携先を開拓・選別する		13.2		13.0		11.6		14.3		13.4		11.6		12.3		16.3		11.2			
営業時間を延長する		0.6		1.9		0.6		1.3		1.0		1.2		0.0		1.3		0.6			
売れ筋商品を取扱う		1.9		2.6		3.2		1.9		4.5		2.3		1.3		1.9		0.6			
商店街事業を活性化させる		0.0		0.0		0.0		0.0		1.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
機械化を推進する		3.8		5.8		9.0		11.0		8.5		8.7		9.7		6.3		13.5			
技術力を強化する		24.5		22.7		22.6		20.1		23.4		21.5		21.4		19.4		15.3			
人材を確保する		30.8		28.6		24.5		31.8		22.4		26.7		27.3		24.4		23.5			
パート化を図る		1.3		2.6		2.6		1.9		2.0		3.5		0.6		0.0		1.8			
教育訓練を強化する		3.1		3.2		3.9		5.2		4.5		5.8		2.6		4.4		5.3			
労働条件を改善する		7.5		3.2		3.2		7.8		5.0		5.2		6.5		5.0		5.3			
工場・機械を増設・移転する		3.8		5.2		4.5		4.5		5.5		3.5		3.2		3.1		5.9			
流通経路の見直しをする		0.0		2.6		0.6		1.3		1.5		0.6		1.9		0.6		0.0			
取引先を支援する		1.9		1.3		0.6		1.9		1.0		2.9		3.2		0.6		2.4			
輸入品の取扱いを増やす		1.3		1.3		0.6		0.6		1.0		0.0		0.0		0.6		0.0			
不動産の有効活用を図る		3.1		1.9		1.3		1.9		2.5		1.7		2.6		2.5		2.9			
その他		0.0		1.3		0.0		0.6		1.5		0.6		0.6		2.5		1.8			
特になし	12.6		16.9		11.6		11.7		9.0		11.0		13.0		13.8		11.2				
有効回答事業所数	168		162		165		164		206		178		169		168		177				

卸売業  
地域名: 葛飾区  
中分類: 業種合計

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		R5		R5		R5		R6		R6		R6		R7		R7		対前期比	R7 7～9月期 (予測)	
	4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期				
業況	良い	11.0	9.8	13.0	7.1	9.6	9.9	10.2	5.6	12.5	8.6	6.7	9.9	7.8	9.4	9.3	8.2	7.5	6.0		6.7
	普通	43.8	44.1	39.0	51.4	45.2	40.8	43.9	50.0	44.6	50.5	43.3	49.5	45.1	53.0	46.5	43.3	45.3	53.0		50.0
	悪い	45.2	46.1	48.1	41.4	45.2	49.3	45.9	44.4	42.9	40.9	50.0	40.5	47.1	37.6	44.2	48.5	47.2	41.0		43.3
	D-I	-34.2	-36.3	-35.1	-34.3	-35.6	-39.4	-35.7	-38.8	-30.4	-32.3	-43.3	-30.6	-39.3	-28.2	-34.9	-40.3	-39.7	-35.0	-4.8	
売上額	増加	15.1	10.7	24.7	11.3	20.5	12.2	13.4	11.1	20.7	8.5	16.8	16.8	19.6	18.2	16.1	11.1	12.3	11.8		8.6
	変わらず	41.1	43.7	37.7	47.9	38.4	48.6	36.1	43.1	44.1	51.1	38.7	48.7	42.2	44.6	34.5	48.5	50.9	45.9		52.4
	減少	43.8	46.9	37.7	40.8	41.1	39.2	50.5	45.8	35.1	40.4	44.5	34.5	38.2	37.2	49.4	40.4	36.8	42.4		39.0
	D-I	-28.7	-34.9	-13.0	-29.5	-20.6	-27.0	-37.1	-34.7	-14.4	-31.9	-27.7	-17.7	-18.6	-19.0	-33.3	-29.3	-24.5	-30.6	8.8	
収益	増加	13.9	8.0	21.1	15.5	22.2	9.6	14.4	8.3	12.5	5.4	9.3	11.6	13.9	15.1	8.4	6.1	10.5	8.4		6.7
	変わらず	36.1	44.0	35.5	42.3	30.6	42.5	35.1	38.9	43.8	49.5	38.1	47.3	40.6	42.9	41.0	42.4	48.6	50.6		52.4
	減少	50.0	48.0	43.4	42.3	47.2	47.9	50.5	52.8	43.8	45.2	52.5	41.1	45.5	42.0	50.6	51.5	41.0	41.0		41.0
	D-I	-36.1	-40.0	-22.3	-26.8	-25.0	-38.3	-36.1	-44.5	-31.3	-39.8	-43.2	-29.5	-31.6	-26.9	-42.2	-45.4	-30.5	-32.6	11.7	
販売価格	上昇	35.7	29.7	37.7	26.1	34.3	33.3	26.0	31.4	33.0	26.1	33.6	27.7	36.3	39.2	33.7	27.3	23.8	30.1		22.1
	変わらず	54.3	54.5	50.6	60.9	58.6	53.3	61.5	57.1	57.1	66.3	56.3	61.6	52.9	53.3	54.2	61.6	62.9	60.2		62.5
	下降	10.0	15.8	11.7	13.0	7.1	13.3	12.5	11.4	9.8	7.6	10.1	10.7	10.8	7.5	12.0	11.1	13.3	9.6		15.4
	D-I	25.7	13.9	26.0	13.1	27.2	20.0	13.5	20.0	23.2	18.5	23.5	17.0	25.5	31.7	21.7	16.2	10.5	20.5	-11.2	
仕入価格	上昇	60.3	55.0	67.6	56.1	56.5	58.9	60.8	47.8	69.2	61.3	59.3	63.0	66.7	57.6	58.8	63.9	51.5	59.5		42.6
	変わらず	35.3	36.0	24.3	37.9	37.7	30.1	35.1	46.4	25.2	35.5	28.0	30.6	24.2	34.7	29.4	28.9	39.8	33.3		50.5
	下降	4.4	9.0	8.1	6.1	5.8	11.0	4.1	5.8	5.6	3.2	12.7	6.5	9.1	7.6	11.8	7.2	8.7	7.1		6.9
	D-I	55.9	46.0	59.5	50.0	50.7	47.9	56.7	42.0	63.6	58.1	46.6	56.5	57.6	50.0	47.0	56.7	42.8	52.4	-4.2	
在庫	過剰	25.4	8.0	14.5	13.3	21.7	10.3	17.2	18.8	17.0	14.3	15.2	15.1	14.0	11.6	18.4	13.0	11.3	16.0		12.5
	適正	68.3	70.5	76.8	81.7	72.5	77.9	75.3	73.9	71.7	76.9	74.1	74.5	71.0	76.8	69.7	71.7	81.4	72.0		79.2
	不足	6.3	21.6	8.7	5.0	5.8	11.8	7.5	7.2	11.3	8.8	10.7	10.4	15.1	11.6	11.8	15.2	7.2	12.0		8.3
	D-I	19.1	-13.6	5.8	8.3	15.9	-1.5	9.7	11.6	5.7	5.5	4.5	4.7	-1.1	0.0	6.6	-2.2	4.1	4.0	-2.5	
資金繰り	楽	9.7	2.0	8.0	8.5	6.9	6.8	9.4	5.6	6.3	6.4	4.2	6.3	7.9	5.8	1.2	8.1	8.5	1.2		8.5
	変わらず	69.4	73.3	64.0	70.4	69.4	62.2	62.5	69.4	72.3	61.7	70.6	70.5	63.4	72.7	71.4	65.7	64.2	70.2		62.3
	苦しい	20.8	24.8	28.0	21.1	23.6	31.1	28.1	25.0	21.4	31.9	25.2	23.2	28.7	21.5	27.4	26.3	27.4	28.6		29.2
	D-I	-11.1	-22.8	-20.0	-12.6	-16.7	-24.3	-18.7	-19.4	-15.1	-25.5	-21.0	-16.9	-20.8	-15.7	-26.2	-18.2	-18.9	-27.4	7.3	
同前年 期比	売上額	-19.8		-17.8		-25.4		-16.9		-13.1		-24.6		-16.2		-21.7		-30.8			
	収益	-38.6		-31.9		-32.9		-28.5		-30.1		-40.1		-39.2		-39.5		-36.5			
	販売価格	30.5		35.6		31.9		34.0		21.1		24.2		27.7		31.8		13.2			
雇用 人手	前年比残業時間	-8.6	-10.3	-13.5	-13.0	-8.3	-9.5	-17.6	-11.3	-14.1	-15.7	-13.6	-15.0	-8.0	-7.7	-8.3	-9.9	-7.6	-7.1		-12.5
		-13.1	-7.1	-22.9	-13.0	-30.5	-22.9	-15.3	-29.6	-25.6	-10.5	-16.1	-26.5	-16.7	-21.2	-16.9	-18.6	-14.2	-19.5		-14.1
借入金	借入をした(%)	32.4	8.4	37.3	14.7	38.9	8.7	31.6	10.0	27.0	17.5	33.1	14.4	23.8	11.2	11.9	5.2	19.8	8.1		9.9
	借入をしない(%)	67.6	91.6	62.7	85.3	61.1	91.3	68.4	90.0	73.0	82.5	66.9	85.6	76.2	88.8	88.1	94.8	80.2	91.9		90.1
	借入難易度	4.4		0.0		4.2		0.0		-0.9		2.5		-5.1		-7.2		-1.9			
有効回答事業所数	73		77		74		99		113		121		102		87		107				

卸売業

地域名: 葛飾区

中分類: 業種合計

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		R5		R5		R6		R6		R6		R6		R7		R7		対前期比	R7 7～9月期 (予測)	
	4～6月期	7～9月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期					
設備	-7.8	-8.9	-7.6	-7.9	-17.2	-7.7	-8.9	-20.3	-10.1	-9.1	-11.6	-12.1	-6.2	-11.7	-10.8	-7.2	-10.8	-12.1		-8.9	
実施した	34.3	42.1	37.5	29.4	41.7	41.2	33.3	35.4	32.9	39.2	37.6	24.7	33.8	33.3	13.6	31.6	24.7	23.1		39.0	
投資	5.7	1.8	3.1	8.8	8.3	5.9	2.0	4.2	3.7	2.0	5.9	4.9	3.9	3.6	1.5	3.9	1.2	4.6		3.7	
内容	5.7	10.5	12.5	2.9	4.2	14.7	3.9	10.4	3.7	0.0	8.2	2.5	6.5	3.6	3.0	2.6	1.2	6.2		1.2	
機械・設備の新・増設	8.6	7.0	3.1	0.0	6.3	5.9	2.0	4.2	6.1	3.9	5.9	4.9	6.5	2.4	1.5	5.3	3.7	1.5		3.7	
事務機器	5.7	14.0	9.4	11.8	18.8	17.6	19.6	10.4	15.9	19.6	15.3	7.4	15.6	13.1	3.0	21.1	16.0	4.6		19.5	
車両	25.7	31.6	18.8	14.7	25.0	8.8	19.6	18.8	17.1	25.5	17.6	14.8	15.6	19.0	10.6	14.5	8.6	15.4		20.7	
その他	0.0	3.5	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	2.4	1.2	1.3	1.2	0.0	2.6	2.5	0.0		3.7	
実施しない	65.7	57.9	62.5	70.6	58.3	58.8	66.7	64.6	67.1	60.8	62.4	75.3	66.2	66.7	86.4	68.4	75.3	76.9		61.0	
経営上の問題点(%)																					
売上の停滞・減少	44.8		49.3		53.5		50.0		42.9		50.0		52.5		54.9		54.8				
人手不足	6.0		16.4		16.9		12.8		15.2		12.3		12.1		11.0		9.6				
大手企業・大型店との競争の激化	3.0		2.7		1.4		2.1		6.3		4.4		7.1		4.9		4.8				
同業者間の競争の激化	11.9		21.9		11.3		12.8		12.5		13.2		10.1		15.9		14.4				
流通経路の変化による競争の激化	4.5		1.4		2.8		2.1		3.6		6.1		5.1		2.4		3.8				
合理化の不足	1.5		2.7		4.2		3.2		1.8		2.6		6.1		6.1		2.9				
利幅の縮小	32.8		26.0		26.8		26.6		25.0		21.1		27.3		23.2		17.3				
小口注文・多頻度配達増加	6.0		4.1		4.2		3.2		4.5		3.5		3.0		1.2		6.7				
販売商品の不足	3.0		6.8		4.2		3.2		5.4		7.9		11.1		7.3		5.8				
原材料価格・材料価格の上昇	49.3		34.2		35.2		38.3		39.3		33.3		33.3		36.6		27.9				
販売納入先からの値下げ要請	3.0		1.4		0.0		1.1		0.0		2.6		2.0		0.0		1.9				
仕入先からの値上げ要請	22.4		28.8		28.2		19.1		28.6		25.4		23.2		25.6		21.2				
人件費の増加	11.9		11.0		9.9		13.8		18.8		12.3		12.1		17.1		16.3				
人件費以外の経費増加	9.0		9.6		9.9		13.8		8.9		7.9		7.1		12.2		10.6				
工場・店舗の狭小・老朽化	4.5		5.5		4.2		3.2		3.6		6.1		2.0		2.4		2.9				
生産能力・技術力の不足	3.0		1.4		1.4		0.0		1.8		0.9		1.0		0.0		0.0				
取引先の減少	20.9		31.5		14.1		29.8		20.5		23.7		28.3		32.9		25.0				
商店街の集客力の低下	0.0		0.0		0.0		0.0		0.9		0.9		1.0		0.0		1.0				
下請の確保難	1.5		4.1		2.8		2.1		2.7		1.8		2.0		1.2		3.8				
駐車場・資材置場の確保難	0.0		0.0		1.4		1.1		0.9		2.6		1.0		2.4		1.9				
大手企業・工場の縮小・撤退	4.5		4.1		2.8		3.2		1.8		0.0		3.0		0.0		2.9				
その他	4.5		2.7		7.0		1.1		4.5		1.8		1.0		1.2		1.9				
問題なし	7.5		4.1		2.8		5.3		4.5		5.3		5.1		3.7		7.7				
重点経営施策(%)																					
販路を広げる	51.4		62.0		54.9		53.8		53.2		47.4		47.9		45.8		52.4				
経費を削減する	38.6		36.6		39.4		40.9		38.7		31.6		39.6		45.8		41.0				
品揃えを充実させる	7.1		9.9		5.6		8.6		11.7		8.8		14.6		14.5		14.3				
情報力・宣伝・広報を強化する	11.4		14.1		12.7		14.0		14.4		10.5		13.5		8.4		3.8				
新製品・技術を開発する	7.1		9.9		7.0		9.7		9.9		10.5		5.2		7.2		8.6				
新しい工法を導入する	1.4		1.4		0.0		1.1		0.9		0.9		2.1		1.2		0.0				
新しい事業を始める	11.4		8.5		9.9		6.5		9.9		7.9		10.4		8.4		12.4				
不採算部門を整理・縮小する	7.1		2.8		5.6		5.4		4.5		4.4		5.2		4.8		6.7				
店舗・設備を改装する	1.4		1.4		0.0		1.1		0.9		1.8		0.0		0.0		1.9				
仕入先・提携先を開拓・選別する	28.6		19.7		18.3		19.4		21.6		24.6		28.1		24.1		20.0				
営業時間を延長する	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.9		1.0		0.0		1.0				
売れ筋商品を取扱う	7.1		12.7		12.7		11.8		9.9		10.5		9.4		10.8		11.4				
商店街事業を活性化させる	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.9		0.0		0.0		0.0				
機械化を推進する	1.4		2.8		2.8		1.1		3.6		2.6		3.1		2.4		1.0				
技術力を強化する	5.7		4.2		4.2		7.5		4.5		3.5		4.2		3.6		2.9				
人材を確保する	12.9		21.1		18.3		15.1		11.7		16.7		6.3		13.3		8.6				
パート化を図る	0.0		0.0		1.4		0.0		0.9		0.9		1.0		0.0		0.0				
教育訓練を強化する	1.4		4.2		2.8		2.2		0.9		2.6		3.1		2.4		4.8				
労働条件を改善する	2.9		2.8		1.4		4.3		4.5		2.6		2.1		0.0		1.0				
工場・機械を増設・移転する	1.4		1.4		0.0		0.0		0.9		0.0		0.0		0.0		1.0				
流通経路の見直しをする	5.7		2.8		5.6		9.7		5.4		6.1		4.2		3.6		4.8				
取引先を支援する	4.3		4.2		0.0		2.2		3.6		7.0		5.2		2.4		2.9				
輸入品の取扱いを増やす	7.1		0.0		2.8		3.2		2.7		2.6		2.1		3.6		1.0				
不動産の有効活用を図る	1.4		0.0		0.0		1.1		1.8		0.0		1.0		2.4		1.9				
その他	0.0		2.8		2.8		1.1		0.9		0.0		1.0		0.0		1.9				
特になし	11.4		4.2		9.9		10.8		9.9		14.9		15.6		9.6		12.4				
有効回答事業所数	73		77		74		99		113		121		102		87		107				

小売業  
 地域名: 葛飾区  
 中分類: 業種合計

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		R5		R5		R5		R6		R6		R6		R7		R7		対前期比	R7 7～9月期 (予測)	
	4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期				
業況	良い	12.7	4.6	10.5	7.6	5.5	5.3	7.3	4.7	4.8	5.3	11.1	5.0	11.1	8.0	7.2	9.9	11.0	5.1		6.1
	普通	41.8	40.7	36.8	46.8	37.4	38.2	30.2	31.4	42.3	41.5	38.9	41.6	38.9	43.2	35.1	38.0	39.8	43.9		43.5
	悪い	45.6	54.6	52.6	45.6	57.1	56.6	62.5	64.0	52.9	53.2	50.0	53.5	50.0	48.9	57.7	52.1	49.2	49.2		50.4
	D・I	-32.9	-50.0	-42.1	-38.0	-51.6	-51.3	-55.2	-59.3	-48.1	-47.9	-38.9	-48.5	-38.9	-40.9	-50.5	-42.2	-38.2	-45.9	12.3	
売上額	増加	16.3	7.3	11.7	12.5	9.8	13.2	9.4	8.7	17.1	8.5	18.0	12.6	29.2	13.3	11.2	16.9	17.8	8.2		10.3
	変わらず	38.8	41.8	48.1	47.5	39.1	42.1	32.3	40.2	36.2	43.6	33.7	44.7	30.6	42.2	35.7	32.4	33.9	42.3		41.4
	減少	45.0	46.9	40.3	40.0	51.1	44.7	58.3	51.1	46.7	47.9	48.3	42.7	40.3	44.4	53.1	50.7	48.3	49.5		48.3
	D・I	-28.7	-43.6	-28.6	-27.5	-41.3	-31.5	-48.9	-42.4	-29.6	-39.4	-30.3	-30.1	-11.1	-31.1	-41.9	-33.8	-30.5	-41.3	11.4	
収益	増加	16.5	7.7	12.2	10.1	6.5	9.5	9.7	7.6	11.7	8.7	12.5	8.9	19.7	11.4	11.1	15.7	13.7	9.1		8.5
	変わらず	30.4	33.7	32.4	41.8	33.7	36.5	25.8	30.4	34.0	34.8	35.2	40.6	33.8	39.8	32.3	31.4	34.2	36.4		39.3
	減少	53.2	58.7	55.4	48.1	59.8	54.1	64.5	62.0	54.4	56.5	52.3	50.5	46.5	48.9	56.6	52.9	52.1	54.5		52.1
	D・I	-36.7	-51.0	-43.2	-38.0	-53.3	-44.6	-54.8	-54.4	-42.7	-47.8	-39.8	-41.6	-26.8	-37.5	-45.5	-37.2	-38.4	-45.4	7.1	
販売価格	上昇	43.0	40.6	38.4	41.0	41.8	38.4	33.0	33.0	39.8	35.5	43.7	40.2	54.2	40.2	52.0	51.4	35.3	47.5		38.3
	変わらず	43.0	42.5	41.1	44.9	33.0	41.1	46.8	37.4	42.7	50.5	41.4	43.1	34.7	43.7	31.6	37.1	47.4	38.4		46.1
	下降	13.9	17.0	20.5	14.1	25.3	20.5	20.2	29.7	17.5	14.0	14.9	16.7	11.1	16.1	16.3	11.4	17.2	14.1		15.7
	D・I	29.1	23.6	17.9	26.9	16.5	17.9	12.8	3.3	22.3	21.5	28.8	23.5	43.1	24.1	35.7	40.0	18.1	33.4	-17.6	
仕入価格	上昇	72.2	66.3	60.0	72.2	66.3	56.0	62.6	52.3	67.0	63.3	75.0	64.6	69.1	73.9	70.5	68.7	63.1	66.3		63.0
	変わらず	20.3	24.0	28.0	22.8	24.4	29.3	27.5	37.2	27.8	30.0	21.6	30.2	17.6	23.9	18.9	20.9	30.6	24.2		32.4
	下降	7.6	9.6	12.0	5.1	9.3	14.7	9.9	10.5	5.2	6.7	3.4	5.2	13.2	2.3	10.5	10.4	6.3	9.5		4.6
	D・I	64.6	56.7	48.0	67.1	57.0	41.3	52.7	41.8	61.8	56.6	71.6	59.4	55.9	71.6	60.0	58.3	56.8	56.8	-3.2	
在庫	過剰	14.5	9.8	9.7	8.8	7.4	3.2	11.2	6.2	6.2	9.2	7.1	3.1	6.1	6.0	9.8	6.1	8.0	6.5		8.0
	適正	73.9	72.8	72.6	77.9	72.8	74.2	74.2	71.6	77.3	75.9	77.4	80.4	83.3	79.8	70.7	83.3	74.1	72.8		74.1
	不足	11.6	17.4	17.7	13.2	19.8	22.6	14.6	22.2	16.5	14.9	15.5	16.5	10.6	14.3	19.6	10.6	17.9	20.7		17.9
	D・I	2.9	-7.6	-8.0	-4.4	-12.4	-19.4	-3.4	-16.0	-10.3	-5.7	-8.4	-13.4	-4.5	-8.3	-9.8	-4.5	-9.9	-14.2	-0.1	
資金繰り	楽	5.0	2.8	8.0	3.8	2.2	6.7	4.3	2.2	6.9	2.2	7.0	6.0	4.3	8.1	0.0	2.8	6.0	1.0		7.8
	変わらず	62.5	59.8	54.7	65.4	48.4	53.3	47.9	50.0	50.5	51.6	54.7	48.0	58.6	52.3	60.2	60.6	52.6	59.2		53.0
	苦しい	32.5	37.4	37.3	30.8	49.5	40.0	47.9	47.8	42.6	46.2	38.4	46.0	37.1	39.5	39.8	36.6	41.4	39.8		39.1
	D・I	-27.5	-34.6	-29.3	-27.0	-47.3	-33.3	-43.6	-45.6	-35.7	-44.0	-31.4	-40.0	-32.8	-31.4	-39.8	-33.8	-35.4	-38.8	4.4	
同前年比	売上額	-5.1		-17.5		-30.8		-36.5		-17.7		-17.7		-8.8		-28.1		-23.7			
	収益	-29.9		-43.9		-53.8		-54.3		-40.6		-41.6		-39.3		-44.6		-39.8			
	販売価格	38.2		23.0		35.5		16.5		34.0		26.2		36.3		40.0		33.9			
雇用	前年比残業時間	-9.1	-19.4	-9.5	-11.7	-7.7	-8.3	-15.9	-8.8	-11.0	-16.1	-13.7	-11.1	-10.1	-13.8	-17.5	-14.5	-6.1	-16.9		-7.8
	人手	-25.0	-20.2	-26.7	-27.6	-33.3	-25.6	-27.9	-35.6	-21.0	-32.6	-22.8	-19.2	-29.0	-27.6	-33.0	-33.3	-23.4	-33.3		-22.8
	借入金																				
借入金	借入をした(%)	25.3	13.5	26.3	10.7	27.8	13.0	21.3	11.4	29.0	7.9	25.3	9.3	21.1	4.9	23.2	10.6	22.0	13.2		13.4
	借入をしない(%)	74.7	86.5	73.7	89.3	72.2	87.0	78.7	88.6	71.0	92.1	74.7	90.7	78.9	95.1	76.8	89.4	78.0	86.8		86.6
	借入難易度	-1.4		-11.6		-5.5		-5.6		-7.0		-6.9		-20.9		-15.9		-5.3			
有効回答事業所数	81		77		92		96		105		91		72		99		119				

小売業

地域名: 葛飾区

中分類: 業種合計

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		R5		R5		R5		R6		R6		R6		R7		R7		対前期比	R7 7～9月期 (予測)
	4～6月期	7～9月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	10～12月期	1～3月期	1～3月期	4～6月期	4～6月期	7～9月期	7～9月期	10～12月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	4～6月期			
現在の設備	-8.5	-7.1	-8.8	-5.7	-22.9	-13.2	-16.3	-24.1	-11.7	-19.3	-13.4	-11.8	-11.1	-16.0	-13.7	-9.5	-5.6	-14.7		-6.8
実施した	28.6	34.8	45.0	35.4	47.6	38.5	37.5	38.1	36.1	34.7	30.6	29.7	31.9	27.4	32.9	35.4	41.0	35.6		32.5
投資	0.0	0.0	2.5	2.1	4.8	5.1	0.0	4.8	6.9	2.0	6.5	5.4	8.5	4.8	4.1	8.3	6.0	2.7		6.3
機・設備の新・増設	12.2	10.9	7.5	12.5	14.3	10.3	10.4	11.9	5.6	16.3	8.1	8.1	2.1	4.8	5.5	12.5	8.4	6.8		10.0
機・設備の更改	14.3	8.7	12.5	16.7	21.4	17.9	16.7	23.8	18.1	14.3	12.9	13.5	17.0	11.3	8.2	10.4	15.7	6.8		11.3
事務機器	8.2	10.9	20.0	8.3	16.7	10.3	22.9	14.3	22.2	16.3	16.1	12.2	10.6	14.5	23.3	16.7	18.1	20.5		11.3
車両	6.1	6.5	12.5	6.3	4.8	20.5	14.6	14.3	12.5	12.2	8.1	9.5	8.5	9.7	11.0	10.4	13.3	8.2		12.5
その他	4.1	2.2	5.0	4.2	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	2.4	1.4		2.5
実施しない	71.4	65.2	55.0	64.6	52.4	61.5	62.5	61.9	63.9	65.3	69.4	70.3	68.1	72.6	67.1	64.6	59.0	64.4		67.5
売上上の停滞・減少	50.0		54.8		64.8		63.2		57.0		59.6		44.3		63.2		53.2			
人手不足	25.6		20.5		25.0		26.4		15.0		21.3		21.4		22.1		20.7			
大手企業・大型店との競争の激化	6.4		8.2		10.2		17.2		14.0		13.5		12.9		13.7		9.9			
同業者間の競争の激化	15.4		13.7		12.5		13.8		19.0		13.5		17.1		14.7		9.9			
流通経路の変化による競争の激化	0.0		5.5		4.5		3.4		3.0		2.2		2.9		1.1		3.6			
合理化の不足	1.3		1.4		1.1		1.1		4.0		2.2		1.4		2.1		1.8			
利幅の縮小	19.2		24.7		21.6		29.9		25.0		30.3		25.7		18.9		24.3			
小口注文・多頻度配送の増加	1.3		2.7		0.0		2.3		1.0		0.0		0.0		0.0		5.4			
販売商品の不足	7.7		6.8		6.8		6.9		11.0		11.2		5.7		12.6		5.4			
原材料価格・材料価格の上昇	32.1		24.7		21.6		23.0		33.0		29.2		34.3		32.6		28.8			
販売納入先からの値下げ要請	0.0		0.0		1.1		0.0		0.0		1.1		1.4		1.1		0.9			
仕入先からの値上げ要請	19.2		24.7		15.9		13.8		18.0		24.7		18.6		25.3		26.1			
人件費の増加	20.5		11.0		19.3		14.9		18.0		21.3		24.3		22.1		24.3			
人件費以外の経費増加	11.5		11.0		12.5		11.5		6.0		5.6		5.7		10.5		11.7			
工場・店舗の狭小・老朽化	2.6		6.8		3.4		2.3		3.0		3.4		2.9		2.1		1.8			
生産能力・技術力の不足	1.3		0.0		2.3		4.6		1.0		2.2		0.0		2.1		2.7			
取引先の減少	10.3		12.3		11.4		12.6		12.0		7.9		10.0		9.5		14.4			
商店街の集客力の低下	14.1		9.6		10.2		13.8		12.0		12.4		12.9		8.4		9.9			
下請の確保	1.3		0.0		0.0		2.3		1.0		3.4		0.0		1.1		0.0			
駐車場・資材置場の確保	0.0		0.0		0.0		0.0		1.0		0.0		2.9		1.1		1.8			
大手企業・工場の縮小・撤退	0.0		0.0		1.1		1.1		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
その他	2.6		2.7		2.3		0.0		0.0		0.0		2.9		0.0		0.0			
問題なし	1.3		4.1		3.4		1.1		3.0		2.2		5.7		1.1		2.7			
販路を広げる	18.9		26.8		31.8		32.2		39.6		24.1		27.9		38.5		33.3			
経費を削減する	44.6		38.0		43.2		54.0		38.6		33.7		33.8		45.8		32.4			
品揃えを充実させる	17.6		21.1		23.9		25.3		17.8		22.9		35.3		26.0		21.6			
情報力・宣伝・広報を強化する	13.5		11.3		17.0		10.3		16.8		15.7		13.2		17.7		15.3			
新製品・技術を開発する	1.4		4.2		5.7		2.3		9.9		7.2		2.9		4.2		9.0			
新しい工法を導入する	1.4		0.0		1.1		1.1		1.0		1.2		0.0		3.1		1.8			
新しい事業を始める	9.5		5.6		8.0		11.5		10.9		4.8		2.9		5.2		9.0			
不採算部門を整理・縮小する	2.7		1.4		2.3		1.1		1.0		3.6		4.4		3.1		3.6			
店舗・設備を改装する	5.4		5.6		6.8		5.7		4.0		7.2		7.4		3.1		3.6			
仕入先・提携先を開拓・選別する	12.2		9.9		9.1		4.6		14.9		13.3		14.7		17.7		9.9			
営業時間を延長する	1.4		1.4		2.3		1.1		2.0		2.4		2.9		3.1		0.0			
売れ筋商品を取扱う	20.3		12.7		17.0		19.5		22.8		18.1		20.6		24.0		18.0			
商店街事業を活性化させる	9.5		5.6		1.1		9.2		5.0		10.8		10.3		7.3		5.4			
機械化を推進する	2.7		4.2		1.1		3.4		0.0		1.2		1.5		2.1		2.7			
技術力を強化する	2.7		2.8		6.8		4.6		5.0		6.0		7.4		1.0		4.5			
人材を確保する	28.4		23.9		25.0		23.0		17.8		22.9		19.1		14.6		18.0			
パート化を図る	1.4		1.4		2.3		0.0		5.0		1.2		1.5		3.1		3.6			
教育訓練を強化する	0.0		1.4		3.4		3.4		3.0		4.8		2.9		2.1		2.7			
労働条件を改善する	4.1		4.2		3.4		1.1		6.9		6.0		2.9		8.3		4.5			
工場・機械を増設・移転する	0.0		0.0		1.1		0.0		0.0		1.2		0.0		1.0		0.9			
流通経路の見直しをする	4.1		1.4		2.3		4.6		3.0		3.6		2.9		1.0		2.7			
取引先を支援する	1.4		1.4		2.3		2.3		1.0		1.2		0.0		1.0		1.8			
輸入品の取扱いを増やす	1.4		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		1.5		0.0		2.7			
不動産の有効活用を図る	2.7		2.8		3.4		2.3		2.0		2.4		1.5		1.0		2.7			
その他	1.4		0.0		1.1		1.1		0.0		0.0		0.0		1.0		0.0			
特になし	6.8		8.5		6.8		6.9		8.9		9.6		14.7		5.2		14.4			
有効回答事業所数	81		77		92		96		105		91		72		99		119			

サービス業

地域名:葛飾区

中分類:業種合計

注:各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		R5 4～6月期		R5 7～9月期		R5 10～12月期		R6 1～3月期		R6 4～6月期		R6 7～9月期		R6 10～12月期		R7 1～3月期		R7 4～6月期		対前期 比	R7 7～9月期 (予測)
	実	計	実	計	実	計	実	計	実	計	実	計	実	計	実	計	実	計				
業況	良い	7.1	6.3	8.7	8.3	6.1	9.0	9.4	8.2	8.4	9.8	13.5	6.5	12.5	12.4	9.2	10.1	12.7	11.3			9.0
	普通	60.2	65.0	68.9	60.2	67.5	67.0	53.2	58.2	59.7	55.6	50.9	66.7	59.2	59.0	52.0	53.4	51.2	52.7			56.6
	悪い	32.7	28.7	22.3	31.5	26.3	24.0	37.4	33.6	31.8	34.6	35.6	26.8	28.3	28.6	38.8	36.5	36.1	36.0			34.3
	D・I	-25.6	-22.4	-13.6	-23.2	-20.2	-15.0	-28.0	-25.4	-23.4	-24.8	-22.1	-20.3	-15.8	-16.2	-29.6	-26.4	-23.4	-24.7	6.2		-25.3
売上額	増加	13.3	18.3	29.1	15.5	27.0	17.8	17.1	14.0	15.6	17.0	22.8	14.4	22.4	16.3	16.3	15.5	16.7	17.8			10.2
	変わらず	56.6	51.4	47.6	65.5	54.8	60.4	45.7	57.0	48.1	54.1	47.5	56.9	48.0	55.6	40.5	49.3	45.2	46.7			57.2
	減少	30.1	46.9	23.3	19.1	18.3	21.8	37.1	28.9	36.4	28.9	29.6	28.8	29.6	28.1	43.1	35.1	38.1	35.5			32.5
	D・I	-16.8	-12.0	5.8	-3.6	8.7	-4.0	-20.0	-14.9	-20.8	-11.9	-6.8	-14.4	-7.2	-11.8	-26.8	-19.6	-21.4	-17.7	5.4		-22.3
収益	増加	13.3	16.1	20.6	14.5	20.0	13.0	12.9	7.0	14.6	14.1	19.5	14.8	18.7	14.5	16.4	14.6	15.7	15.0			8.4
	変わらず	42.5	44.8	48.0	50.0	53.0	56.0	41.4	57.0	39.7	43.0	39.6	51.0	42.7	49.1	38.2	43.8	43.4	43.8			55.4
	減少	44.2	39.2	31.4	35.5	27.0	31.0	45.7	36.0	45.7	43.0	40.9	34.2	38.7	36.5	45.4	41.7	41.0	41.2			36.1
	D・I	-30.9	-23.1	-10.8	-21.0	-7.0	-18.0	-32.8	-29.0	-31.1	-28.9	-21.4	-19.4	-20.0	-22.0	-29.0	-27.1	-25.3	-26.2	3.7		-27.7
料金価格	上昇	13.3	19.0	17.8	14.5	17.9	13.1	17.9	14.4	19.3	17.0	13.8	18.2	20.3	19.7	15.9	15.1	23.2	17.2			17.8
	変わらず	76.1	67.6	73.3	76.4	78.6	79.8	75.0	81.1	70.7	70.4	77.4	71.6	73.6	70.1	74.8	74.0	70.1	72.2			76.1
	下降	10.6	13.4	8.9	9.1	3.6	7.1	7.1	4.5	10.0	12.6	8.8	10.1	6.1	10.2	9.3	11.0	6.7	10.6			6.1
	D・I	2.7	5.6	8.9	5.4	14.3	6.0	10.8	9.9	9.3	4.4	5.0	8.1	14.2	9.5	6.6	4.1	16.5	6.6	9.9		11.7
材料価格	上昇	49.0	60.2	54.9	46.9	47.4	45.1	58.6	45.9	57.3	54.8	60.4	52.3	53.3	58.0	59.9	53.0	51.6	61.3			45.4
	変わらず	46.0	30.5	38.5	49.0	49.5	50.5	35.2	52.0	35.9	39.5	37.5	42.3	41.5	39.9	36.5	38.6	43.8	33.6			49.3
	下降	5.0	9.4	6.6	4.1	3.1	4.4	6.3	2.0	6.9	5.6	2.1	5.4	5.2	2.1	3.6	8.3	4.6	5.1			5.3
	D・I	44.0	50.8	48.3	42.8	44.3	40.7	52.3	43.9	50.4	49.2	58.3	46.9	48.1	55.9	56.3	44.7	47.0	56.2	-9.3		40.1
資金繰り	楽	1.8	3.6	5.9	1.9	3.6	5.9	1.4	2.8	5.3	2.2	9.9	5.3	5.3	6.2	6.7	6.2	7.1	6.6			6.5
	変わらず	67.3	60.0	69.6	66.7	75.7	68.3	69.1	69.7	65.1	65.9	64.0	68.0	67.3	67.7	61.3	65.1	67.9	63.6			66.7
	苦しい	30.9	36.4	24.5	31.5	20.7	25.7	29.5	27.5	29.6	31.9	26.1	26.7	27.3	26.1	32.0	28.8	25.0	29.8			26.8
	D・I	-29.1	-32.8	-18.6	-29.6	-17.1	-19.8	-28.1	-24.7	-24.3	-29.7	-16.2	-21.4	-22.0	-19.9	-25.3	-22.6	-17.9	-23.2	7.4		-20.3
同期比	売上額	0.0		15.2		8.9		-4.2		-11.6		2.8		-2.2		-7.9		-10.6				
	収益	-32.4		-13.0		-8.9		-26.5		-24.0		-15.0		-23.9		-26.1		-27.3				
雇用	前年比残業時間	-3.6	-4.2	-6.8	0.0	-5.3	-5.9	-12.9	-8.1	1.3	-9.7	-3.7	-2.6	0.7	-4.3	-9.3	-8.8	-9.6	-3.9			-9.1
	人手	-39.5	-40.7	-44.2	-39.3	-37.5	-45.5	-39.5	-38.7	-43.8	-42.9	-43.9	-44.1	-37.7	-38.5	-35.3	-40.5	-37.7	-39.3			-41.8
借入金	借入をした(%)	26.1	12.5	28.7	14.3	23.9	8.3	24.3	13.6	28.5	9.6	26.1	13.5	25.7	11.7	30.3	15.4	24.7	13.5			15.2
	借入をしない(%)	73.9	87.5	71.3	85.7	76.1	91.7	75.7	86.4	71.5	90.4	73.9	86.5	74.3	88.3	69.7	84.6	75.3	86.5			84.8
	借入難易度	-12.0		-15.1		-12.7		-10.9		-10.0		-13.2		-17.5		-11.6		-13.3				
	有効回答事業所数	113		103		115		140		155		164		152		153		168				

サービス業

地域名: 葛飾区

中分類: 業種合計

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		R5		R5		R5		R6		R6		R6		R6		R7		対前期比	R7 7~9月期 (予測)
	R5 4~6月期	R5 7~9月期	R5 4~6月期	R5 7~9月期	R5 10~12月期	R5 1~3月期	R5 4~6月期	R5 7~9月期	R6 4~6月期	R6 7~9月期	R6 10~12月期	R6 1~3月期	R6 4~6月期	R6 7~9月期	R6 10~12月期	R7 1~3月期	R7 4~6月期			
設備	-12.0	-18.6	-8.1	-13.9	-15.9	-8.1	-15.2	-15.1	-14.7	-16.3	-13.9	-16.7	-14.7	-14.5	-17.5	-17.7	-17.7	-17.0		-22.8
投資	36.5	51.2	41.7	39.4	32.4	36.8	33.3	36.2	41.3	40.2	43.9	35.3	45.2	45.9	37.3	41.0	42.9	35.3		36.4
投資	1.6	6.0	2.8	4.5	4.4	4.4	1.0	4.3	5.0	2.1	4.5	4.2	6.1	6.7	9.3	11.1	4.3	5.9		6.4
投資	9.5	7.1	8.3	7.6	10.3	5.9	4.2	8.7	5.0	6.2	5.3	5.9	8.7	5.9	2.5	8.5	5.0	9.2		5.7
投資	4.8	6.0	8.3	12.1	8.8	8.8	9.4	11.6	8.3	8.2	7.6	9.2	10.4	11.1	7.6	9.4	12.9	7.6		10.0
内容	15.9	20.2	18.1	13.6	11.8	14.7	14.6	7.2	15.7	16.5	20.5	10.1	14.8	15.6	19.5	11.1	13.6	16.0		10.7
内容	19.0	25.0	19.4	21.2	14.7	17.6	19.8	14.5	19.8	21.6	27.3	21.8	25.2	27.4	17.8	22.2	21.4	19.3		15.7
内容	1.6	6.0	4.2	3.0	1.5	1.5	0.0	4.3	0.8	1.0	1.5	0.0	0.9	2.2	1.7	0.9	2.9	0.0		2.1
内容	63.5	48.8	58.3	60.6	67.6	63.2	66.7	63.8	58.7	59.8	56.1	64.7	54.8	54.1	62.7	59.0	57.1	64.7		63.6
経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	44.8		42.7		37.5		36.6		43.2		38.5		39.9		45.0		44.9		
	人手不足	38.1		41.7		34.6		40.3		43.2		36.6		35.8		30.9		37.1		
	大手企業・大型店との競争の激化	1.0		1.0		2.9		3.0		3.4		1.2		2.0		4.0		3.0		
	同業者間の競争の激化	14.3		7.3		8.7		12.7		9.5		14.9		14.2		14.1		12.0		
	流通経路の変化による競争の激化	1.0		0.0		1.0		0.0		0.7		1.2		0.0		0.7		0.6		
	合理化の不足	1.0		3.1		5.8		4.5		2.7		5.0		4.1		1.3		3.6		
	利幅の縮小	18.1		19.8		26.0		24.6		18.9		19.3		22.3		20.1		23.4		
	小口注文・多頻度配送の増加	1.0		2.1		2.9		0.7		0.0		0.6		1.4		0.0		0.6		
	販売商品の不足	0.0		1.0		1.0		2.2		1.4		2.5		2.0		4.7		3.0		
	原材料価格・材料価格の上昇	27.6		32.3		26.9		20.9		31.8		24.8		25.7		28.9		26.9		
	販売納入先からの値下げ要請	1.0		0.0		1.0		0.0		0.7		0.0		0.0		2.0		0.0		
	仕入先からの値上げ要請	7.6		10.4		6.7		9.7		6.8		6.8		2.7		4.0		6.0		
	人件費の増加	30.5		37.5		26.0		32.8		25.7		27.3		32.4		30.2		32.9		
	人件費以外の経費増加	15.2		19.8		22.1		21.6		16.9		14.3		16.9		14.8		17.4		
	工場・店舗の狭小・老朽化	1.9		1.0		3.8		0.7		4.1		4.3		2.7		3.4		1.8		
	生産能力・技術力の不足	1.9		5.2		5.8		4.5		6.1		5.0		4.7		3.4		4.2		
	取引先の減少	9.5		10.4		11.5		11.9		4.7		9.3		14.2		12.1		13.8		
	商店街の集客力の低下	1.0		0.0		1.9		1.5		1.4		0.6		0.7		1.3		0.0		
	下請の確保難	3.8		1.0		3.8		2.2		5.4		1.9		2.0		2.7		1.8		
	駐車場・資材置場の確保難	2.9		3.1		1.9		3.0		2.0		3.7		0.7		1.3		0.6		
大手企業・工場の縮小・撤退	1.0		1.0		1.0		0.0		1.4		0.0		0.0		0.7		0.0			
その他	1.0		2.1		1.0		3.0		0.7		0.0		1.4		2.0		1.2			
問題なし	9.5		6.3		8.7		6.7		6.1		9.9		8.1		12.8		9.0			
重点経営施策(%)	販路を広げる	28.6		29.3		32.1		28.9		25.7		24.5		26.0		28.9		29.7		
	経費を節減する	38.1		44.4		46.2		40.0		41.2		37.7		45.3		41.6		41.8		
	品揃えを充実させる	1.9		2.0		2.8		3.7		3.4		3.8		3.3		4.0		5.5		
	情報力・宣伝・広報を強化する	17.1		17.2		15.1		13.3		14.2		18.2		14.7		16.8		13.3		
	新製品・技術を開発する	2.9		6.1		4.7		6.7		2.7		3.8		5.3		2.7		4.2		
	新しい工法を導入する	1.9		2.0		1.9		0.7		3.4		2.5		0.7		2.0		2.4		
	新しい事業を始める	11.4		9.1		14.2		8.9		8.8		13.2		12.0		12.1		13.9		
	不採算部門を整理・縮小する	2.9		5.1		3.8		2.2		3.4		2.5		4.7		1.3		3.6		
	店舗・設備を改装する	1.9		1.0		5.7		3.7		5.4		1.9		4.7		3.4		2.4		
	仕入先・提携先を開拓・選別する	11.4		10.1		10.4		7.4		8.8		10.7		10.0		11.4		12.1		
	営業時間を延長する	1.0		3.0		1.9		1.5		3.4		3.8		2.0		2.7		3.0		
	売れ筋商品を取扱う	1.0		1.0		3.8		5.9		4.7		1.3		1.3		2.0		4.2		
	商店街事業を活性化させる	1.9		2.0		1.9		2.2		2.0		0.6		0.0		3.4		0.6		
	機械化を推進する	2.9		1.0		2.8		3.7		3.4		3.1		3.3		3.4		3.6		
	技術力を強化する	16.2		8.1		16.0		16.3		10.8		14.5		15.3		14.8		12.7		
	人材を確保する	40.0		41.4		36.8		40.7		38.5		33.3		32.7		29.5		33.3		
	パート化を図る	1.0		3.0		0.9		0.0		2.7		1.3		1.3		2.0		3.0		
	教育訓練を強化する	8.6		10.1		11.3		11.1		10.8		8.2		8.7		8.1		6.1		
	労働条件を改善する	8.6		10.1		6.6		9.6		12.8		8.2		11.3		6.7		8.5		
	工場・機械を増設・移転する	0.0		1.0		0.0		0.7		0.0		1.3		0.0		0.7		0.6		
流通経路の見直しをする	0.0		0.0		0.0		0.7		0.7		1.3		1.3		0.7		0.6			
取引先を支援する	1.0		0.0		0.9		0.0		1.4		0.6		0.7		0.0		2.4			
輸入品の取扱いを増やす	0.0		1.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.7		0.6			
不動産の有効活用を図る	1.0		3.0		0.9		1.5		0.0		0.6		0.7		0.7		0.6			
その他	1.0		2.0		0.9		2.2		2.0		0.6		3.3		2.0		0.6			
特になし	13.3		8.1		8.5		9.6		10.1		13.8		12.0		16.8		10.9			
有効回答事業所数	113		103		115		140		155		164		152		153		168			

建設業  
 地域名: 葛飾区  
 中分類: 業種合計

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		R5 4～6月期		R5 7～9月期		R5 10～12月期		R6 1～3月期		R6 4～6月期		R6 7～9月期		R6 10～12月期		R7 1～3月期		R7 4～6月期		対前期 比	R7 7～9月期 (予測)	
業況	良い	7.3	6.2	9.1	10.3	12.8	10.0	12.1	7.7	10.6	8.3	13.4	8.4	16.9	10.1	15.5	12.0	10.0	13.9			5.7	
	普通	56.3	52.5	54.5	55.9	58.8	54.0	53.0	58.7	53.6	62.1	55.0	58.4	61.0	60.8	58.5	63.2	61.9	48.9			62.4	
	悪い	36.4	41.4	36.4	33.8	28.4	36.0	34.9	33.6	35.8	29.7	31.5	33.1	22.1	29.1	26.1	24.8	28.1	37.2			31.8	
	D-I	-29.1	-35.2	-27.3	-23.5	-15.6	-26.0	-22.8	-25.9	-25.2	-21.4	-18.1	-24.7	-5.2	-19.0	-10.6	-12.8	-18.1	-23.3	-7.5			-26.1
売上額	増加	16.4	8.0	17.2	13.3	17.7	16.9	17.3	10.9	16.3	18.5	18.8	15.0	24.3	12.8	20.4	14.7	13.8	12.9				13.1
	変わらず	39.5	50.3	41.7	55.3	50.3	52.0	45.3	51.7	43.3	49.3	51.0	52.2	47.1	55.7	45.8	52.9	51.3	54.3				52.5
	減少	44.1	46.9	41.1	31.3	32.0	31.1	37.3	37.4	40.4	32.2	30.2	32.8	28.7	31.5	33.8	32.4	35.0	32.9				34.4
	D-I	-27.7	-33.7	-23.9	-18.0	-14.3	-14.2	-20.0	-26.5	-24.1	-13.7	-11.4	-17.8	-4.4	-18.7	-13.4	-17.7	-21.2	-20.0	-7.8			
受注残	増加	9.3	9.1	16.0	13.9	18.8	16.2	12.2	16.1	12.4	13.8	14.8	16.1	17.2	14.1	14.4	13.5	8.1	11.7				10.6
	変わらず	52.3	50.0	52.0	56.3	47.9	54.1	53.4	48.3	47.2	57.2	61.1	51.7	55.2	59.1	47.5	57.1	55.0	56.9				55.3
	減少	38.4	40.9	32.0	29.8	33.3	29.7	34.5	35.7	40.4	29.0	24.2	32.2	27.6	26.8	38.1	29.3	36.9	31.4				34.2
	D-I	-29.1	-31.8	-16.0	-15.9	-14.5	-13.5	-22.3	-19.6	-28.0	-15.2	-9.4	-16.1	-10.4	-12.7	-23.7	-15.8	-28.8	-19.7	-5.1			
施工高	増加	13.9	9.2	19.0	14.8	18.5	20.5	13.4	15.9	16.2	15.0	19.7	17.9	23.7	15.8	21.6	14.8	12.4	12.4				10.6
	変わらず	43.7	49.7	42.5	57.0	47.9	49.7	52.3	47.6	42.5	54.4	53.1	50.3	51.1	53.4	43.9	51.1	49.1	53.3				50.3
	減少	42.4	41.1	38.6	28.2	33.6	29.8	34.2	36.6	41.3	30.6	27.2	31.8	25.2	30.8	34.5	34.1	38.5	34.3				39.1
	D-I	-28.5	-31.9	-19.6	-13.4	-15.1	-9.3	-20.8	-20.7	-25.1	-15.6	-7.5	-13.9	-1.5	-15.0	-12.9	-19.3	-26.1	-21.9	-13.2			
収益	増加	13.2	9.1	14.9	14.0	18.2	16.4	10.0	12.9	14.0	11.5	18.9	15.6	24.3	12.8	15.7	12.4	13.0	9.4				11.8
	変わらず	38.2	42.7	38.3	50.0	43.9	48.0	50.0	44.9	42.1	50.7	50.7	45.8	44.1	56.1	45.7	48.9	43.5	50.7				47.2
	減少	48.7	48.2	46.8	36.0	37.8	35.5	40.0	42.2	43.8	37.8	30.4	38.5	31.6	31.1	38.6	38.7	43.5	39.9				41.0
	D-I	-35.5	-39.1	-31.9	-22.0	-19.6	-19.1	-30.0	-29.3	-29.8	-26.3	-11.5	-22.9	-7.3	-18.3	-22.9	-26.3	-30.5	-30.5	-7.6			
請負価格	上昇	15.8	16.0	23.7	17.4	17.0	21.3	17.2	15.8	18.8	18.8	18.9	21.2	21.9	17.8	15.1	15.3	16.4	13.0				17.0
	変わらず	67.1	62.3	55.9	69.1	66.7	60.0	67.5	65.1	63.6	64.4	66.2	65.4	64.2	65.8	64.0	68.6	66.7	64.5				66.0
	下降	17.1	21.6	20.4	13.4	16.3	18.7	15.2	19.2	17.6	16.8	14.9	13.4	13.9	16.4	20.9	16.1	17.0	22.5				17.0
	D-I	-1.3	-5.6	3.3	4.0	0.7	2.6	2.0	-3.4	1.2	2.0	4.0	7.8	8.0	1.4	-5.8	-0.8	-0.6	-9.5	5.2			0.0
材料価格	上昇	69.4	75.7	71.4	60.4	67.9	61.4	65.3	57.4	61.5	61.6	65.1	60.9	65.9	63.4	62.1	61.9	64.6	65.2				58.9
	変わらず	27.2	19.1	23.1	36.8	28.5	34.5	30.6	36.8	35.1	34.9	30.8	36.8	30.4	30.3	32.9	32.8	32.9	30.4				38.6
	下降	3.4	5.3	5.4	2.8	3.6	4.1	4.1	5.9	3.4	3.4	4.1	2.3	3.7	6.2	5.0	5.2	2.5	4.3				2.5
	D-I	66.0	70.4	66.0	57.6	64.3	57.3	61.2	51.5	58.1	58.2	61.0	58.6	62.2	57.2	57.1	56.7	62.1	60.9	5.0			
在庫	過剰	7.0	1.4	9.8	5.7	6.7	8.5	6.5	6.0	5.9	6.5	4.1	5.9	5.6	4.1	4.4	5.6	5.8	5.2				5.2
	適正	82.4	84.6	81.8	82.3	82.2	83.0	82.0	83.6	88.8	79.7	91.0	87.1	88.1	91.7	85.4	85.7	89.7	84.4				87.7
	不足	10.6	14.0	8.4	12.1	11.1	8.5	11.5	10.4	5.3	13.8	4.8	7.1	6.3	4.1	10.2	8.7	4.5	10.4				7.1
	D-I	-3.6	-12.6	1.4	-6.4	-4.4	0.0	-5.0	-4.4	0.6	-7.3	-0.7	-1.2	-0.7	0.0	-5.8	-3.1	1.3	-5.2	7.1			
資金繰り	楽	10.7	4.5	7.9	7.4	9.0	5.4	5.3	6.9	6.9	6.6	5.4	6.9	7.4	5.4	7.1	5.9	5.0	7.2				2.5
	変わらず	61.3	65.4	59.6	63.8	58.6	63.8	65.8	57.6	64.9	62.9	66.2	62.1	66.9	67.3	63.6	64.7	69.8	63.8				70.3
	苦しい	28.0	30.1	32.5	28.9	32.4	30.9	28.9	35.4	28.2	30.5	28.4	31.0	25.7	27.2	29.3	29.4	25.2	29.0				27.2
	D-I	-17.3	-25.6	-24.6	-21.5	-23.4	-25.5	-23.6	-28.5	-21.3	-23.9	-23.0	-24.1	-18.3	-21.8	-22.2	-23.5	-20.2	-21.8	2.0			
同期比	売上額	-22.2		-21.9		-16.6		-20.4		-10.8		-5.4		1.6		-15.2		-17.4					
	収益	-35.2		-35.9		-31.5		-27.5		-25.9		-17.9		-20.0		-24.8		-33.1					
雇用	前年比残業時間	-16.8	-22.6	-10.6	-12.9	-20.1	-8.7	-13.8	-18.7	-28.5	-15.9	-14.2	-18.4	-12.6	-12.2	-10.8	-7.5	-15.0	-13.3				-11.9
	人手	-52.6	-46.5	-56.3	-54.4	-59.0	-60.9	-60.0	-57.6	-48.6	-61.1	-56.7	-52.5	-63.4	-60.1	-58.0	-59.0	-54.1	-59.2				-55.0
	借入金	44.1	18.2	43.7	19.4	38.6	22.8	42.4	20.1	38.1	21.3	36.8	20.5	33.8	16.5	38.6	17.8	37.6	16.3				17.5
借入金	借入をしない(%)	55.9	81.8	56.3	80.6	61.4	77.2	57.6	79.9	61.9	78.7	63.2	79.5	66.2	83.5	61.4	82.2	62.4	83.7				82.5
	借入難易度	1.4		-3.4		-3.5		-9.5		-4.6		-6.2		-2.2		-2.9		-1.9					
有効回答事業所数	152		155		148		153		180		149		137		142		161						

建設業

地域名: 葛飾区

中分類: 業種合計

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		R5		R5		R5		R6		R6		R6		R6		R7		対前期比	R7 7～9月期 (予測)
	4～6月期	7～9月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期				
設備	-9.2	-9.1	-7.5	-9.2	-9.4	-8.2	-11.5	-10.8	-13.8	-11.0	-9.6	-15.0	-12.1	-9.0	-9.7	-12.8	-12.3	-13.4		-12.4
投資	47.9	47.2	48.0	43.7	44.8	45.1	45.5	37.5	48.7	46.5	37.2	42.5	60.0	38.8	47.1	53.1	42.6	44.9		38.8
助動	7.3	11.1	12.0	9.4	7.6	8.8	6.9	5.8	8.7	8.1	5.0	7.2	7.0	7.4	2.5	6.2	5.9	5.1		6.7
向	9.4	12.0	10.0	6.3	11.4	9.8	11.9	8.7	12.0	15.2	9.9	8.5	10.4	8.3	8.4	13.3	6.6	13.6		5.2
(%)	15.6	12.0	8.0	12.5	8.6	10.8	16.8	6.7	14.0	15.2	9.1	13.1	13.0	5.8	12.6	9.7	8.8	10.2		6.0
内容	17.7	14.8	25.0	13.5	16.2	15.7	18.8	12.5	16.7	15.2	16.5	13.1	26.1	15.7	20.2	23.9	17.6	10.2		14.2
	26.0	25.9	24.0	24.0	28.6	27.5	25.7	26.0	24.0	30.3	20.7	22.2	35.7	23.1	24.4	31.0	25.7	27.1		26.1
	2.1	1.9	2.0	1.0	0.0	2.0	1.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.8		0.7
	52.1	52.8	52.0	56.3	55.2	54.9	54.5	62.5	51.3	53.5	62.8	57.5	40.0	61.2	52.9	46.9	57.4	55.1		61.2
経営上の問題点 (%)	売上の停滞・減少	42.1		39.9		29.3		33.6		42.9		29.5		27.1		33.1		31.8		
	人手不足	55.0		53.4		57.9		56.6		47.6		56.2		55.6		56.8		51.9		
	大手企業・大型店との競争の激化	1.4		0.7		0.7		1.4		1.2		2.1		0.8		1.4		2.6		
	同業者間の競争の激化	12.9		10.1		13.6		12.6		10.6		12.3		11.3		13.7		11.0		
	流通経路の変化による競争の激化	0.0		0.7		0.0		0.7		0.0		0.7		0.8		0.0		0.6		
	合理化の不足	0.7		0.0		2.9		1.4		2.4		1.4		3.0		1.4		1.3		
	利幅の縮小	23.6		26.4		21.4		23.8		18.8		21.9		18.8		20.1		15.6		
	小口注文・多頻度配送の増加	1.4		0.7		0.0		0.7		1.2		0.0		0.0		0.0		0.0		
	販売商品の不足	0.7		1.4		0.7		0.0		0.0		0.7		0.0		0.7		0.0		
	原材料価格・材料価格の上昇	40.0		43.9		39.3		35.0		45.3		43.2		39.8		42.4		43.5		
	販売納入先からの値下げ要請	1.4		0.7		0.0		1.4		0.6		1.4		0.0		0.0		0.6		
	仕入先からの値上げ要請	6.4		8.8		4.3		6.3		6.5		7.5		6.8		5.8		7.1		
	人件費の増加	21.4		23.6		23.6		28.7		27.6		26.7		28.6		22.3		27.9		
	人件費以外の経費増加	11.4		12.8		15.0		9.8		10.6		11.0		11.3		14.4		12.3		
	工場・店舗の狭小・老朽化	0.0		2.0		0.0		2.8		1.2		1.4		0.8		1.4		1.9		
	生産能力・技術力の不足	4.3		8.1		8.6		2.1		9.4		6.8		9.8		3.6		2.6		
	取引先の減少	7.1		8.1		5.7		8.4		8.8		6.8		7.5		5.0		7.8		
	商店街の集客力の低下	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		
	下請の確保難	17.1		16.2		20.0		21.7		14.7		19.2		15.0		21.6		16.2		
	駐車場・資材置場の確保難	3.6		3.4		6.4		4.2		5.3		7.5		5.3		4.3		7.8		
大手企業・工場の縮小・撤退	0.7		0.7		0.0		0.0		0.0		0.7		0.0		1.4		0.0			
その他	1.4		4.1		1.4		3.5		2.9		2.1		1.5		2.9		0.0			
問題なし	2.1		2.0		2.9		4.2		2.9		4.1		4.5		5.8		5.2			
重点経営施策 (%)	販路を広げる	29.5		23.8		18.7		25.2		24.4		20.0		24.4		22.5		25.6		
	経費を削減する	41.7		39.7		43.9		39.9		39.3		42.8		40.5		40.6		42.9		
	品揃えを充実させる	0.0		0.0		0.0		0.0		1.2		0.7		0.0		0.0		0.0		
	情報力・宣伝・広報を強化する	5.8		6.6		6.5		8.4		6.0		6.9		7.6		6.5		9.6		
	新製品・技術を開発する	2.2		0.7		0.7		2.1		0.0		0.7		0.8		0.7		1.3		
	新しい工法を導入する	5.8		2.6		4.3		2.1		2.4		3.4		3.8		2.9		3.8		
	新しい事業を始める	5.8		6.6		6.5		7.0		10.7		6.9		6.1		8.7		11.5		
	不採算部門を整理・縮小する	2.2		3.3		3.6		2.1		3.6		1.4		0.8		3.6		1.3		
	店舗・設備を改装する	0.0		0.7		0.0		0.0		0.0		2.1		0.8		0.0		1.9		
	仕入先・提携先を開拓・選別する	17.3		15.9		9.4		11.9		19.0		17.9		18.3		18.8		12.2		
	営業時間を延長する	0.0		0.0		0.7		0.7		0.0		0.7		0.0		0.0		0.6		
	売れ筋商品を取扱う	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		
	商店街事業を活性化させる	0.7		0.7		0.0		0.0		0.0		0.0		0.8		0.0		0.0		
	機械化を推進する	0.0		0.7		1.4		0.7		2.4		4.1		4.6		2.9		1.9		
	技術力を強化する	24.5		22.5		23.7		22.4		30.4		28.3		26.0		26.1		23.7		
	人材を確保する	50.4		51.7		54.7		60.1		50.6		56.6		53.4		55.1		57.1		
	パート化を図る	0.0		0.0		0.7		0.0		1.2		0.7		0.8		0.0		0.6		
	教育訓練を強化する	12.9		10.6		12.2		7.7		8.9		11.0		13.0		13.8		9.6		
	労働条件を改善する	11.5		13.2		18.7		14.0		14.9		15.2		12.2		14.5		11.5		
	工場・機械を増設・移転する	0.0		1.3		1.4		1.4		0.6		0.7		1.5		0.7		0.6		
流通経路の見直しをする	1.4		0.0		0.7		0.0		0.6		0.0		1.5		0.0		0.0			
取引先を支援する	1.4		3.3		2.2		0.0		3.0		2.1		0.8		3.6		0.6			
輸入品の取扱いを増やす	0.0		0.7		0.0		0.7		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
不動産の有効活用を図る	2.2		2.6		0.7		2.1		2.4		0.0		2.3		0.7		1.9			
その他	0.0		0.0		1.4		1.4		0.0		2.8		0.8		1.4		0.0			
特になし	12.9		9.9		10.8		10.5		7.7		8.3		6.9		5.8		7.1			
有効回答事業所数	152		155		148		153		180		149		137		142		161			

不動産業  
 地域名: 葛飾区  
 中分類: 業種合計

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		R5		R5		R5		R6		R6		R6		R6		R7		R7		対前期比	R7 7～9月期 (予測)
	4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期					
業況	良い	3.3	8.8	5.9	8.0	6.3	2.0	5.3	4.1	3.6	3.8	6.5	1.9	8.5	5.9	7.8	1.8	9.2	4.1			4.9
	普通	71.4	68.4	72.5	65.9	70.9	79.2	71.7	74.3	73.6	73.3	75.0	71.8	74.6	75.6	74.4	80.4	72.5	77.2			71.3
	悪い	25.3	22.8	21.6	26.1	22.8	18.8	23.0	21.6	22.7	22.9	18.5	26.2	16.9	18.5	17.8	17.9	18.3	18.7			23.8
	D-1	-22.0	-14.0	-15.7	-18.1	-16.5	-16.8	-17.7	-17.5	-19.1	-19.1	-12.0	-24.3	-8.4	-12.6	-10.0	-16.1	-9.1	-14.6	0.9		-18.9
売上額	増加	12.2	14.2	5.8	13.3	5.1	6.8	7.1	2.7	7.3	6.4	7.3	6.5	13.4	6.8	13.2	6.2	11.4	10.2			5.7
	変わらず	62.2	61.1	74.8	63.3	74.4	69.9	68.1	74.7	70.0	74.5	74.0	69.4	67.2	71.2	69.0	72.6	66.7	72.7			70.7
	減少	25.6	46.9	19.4	23.3	20.5	23.3	24.8	22.7	22.7	19.1	18.7	24.1	19.3	22.0	17.8	21.2	22.0	17.2			23.6
	D-1	-13.4	-10.6	-13.6	-10.0	-15.4	-16.5	-17.7	-20.0	-15.4	-12.7	-11.4	-17.6	-5.9	-15.2	-4.6	-15.0	-10.6	-7.0	-6.0		-17.9
収益	増加	7.9	12.4	5.8	10.1	8.9	6.8	4.6	2.6	6.5	5.7	7.4	7.5	10.2	7.6	11.9	3.6	12.3	11.3			7.4
	変わらず	61.8	62.8	71.8	58.4	63.3	66.0	64.2	68.4	69.2	70.5	66.9	67.0	66.1	65.3	57.1	67.9	60.0	62.9			60.7
	減少	30.3	24.8	22.3	31.5	27.8	27.2	31.2	28.9	24.3	23.8	25.6	25.5	23.7	27.1	31.0	28.6	27.7	25.8			32.0
	D-1	-22.4	-12.4	-16.5	-21.4	-18.9	-20.4	-26.6	-26.3	-17.8	-18.1	-18.2	-18.0	-13.5	-19.5	-19.1	-25.0	-15.4	-14.5	3.7		-24.6
販売価格	上昇	13.3	10.5	7.1	14.6	9.6	7.1	6.0	9.7	12.9	10.4	11.4	11.1	12.5	15.0	10.0	10.3	14.8	12.7			13.0
	変わらず	73.5	71.4	80.8	70.7	80.8	74.7	79.0	79.2	76.2	75.0	79.8	75.8	81.3	72.6	79.2	83.2	77.0	79.7			75.7
	下降	13.3	18.1	12.1	14.6	9.6	18.2	15.0	11.1	10.9	14.6	8.8	13.1	6.3	12.4	10.8	6.5	8.2	7.6			11.3
	D-1	0.0	-7.6	-5.0	0.0	0.0	-11.1	-9.0	-1.4	2.0	-4.2	2.6	-2.0	6.2	2.6	-0.8	3.8	6.6	5.1	7.4		1.7
仕入価格	上昇	31.3	32.4	30.9	30.4	37.3	28.7	33.7	34.2	41.6	32.3	30.8	38.6	37.6	29.6	34.2	34.6	26.6	32.8			26.3
	変わらず	58.8	54.9	58.5	57.0	56.0	60.6	56.4	58.9	52.5	54.5	59.0	55.4	56.9	59.1	60.0	58.9	66.1	62.2			66.1
	下降	10.0	12.7	10.6	12.7	6.7	10.6	9.9	6.8	5.9	13.1	10.3	5.9	5.5	11.3	5.8	6.5	7.3	5.0			7.6
	D-1	21.3	19.7	20.3	17.7	30.6	18.1	23.8	27.4	35.7	19.2	20.5	32.7	32.1	18.3	28.4	28.1	19.3	27.8	-9.1		18.7
資金繰り	楽	1.1	4.4	1.9	2.3	1.3	2.9	4.8	1.3	0.9	4.0	4.1	0.0	3.6	2.5	3.9	4.7	2.4	3.1			3.4
	変わらず	76.1	72.8	75.7	75.0	83.1	73.8	75.2	80.0	85.3	75.2	81.8	86.2	80.4	82.4	80.5	75.7	86.2	81.1			81.9
	苦しい	22.7	22.8	22.3	22.7	15.6	23.3	20.0	18.7	13.8	20.8	14.0	13.8	16.1	15.1	15.6	19.6	11.4	15.7			14.7
	D-1	-21.6	-18.4	-20.4	-20.4	-14.3	-20.4	-15.2	-17.4	-12.9	-16.8	-9.9	-13.8	-12.5	-12.6	-11.7	-14.9	-9.0	-12.6	2.7		-11.3
同前年比	売上額	-19.7		-6.1		-15.3		-20.2		-12.4		-6.2		-7.5		-8.3		-7.2				
	収益	-30.3		-23.0		-25.6		-29.8		-22.1		-19.3		-18.7		-26.6		-15.2				
	販売価格	-7.4		1.1		-1.4		-10.6		-1.9		-0.9		5.6		9.9		4.8				
雇用	前年比残業時間	-5.9	-5.5	-12.9	-5.9	-6.6	-10.9	-4.9	-6.9	-3.8	-6.0	-5.3	-3.9	0.0	-4.6	-2.5	-1.9	0.0	-3.3			-0.8
	人手	-12.9	-9.3	-16.0	-10.7	-18.4	-15.0	-11.7	-18.9	-6.6	-12.7	-6.8	-6.7	-9.0	-6.9	-9.0	-10.0	-7.1	-9.0			-6.5
借入金	借入をした(%)	22.6	17.1	22.0	19.5	17.3	14.0	23.4	17.1	16.5	14.0	19.2	12.1	14.8	17.4	19.4	15.6	11.6	18.3			17.7
	借入をしない(%)	77.4	82.9	78.0	80.5	82.7	86.0	76.6	82.9	83.5	86.0	80.8	87.9	85.2	82.6	80.6	84.4	88.4	81.7			82.3
	借入難易度	-12.9		-18.4		-10.8		-15.1		-11.2		-11.7		-13.8		-13.1		-13.4				
有効回答事業所数	92		103		80		114		112		125		119		129		132					

不動産業

地域名: 葛飾区

中分類: 業種合計

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		R5		R5		R5		R6		R6		R6		R6		R7		対前期比	R7 7～9月期 (予測)
	4～6月期	7～9月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期				
設備投資	-12.3	-13.9	-12.3	-12.5	-9.9	-12.5	-8.9	-12.7	-2.0	-10.0	-7.8	-3.0	-7.4	-10.7	-6.6	-8.3	-7.2	-6.8		-9.0
実施した	38.8	43.7	26.7	56.0	39.5	33.9	32.4	44.2	34.2	34.8	34.1	34.2	34.5	29.9	28.6	35.3	43.7	39.6		42.6
投資	14.3	11.3	15.0	20.0	14.0	16.9	5.9	25.6	12.7	17.4	14.8	18.4	11.5	14.9	14.3	14.1	16.7	18.8		19.1
内容	4.1	2.8	3.3	2.0	9.3	5.1	2.9	7.0	3.8	1.4	3.4	1.3	4.6	2.3	6.1	5.9	3.1	7.3		5.3
機械・設備の新・増設	8.2	11.3	3.3	18.0	7.0	5.1	4.4	11.6	2.5	10.1	10.2	6.6	5.7	8.0	4.1	8.2	6.3	2.1		6.4
事務機器	14.3	19.7	6.7	26.0	20.9	8.5	19.1	11.6	5.1	14.5	6.8	6.6	10.3	8.0	7.1	8.2	13.5	7.3		12.8
車両	4.1	11.3	5.0	10.0	2.3	10.2	10.3	4.7	6.3	8.7	6.8	3.9	5.7	5.7	6.1	4.7	9.4	10.4		8.5
その他	2.0	2.8	1.7	4.0	2.3	1.7	0.0	2.3	3.8	1.4	0.0	2.6	2.3	2.3	1.0	4.7	2.1	4.2		2.1
実施しない	61.2	56.3	73.3	44.0	60.5	66.1	67.6	65.2	65.2	65.9	65.8	65.5	70.1	71.4	64.7	56.3	60.4			57.4
経営上の問題点	29.8		31.3		31.1		36.9		25.0		23.5		21.6		26.1		28.3			
売上の停滞・減少	7.1		10.4		10.8		6.8		4.8		3.4		1.8		1.7		3.1			
人手不足	7.1		9.4		6.8		4.9		5.8		10.9		3.6		5.9		4.7			
大手企業・大型店との競争の激化	20.2		20.8		23.0		29.1		19.2		21.8		14.4		20.2		19.7			
同業者間の競争の激化	2.4		2.1		4.1		0.0		1.9		1.7		1.8		1.7		3.1			
流通経路の変化による競争の激化	9.5		3.1		5.4		3.9		4.8		3.4		3.6		1.7		3.1			
合理化の不足	16.7		18.8		21.6		22.3		24.0		19.3		22.5		22.7		19.7			
利幅の縮小	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
小口注文・多頻度配送の増加	6.0		3.1		1.4		4.9		6.7		5.9		6.3		5.9		6.3			
販売商品の不足	17.9		16.7		12.2		16.5		24.0		16.0		21.6		21.8		18.1			
原材料価格・材料価格の上昇	1.2		1.0		0.0		0.0		1.9		0.0		0.0		0.0		1.6			
販売納入先からの値下げ要請	3.6		3.1		4.1		6.8		5.8		2.5		7.2		6.7		2.4			
仕入先からの値上げ要請	1.2		5.2		5.4		3.9		2.9		4.2		2.7		3.4		1.6			
人件費の増加	17.9		14.6		16.2		14.6		21.2		13.4		17.1		21.0		19.7			
人件費以外の経費増加	10.7		8.3		9.5		7.8		5.8		6.7		7.2		3.4		5.5			
工場・店舗の狭小・老朽化	1.2		0.0		0.0		1.0		1.0		0.8		0.9		0.8		0.0			
生産能力・技術力の不足	7.1		2.1		6.8		4.9		5.8		5.0		2.7		0.8		3.9			
取引先の減少	3.6		2.1		0.0		1.9		1.9		0.8		4.5		3.4		2.4			
商店街の集客力の低下	1.2		1.0		0.0		1.0		1.9		5.0		4.5		2.5		2.4			
下請の確保難	0.0		0.0		1.4		0.0		0.0		0.0		0.9		0.8		0.0			
駐車場・資材置場の確保難	0.0		0.0		1.4		0.0		0.0		0.8		0.0		0.0		0.8			
大手企業・工場の縮小・撤退	6.0		3.1		9.5		4.9		5.8		6.7		5.4		4.2		7.9			
その他	16.7		28.1		23.0		17.5		23.1		31.1		25.2		27.7		26.8			
問題なし	14.8		14.3		19.2		13.5		15.5		16.7		15.4		9.1		10.9			
販路を広げる	38.3		34.7		41.1		45.2		32.0		29.2		36.5		37.2		38.3			
経費を削減する	2.5		2.0		4.1		3.8		2.9		2.5		2.9		0.0		3.1			
品揃えを充実させる	21.0		15.3		19.2		19.2		11.7		24.2		10.6		9.9		14.8			
情報力・宣伝・広報を強化する	2.5		0.0		0.0		0.0		1.0		1.7		1.0		0.8		0.0			
新製品・技術を開発する	0.0		2.0		1.4		3.8		1.0		2.5		1.9		1.7		0.0			
新しい工法を導入する	16.0		10.2		6.8		8.7		6.8		5.0		8.7		9.1		6.3			
新しい事業を始める	1.2		5.1		2.7		0.0		3.9		0.0		1.9		3.3		0.8			
不採算部門を整理・縮小する	7.4		6.1		9.6		5.8		9.7		8.3		10.6		11.6		10.9			
店舗・設備を改装する	4.9		5.1		15.1		3.8		8.7		10.0		9.6		9.9		8.6			
仕入先・提携先を開拓・選別する	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.8		0.0		0.0		0.0			
営業時間を延長する	3.7		2.0		0.0		1.0		1.0		0.8		1.9		0.0		0.8			
売れ筋商品を取扱う	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.8		0.0		0.8		1.6			
商店街事業を活性化させる	0.0		3.1		2.7		1.0		0.0		0.8		0.0		0.8		1.6			
機械化を推進する	0.0		1.0		2.7		1.9		1.0		0.0		1.9		2.5		0.0			
技術力を強化する	6.2		5.1		8.2		4.8		2.9		2.5		0.0		3.3		3.1			
人材を確保する	0.0		1.0		1.4		1.9		2.9		2.5		0.0		1.7		0.0			
パート化を図る	2.5		2.0		4.1		1.0		1.0		1.7		3.8		1.7		0.0			
教育訓練を強化する	0.0		0.0		0.0		0.0		1.0		0.0		0.0		0.8		0.8			
労働条件を改善する	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.8		0.8			
工場・機械を増設・移転する	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.8		0.0			
流通経路の見直しをする	0.0		2.0		1.4		1.0		1.0		2.5		1.9		0.8		0.0			
取引先を支援する	0.0		0.0		1.4		2.9		0.0		1.7		1.0		0.0		2.3			
輸入品の取扱いを増やす	39.5		33.7		34.2		22.1		27.2		28.3		30.8		31.4		34.4			
不動産の有効活用を図る	2.5		1.0		2.7		2.9		4.9		3.3		2.9		1.7		2.3			
その他	22.2		27.6		19.2		25.0		27.2		28.3		30.8		28.1		31.3			
特になし																				
有効回答事業所数	92		103		80		114		112		125		119		129		132			

## 調査の概要

1. 調査時期 令和7年4～6月期
2. 調査方法 郵送及びWEBアンケート調査
3. 調査の対象と回収状況

	調査対象事業所数	有効回答事業所数
製造業	325	177
卸売業	300	107
小売業	300	119
サービス業	300	168
建設業	325	161
不動産業	300	132
合計	1,850	864

※回収内訳：紙回答 495 件、WEB 回答 369 件